

14.21
520



始



録本

1421
521

大正十一年三月

施肥標準調查成績

第壹編

群馬縣立農事試驗場

142A-520

施肥標準調査成績 第壹編 目次

緒言	一
第一、施肥標準調査方法概要	五
第二、原地調査方法	九
第三、分析檢定	一〇
第四、栽培試験	二
第五、栽培試験概要	二
第六、栽培試験成績の應用	四
第七、原地調査成績	七
第八、肥慣行調査表	一五
第九、土壤分析調査	一七
第十、土壤分析成績	二一
第十一、栽培試験成績	二五
第十二、摘要	二七
第十三、附	二九
第十四、施肥標準調査事業の經過	三〇

大正
11. 7. 19
内交

施肥標準調査成績 第壹編

群馬縣立農事試驗場

緒言

農産業は立脚点を土地に置くが故に、其基礎たる土壤の性状を熟知し、地勢土質により之に適應する農耕の方法を採るは最も緊要なる事項なり。然るに此方面の研究は當業者間に比較的閑却され、爲めに不利を招きつゝある場合決して尠からず。就中肥培に就ては特に地質土性の差違により効果の發顯に甚大の影響あるが故、従來の如く土壤と殆ど無關係に各地同一方式に據るときは、肥料要素に過不足を來たし十分に能率を發揮せしめ得ざる場合尠に非ず。今試に本縣の土質を通覽するに、中央部は火山岩（安山岩系統）にして畧同質なれ共、北部には花崗岩、石英閃綠岩、石英斑岩及御坂層の露出あり、南部には秩父古生層、結晶片岩及第三紀の現出を見更に東部には小佛古生層等の存するありて複雑を極め之が風化により生成せられたる土壤も頗る多種多様なを免れず、加之ならず火山と河川とは更に土壤の生成に關與し各種の土性を構成するに至れり。從て劃一的肥培方法による能はず。本場に於ける肥培試驗成績も直ちに各地に其儘應用するの不可なる勿論にして地質土性に鑑み適當に之を參酌加減するの要あり。近時諸般の農業技術は進歩の跡歴然たるも獨り肥培法にありては然らず。蓋し肥培は土壤と關聯し甲地の良法必ずしも乙地の適法に非ずして結局地方的に研究せざるべからざるの困難あるが故なるべく、從來専ら漫然不確實なる經驗に委し深く之を省みずして現在に至れり。然るに近來肥料の施用量劇増し特に自給肥の減少金肥の増加は肥培に一革命を招致し土性が肥効並に用量に及ぼす影響、極めて大となり肥料經濟上忽せにすべからず、故に須らく土壤の性状を

考慮し地方的施肥量の研究を遂げ肥効能率を高め少費多獲の實を擧ぐるは目下の急務たり。
 施肥標準調査は如上の要求により生れたるものに外ならず、即ち地方的に土壤の性質を研究調査し、合理的
 施肥量及施用方法を驗知して之を一般に指示し最も經濟的に肥料を施用せしむとの方針の下に企てられた
 るものにして、土壤の状態は原地調査により、其理化學的性質は分析檢定により、尙又施肥量は栽培試験に
 より之を驗知し、在來の慣行肥培法の改良すべき点を知らむとす。

原地、分析諸調査は詳細に瀾るを理想とすと雖も、經費と時間に制限あるを以て、現地の地勢と當業者の意
 見を徴し、畧同様土性に見倣さるゝ個所を全括し一土性區とし、町村内に二三十の土性區を設け其代表地に
 就て調査し、又栽培試験は町村内二三の代表地に之を設け試験を實際状態と近似せしむる必要上、原地委託
 制度に據り、ポット試験は其保證として施行するに過ぎず。斯く原地試験を主体としたる理由は、本縣は温
 泉又は鑛山流の灌漑地多く又山間部と平坦地の氣候的差異大に、尙又桑に對しては原地試験に據らざるべ
 からざる等の事項よりして場内ポット試験成績を直ちに原地に應用し能はざるの不便あるが故に寧ろ多少の
 誤差はありとするも原地栽培試験に據るが實際に近く、加ふるに地方當業者に試験の現狀を指示し實驗的に
 試験傾向を會得せしめ其成績を直接各自の耕地に按配應用し得るに好都合なる等の効果を併有せる爲特に此
 試験法に據れり。

施肥標準調査は以上各種調査試験事項を綜合し地方的施肥量を査定するものなり。然れ共調査土壤素より多
 からず、栽培試験に至りては一層其數に乏しく斯かる僅少の材料より一般に適合する施肥標準を設定するは
 困難にして又精密を欠くが如きも一町村内の土壤は大体近似のもの多く之を原地調査の土性網により連絡統
 一し分析檢定により比較對照に便せるに加へて地方の狀況を熟知せる當業者の經驗に俟たば、調査地又は試
 驗地の成績を己が圃場に比較應用する事に就て誤り尠かるべく、部分的調査も尙よく一般耕地に當て嵌め大
 過なきを得ん。嚴密正確なる數字を得るは理想なりと雖も藉すに莫大なる經費と長年月を以てせざるべから

す。實用上大体の標準を求め得れば之を以て施肥量の算定に應用する上に甚だしき誤謬なかるべく。徒らに
 正確を呼號し百年河清を待つ愚を學ぶも探るべきに非ず。大過なき近似數を得て満足せんとす。
 以上により地質土性に適應する施肥標準を求め、地方的施肥量を決定し之を基礎とし肥料配合を實行すれば
 能率の發揮を遺憾なからしめ少肥多收の効を完うするを得べし。從來の肥料配合は専ら推定により遠觀的に
 決定せるものにて地方的に正しき根據なかりし爲め時に甚だしき誤を生ずる場合ありて、指導者に於ても疑
 懼の念去らず、當業者又不安に驅られつゝありしを以て、此方面に多少學理的基礎を築き誤を矯し、併せて
 土壤の性狀を示し各地土壤比較考察の便を得せしめ以て農耕上に利用せしむるを本調査の目的となす。
 本縣に於ける施肥標準調査事業は大正六年度に着手せり、其第一年度に着手せる町村二十二に及べりも二三
 町村は中途依託試験に支障を生じたる爲め調査の遂行完全ならざるものあり、本年之等町村の調査成績完了
 を告げ茲に其成績を發表し得るもの左の如し (○)を附せるは栽培試験施行年數完全ならざるもの)

- | | | | | | | | | | |
|----|------|-----|------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| 勢多 | 木瀬村 | 群馬 | 古卷村 | 多野 | 吉井町 | 北甘樂 | 高瀬村 | 碓氷 | 原市町 |
| | 芳賀村 | | 元惣社村 | 神流村 | 丹生村 | 八幡村 | | | |
| 吾妻 | 原町 | 利根 | 薄根村 | 佐波 | 東村 | 新田 | 生品村 | 山田 | 休泊村 |
| | 長野原 | | 白澤村 | 名和村 | 尾島町 | 毛里田村 | 邑樂 | 小泉町 | 大島村 |
| 勢多 | 下川淵村 | 横野村 | 黒保根村 | 群馬 | 倉ヶ野町 | 長野村 | | | |

以上の外當場にては郡農會と協力し調査を施行したるものあり。但し調査事業中委託試験經費は郡農會にて
 負擔し其他の事項は當場にて調査に任じたるものなり。

今右二十七ヶ町村に就て長年月を費し施行したる原地調査、分析検定、及び栽培試験成績を摘録し併せて標準施肥量を表示せる施肥標準調査成績第一編を茲に公表配布せんとす。然れども調査の詳細を列記せんには印刷物膨大となり到底少き経費の能くする處に非ざるを以て可及的に簡畧ならしめたり。従て不満足の点尠からざるべく、調査箇所の記事も多からずと雖も當業者は彼此相比較し以て應用に努めなば裨益する處決して鮮少に非るべし。

附圖に就て。

土性の表示は地圖に據るが觀念明確にして記憶にも便なり、栽培試験結果も圖解にて示せば了解容易なるが故に集めて別冊附圖とし本書に附屬せしめたり。尙附圖には別に解説を添付したるを以て、此のみ單獨にて簡易に栽培試験結果と、施肥の標準と、村内土性を一目瞭然會得するを得べく、繁瑣なる成績を繕かずとも容易に調査成績の概要を知り應用に資するを得べき様通俗出版の体裁をなさしめたり。經費の關係上附圖は二部とし其一を東上州、其二を西上州に區分せり。更に地勢上北上州を一區分とすべき筈なるも便宜上西上州に合併發表せり。

第一 施肥標準調査方法 概要

- 一、目的、縣内全般に亘り農耕地の理化學的性質を調査研究し、且つ各地に代表的土壤を選び作物の栽培試験を行ひ、以て該地方の標準施肥量を査定し、當業者に合理的施肥法を講せしめ、少費多獲の實を、擧げしめむとするにあり。
 - 二、方法梗概、施行町村耕地中類似の箇所を集めて土性區(詳細別項)を多數設け、各の中央部にて原地調査(詳細別項)を施行し、且土壤(表土及心土)を採集し、分析検定(詳細別項)を行ふ。而て又一面に於て町村内に代表的土地(約二ヶ所)を選定し栽培試験地を設け三ヶ年以上主要作物に就て肥料試験(詳細別項)を施行し、其結果と分析調査、並に原地調査の結果を綜合し、各地方別土壤に對する施肥標準を樹て、以て當業者に肥料の合理的施用を爲さしめむとす。
 - 三、施行町村選定、縣内を土性的に區分し、可成耕地面積多き區分中の代表的地方より逐次着手するものにして、一ヶ年平均約十乃至二十ヶ町村を選定し施行す。而して其町村の調査完了し施肥標準決定せる曉には其結果を、同一土性區分中の調査未済町村にも應用しつゝ、進行し以て全部の調査を完了せんとす。
 - 四、調査區劃、施行町村内の耕地を土性的に十乃至二十町歩毎に區分し、之を土性小區と命名し、一町村内を平均三十小區とす。土性區分は平坦地にて略近似的に土性を有する地方に於ては地圖上に方眼を設け區分し、土性複雑なるか又は山間部にありては、多數老農の意見を徴して、同一土性と認むる小字を集めて小區を設けたり。
- 各區中の代表的圃場と認むる箇所にて、現地調査を施行し、其結果類似せる小區あらば集合せしめ、之を土性中區と命名し、一町村内平均十五中區位を設置す。
- 各中區中代表と認むる土地(多くは集合小區中の代表小區に於ける調査圃場)を選びて土壤を表土、心土共

採集し之を分析に附し、其結果肉眼的には異なる如きも分析上類似せる中區あらば集めて一團とし、之を土性大區と呼び、一町村平均約八區位設置の豫定なり。各土性大區中の一乃至二ヶ所が栽培試験地設置區となる。

五、**原地調査**、本調査は現地を踏査施行するものにして、第一調査及第二調査に分ち、前者は土性小區毎に施行するものにして、後者は各土性中區に就てのみ施行す。今調査項目を擧ぐれば。

第一調査 地名、地目、地勢、地質系統、表心土状態、土壤断面状態、乾濕状況、地下水、植生状況、地價、等級、時價等

第二調査 主要作物耕種梗概、施肥慣行及其收量、作物生育成熟状況、病虫害及氣候障害、灌排水湧水状況、土壤に對する農家の評説

第一調査中土壤断面はボーリングを使用し三尺深迄の構造を精査し、表心土状態は肉眼にて査定し、植生状況は其土地に生じおる作物又は雜草に就て觀察せるもの、第二調査中耕種梗概及施肥慣行調査は其地方に於ける當業者の三名以上の意見を徴して決定せり。

六、**土壤採集**、一町村平均十五ヶ所程を採集するものにして支障なき限り、中區の代表圃場より採る、而て採集地にては原地調査を施行し併せて地主、耕作者、前作、施肥状況、並に有機質及石灰の施用量等を調査記入す。

採集の方法は、指定圃場中三ヶ所乃至五ヶ所を選び長さ三尺深さ一尺、巾一尺の縦溝を掘り、其断面に於て表面土壤一寸を除き等距離に移植篋を以て垂直に七寸程三ヶ所より削り取る、此方法を三乃至五ヶ所にて行ひたるものを合併し、よく混合し約一貫匁を布袋に入る、心土は別に一ヶ所に穴を掘り約二百匁を採集し小布袋に納め、兩者を役場に搬入し乾燥したる後、當場に送附す。

採集の時期は畑は九月乃至十月、水田は四月乃至五月、桑園は十一月を採集の標準期としたれども、場合

に應じ變更したり。

七、**分析檢定**、分析法の詳細に就ては別項に摘記したるを以て茲には其概要を擧ぐ。

分析檢定は之を二種類に分ちて行ふ。第一分析は採集土壤の全部に就て行ひ、第二分析は土性大區の代表土壤及び栽培試験地土壤に就き施行す。今其分析項目を擧ぐれば次の如し。

土壤調製、採集せる乾燥土は風乾後木板上にてコルクを以て壓碎篩別し、四耗以上を礫とし以下を細土として洗滌分析に附す、細土は〇、五耗篩にて篩別し之を細微土とし其他の分析に供す。

第一分析(土色、容積比重、含水量、簡易理學的分析、反應、特殊成分の定性)

第二分析(全酸度、全窒素、腐植質、窒素及磷酸の吸收率、可溶性磷酸及加里、石灰、精密洗滌分析)

採集土壤に就て第一分析を施行し類似せるものは集め其中の代表的のものに就て、第二分析を施行するものとする、其他栽培試験地は全部の分析を施行す。

八、**栽培試験**、其詳細は別項に譲り大要を記すれば、試験を二種に分つ。其一是原地に於て委託制度により施行する原地試験にして、其二是原地土壤を場内に搬入し、ポットによりて施行するものにして、原地試験の保證と、及び各種土壤の特性を比較對照せんが爲めに施行するものなり。

施行町村中代表的土壤の一乃至二ヶ所を選定設置し、水稻、陸稻、麥類、桑及稀に特用作物に就て施行す、大別して基礎試験たる三要素試験と其結果により設計試験すべき應用試験の二とす

基礎試驗 無肥料、無磷酸、無窒素、無加里、三要素の五區を設け三ヶ年以上繼續施行するものにして、肥料は反當各要素三貫匁を標準とし、礦物性肥料にて補給し外に石灰二十五貫を施用す

原地試驗 前試験の成績に據り設計施行するものにして三ヶ年以上繼續施行す、試験項目は

栽培試験

〔應用〕 應用試験區、適量査定區、在來法區の三とし、應用試験區は普通肥料を用ゐる適量

〔試驗〕 査定區は化學肥料を用ゐる

場内ポット試験

原土に就きワグネル氏二万分の一磁製ポットを使用し、三要素試験を行ふ、各區共三區別とし平均を採り、施用成分量は一ポット一瓦を標準とし、無機肥料にて給し、外に十瓦の炭酸石灰を施用す

栽培試験に就ては、生育調査、(生育期中二回)に草丈、分蘖等)收穫調査(稈蘖、籾及子實重並容量)、品質調査(二升重、籾磨歩合、稈の硬度、子實の剛度)成分調査を施行し、更に之等より、養分天然供給量、減收歩合、不足成分、收支比較等を調査し、施肥標準樹立の材料とす。

九、調査の指導、郡町村農會中本調査の迅速完成を希望し、特に栽培試験等に要する經費を計上し、調査を依頼せるものある場合は、事情の許す範圍に於て其希望を容れ、調査を指導し完結に努め、又既に調査着手町村中郡町村農會又は其他の團體が原地試験の増設を望む場合には經費を負擔せしめて、之を許容し多數の試験地を設置す。

一〇、施肥標準決定、栽培試験の結果より施肥の標準を決定するには、先づ無要素區收量を完全區收量に比較し減收歩合を求め大体三要素の要求割合を知る。次に無肥料、三要素、應用區、適量査定區、在來法等の各區收量を經とし、其施肥量を緯として收穫線を求め、肥價と穀價を参照して幾何程度の豫定收量が經濟的なるかを知り、更に豫定收量に對する必要成分より天然供給量を差引きて不足成分を求め之に肥料利用率を加味して補給施肥量を算定す。

栽培試験地に於ける標準施肥量を求めたる時は之を土性網により按配して各地の施肥量を推定す。即ち試験地と各大區の原地調査並に土壤分析結果を照合して、各大區の標準を定め、次に原地調査と土壤分析の結果より之を各中區に適する如く修正案配すれば各地に適當する概畧の施肥標準を樹つるを得べし。

然る後各土性に應じて其施肥量を、選定肥料を以て配合すれば、之れ即ち其地方に於ける理想的肥料に近きものたるべく、尙地方農家の經驗を加味して適宜修正を加ふれば、完全に近き配合をなし得べし。

一一、調査結果の普及、原地調査、土壤分析結果、及栽培試験成績は印刷に附し關係町村に配布し、尙通俗的に其結果を一般に理解せしむる爲め、土性圖、栽培試験結果示圖、肥料經濟適量圖等を作成配布し、又最も經濟的なる肥料配合法の指示、並に講習、講話等により調査の結果を一般農民に會得應用せしめ普及徹底を圖らむとす。

第二 原地調査方法

施肥標準調査を施行すべく選定せる町村に對しては先づ、其地勢を考察し平坦地にして略近似せる土性ならば地圖上に二十町歩位の方眼を設け之を土性小區とす、地勢平坦ならず且異りたる土性を多數包含する場合には當業者の意見を徴して類似せる小字を適宜集めて土性小區とす。各小區に於ける代表土壤の選定は經驗深き當業者多數の意見を徴し、地番に依て決定す。

原地調査は其決定せる代表地に就て左記項目により調査するものにして、其際には當場技術員、郡町村農業技術員役場内關係職員及其地方當業者若干名立會の上調査を施行するを原則とし、其結果を野帳に記載す。

一、調査地、番號、町村名大字、小字名、地番、地目、地勢、地質系統

二、表土状態、土色、肉眼的土性、性状(精粗)腐植質の有無、乾濕及其状態、耕耨難易、保水力、作土の深さ、表土の深さ、

三、心土状態、斷面の構造、深度、土色、肉眼的土性、精粗、保水力、

四、狀況、乾濕兩時に於ける状態、地下水の深淺、植物の生育、成熟狀況、

五、肥培、其土地に於ける慣用肥料及其收量、前作、特殊肥料の數量、石灰施用量、

六、其他、地價、等級、時價、農家の評説、

以上は原地踏査の際に記帳するものにして、其結果全く類似し、同一の地質土性を有し、然も心土の構造、作物の生育状況、地勢等類似のものは、其各土性小區を集合せしめ其中最もよく其地方を代表せりと認むるものを選抜し土性中區の代表地とし、土壤を採集し且、次の事項の調査を行ひ之を記帳す。

(甲) 耕種概観調査事項、主要作物に就て次の事項を調査す。
播種期(移植期)及其方法、播種量(移植本數)畦巾株間(一坪株數)、中耕除草其他の手入、收穫期

(乙) 肥培慣行調査事項、其地方に於て熱心なる當業者三名以上の意見を徴し、該地方に於て、肥料を少量施用する場合と、中量施用の場合、及多量に使用する場合の三段に其施肥量と收量を調査し併せて肥培法の概要を記載す即。作物名、肥料の名稱及數量(多肥中肥小肥の三段)所含三要素の奏効量、追肥及其時期、施肥法概要、以上の場合に於ける平年收量。

等を調査の主要事項とす、以上の内肥料奏効量とは三要素の成分と肥効率とを乗じて求めたる奏効成分量を基礎として算出せる成分量にて各種肥料の効果を同一の單位にて表したる數字なり。

(丙) 其他の諸調査事項、作物生育成熟状況、氣候障害、病蟲害發生被害状況、灌排水の設備並に其状態、湧水状況、土壤評説、等を其調査事項とす。

以上各種調査結果は詳細に列記すれば頗る繁雜を極め經費又之を宥さざるを以て、概要を集めて別表としたり。就中第一原地調査は中區のみを記載し肥培慣行調査は各種肥料を列記するの繁を避け其奏効量を算出記載したり。

原地調査成績の應用。

一、土壤性質の比較、町村内各地を通じ、多數の土壤に就て地質を明にし、又土性を示したるを以て各ものを比較對照するに便利なり、而て之に據り某地の肥培法を他所に應用する場合に適當の斟酌を加ふるを

得べく、又試験地の土性や或地方の土性を比較する事に依て試験地の肥培法を他地方に應用する際に誤りを少なからしめ得べし。

二、地質土性と肥培、地質の差異により肥料成分配合上にも加減をなすべきものにして、例は火山岩地、及第四紀古層地にては燐酸の施用割合を増加すべく、第四紀新層に於ては燐酸は寧ろ減すべきも加里の量を増加するを可とし、第三紀に於ては石灰施用量を増すべき等、表により該地方の肥料に多少の手加減を加ふるを得べし。

又土性は肥料の種類に關係するものにて例へば砂土及砂質土にては有機質中特に分解遅きもの、効果大にして、粘土又は埴質土にては無機質速効のもの効果多く、壤土に於ては動物質の肥効大なる等、表により其地方に適當する肥料を選択施用し能率の發揮を大ならしめ得る便宜あるべし。

三、下層土と地力、土壤断面の項は表面より三尺に至る迄の下層土の構造を縮尺を以て記載せるものなるを以て、之により表土の深さも知り得べく、表土深き場合或は心土の土性良好なる場合には深耕により作土を深からしめ得べく、若又心土劣等の土性ならば反て深耕して作土を増すは惡結果を來たすべし、或は又表土砂質にして心土、粘質の場合には万難を排しても深耕は甚だ有利なるべく、或は下底に磐層或は硬層等存する際には深耕により之を打破する時は地力を高め得べく、但し低部砂層の時は反て此層を打破せざるを可とする等の事項を察知するを得て好都合なり。又表土浮石質等にして下底土が壤土等の場合には深根植物例へば桐、桑等に適し、或は表土埴質なれ共淺く心土砂質等の場合には淺根植物に適する等断面の状態を知るときは肥培のみならず適作物の判定にも便利なり。

四、肥培慣行調査の利用、地質及は断面の構造により土地の力は異なる、或土地は多施して多收を得べく他の土地は多施すれば倒伏して減收し、勢ひ少肥にて少穫に満足せざるべからざるあり。其土地の力の大小を知るは施肥量を定むる上に必要なり、而て之を求むるには肥培慣行調査によるを可とす、肥培慣行調査は多

肥・中肥、少肥の三段に施行するが故に次の事項を算定するを得べし。

(中肥收穫—少肥ノ收穫) — 増肥收量……(イ) (多肥ノ收穫—中肥ノ收穫) — 増肥收量……(ロ)

(中肥—少肥) (多肥—中肥)
増肥收量大ナルモノ程土地ノ力大ナリ。 (イ)ヨリ(ロ)大ナルニ土地力大ニシテ多肥ニ利アリ。
肥料成分—貫入ノ價ニ相當ナル穀物ノ石數ヲ……(ハ)トスレバ

(イ)ノ> (ハ)ノ (ロ)ノ> (ハ)ノ ナレバ多肥ニ利アリ
(イ)ノ> (ハ)ノ (ロ)ノ> (ハ)ノ ナレバ中肥ニ利アリ

以上に依て其地方に於ける經濟的施肥量の概要を求むるを得べし、但し穀價と肥價に應じて其都度變化すること勿論なれば從て經濟的施肥量は移動的の値なり。

第三 分析檢定

原地より採集搬入せる土壤は木箱内にて風乾し、調製して分析に附す、簡易なる分析は採集土壤の全部に就て表土及心土共施行し、其結果類似のものは集めて一團とし其内代表土壤を選抜して精密分析を施行せり。分析成績は詳細に記載すれば徒に紙面を費すが故に其内二三の重要なものに就て結果を記述し卷末に納めたり。而て其分析方法は一般常法によりたれども念の爲め大畧を擧げて参考に資せん。

(イ)土壤の調製 風乾土一キロを採り土塊をコルクにて壓碎し四耗の篩にて通過せしむ、篩上のものは礫とし原土に對する%を求む、篩下のものは細土とす。

細土はよく混合し百五十瓦を採り之を洗滌分析用供試品として貯藏す。

心土は表土同様コルクにて壓碎し二百瓦を採りて四耗篩にて篩過し礫を分ち%を求め、篩過の細土中六十瓦を洗滌分析供試品とし貯藏す。

殘餘の細土を乳鉢に入れ杵にて軽く壓碎したる後、○、五耗にて篩下し之を細微土と云ひ一般分析供試品として瓶詰貯藏す、心土も亦同様なり。

(ロ)土色檢査 細微土少許をチューブに入れて架に納め、標準土壤と比較して乾燥状態に於ける土色を記帳す、心土も同様とす。

(ハ)容積比重 細微土を黃銅製圓筒に充滿し、机上に軽く三度叩き空處を充して秤量す、之を三回行ひ平均を求めて一〇〇立方ミリに於ける土壤の粗状態重量とす。次に充滿せる土壤と更に机上にて十分叩き内容の減せざる迄土壤を充し秤量す、之を三回繰返して行ひたる値を密状態に於る一〇〇ccの土壤重量とし記帳す。以上の値より一反歩に於ける土壤の重量を算定するは別に掲ぐる表に據る。

又土壤重量より水分量を減じて一〇〇にて除したるものを容積比重とす、但し水分量は僅少故直ちに下式にて求む。

100CC土壤重+100=容積比重
(ニ)眞比重氣通量及含水量 土壤二〇瓦を刻度圓筒(一〇〇及五〇立方ミリに目盛せるもの)中に入れ、之にピュールレットより水を注加し五〇立方ミリの標線に達せしむ、其時注加せる水量をA立方ミリとすれば
50CC-Acc=Bcc 20瓦+Bcc=S……眞比重

土壤實積=100CC土壤重量÷眞比重
氣通量=100—土壤實積 即 氣通量=100—(100CC重量÷眞比重)

含水量は密土の場合に於ける氣通量を以て含水量の%と見做すものとす。
(ホ)土壤の反應 細微土少許を連續乳鉢に採り規定中性鹽化加里液を注加し、數分の後青色リトマス試験紙

を挿入し反應を検す、直ちに上部まで變色するを強酸、中央部位迄變色するを酸、土壤面上僅かに變色するを弱酸、土壤に接觸する部分のみ變色するを微酸、變色せざるを中性、赤色試験紙を青變するを鹽基性として其程度を區別す。

(ハ) 粒子の組成検査 表土及心土の細土に就て行ふ簡易なる洗滌分析にして、器具はシエーネ氏装置の大管と、ビーゾメーターを用う。

細土三十瓦を皿に採り少許のアモニア水と水を注加煮沸し、之を大管に移し、〇、二秒耗（今回のものは四秒耗）の流速を以て水流を通過せしめ排除し得たるものを粘土分、殘留せるものを砂分、とし砂分を乾燥秤量し原供試土重より減じて粘土重を求め、砂分は更に〇、五秒篩を通過せしめ篩上ものを砂分、通過せるものを細砂とし各百分比を求め、粘土分の多少により次の分類表に照し之を命名したり。

土壤種類	強埴土	埴土	壤質埴土	埴質壤土	壤土	砂質壤土	壤質砂土	砂土
粘土の%	94-81	30-60	59-50	49-40	39-30	29-20	19-10	9-0
亞粘土	11.0-95	70-85	60-70	50-60	35-50	25-35	15-25	15-5

(ト) 特種成分の定性 礦毒地方又は鹽分含有地方或は温泉流入地等にして、土壤中に特種の有害成分混入の標準は之と異り次表の如し。

廣ある地方の土壤に就ては常法に従ひ特殊成分の檢出定性を行ふ。

以上五項の分析檢定は採集表土の全部に就て施行し、内心土には、粒子の組成、反應、のみを施行す。右檢定の結果類似の土壤に就ては各自精密分析を施行する煩を避け、同類を相集合せしめ其中代表と認むるものに就て次の精密分析を施行す。

精密分析の方法

(イ) 腐植質の定量 標準土壤に對しては供試細微土十瓦を採り一%鹽酸を加へて浸出濾過し濾液が苦土及石灰を含有せざるに至り、四%アモニア五百立方ミリヲを注加し振盪し二十四時間の後上澄液二五立方ミリヲを蒸發皿に採り蒸發乾固し、蒸氣浴にて乾燥秤量し、次に灼熱秤量し、兩者の差を腐植質量とす。但し一般の土壤に就ては鹽酸にて浸出することを省略し直ちにアモニア液を加へて定量し遊離腐植酸の量を求む。

尙又腐植質の概略定量法として比色法をも採用す、即ち標準土壤にて腐植質を定量したる結果其一%より二十%迄を含有するアモニア浸出液を標準液とし定量すべき土壤のアモニア浸出液と比較し概略を知るの方法にして簡易なるを以て廣く一般土壤に就き實行するに便なるが故概略法として採用せり。

(ロ) 全酸度の定量 大工原氏鹽化加里法に據る、即ち供試細微土一〇〇瓦を三角瓶に採り規定鹽化加里液二五〇立方ミリヲを注加し振盪しつゝ五日間の後其上澄液一二五立方ミリヲを採り煮沸し、ヘノールフタインを指示薬として十分ノ一規定苛性曹達にて滴定し、之に要せし立方ミリ數を酸度實數とし、三倍して全酸度とす

(ハ) 全窒素の定量 ガンニンク氏法を採用す、即ち土壤五瓦を分解瓶に採り粉末硫酸加里十瓦を加へ硫酸三五耗を注加し煮沸分解せしむ、冷却せざる内に水を加へ二五〇立方ミリにし、五〇立方ミリヲを採り定法に従ひ窒素を蒸溜滴定し檢出す。

(ニ) 有効磷酸加里石灰の定量 細微土一〇〇瓦を七百耗定容フラスコに採り一%規定鹽酸七百立方ミリヲを加へ振盪し攝氏四十度の水浴内に五時間保温したる後上澄液一〇耗を採り苛性曹達にて滴定して土中に存する

アルカリの爲めに稀釋せられたる鹽酸量を求め之に相當する塩酸を濃厚液を以て補充す。

$\frac{1}{5}$ 規定塩酸液700CCに相當する $\frac{1}{10}$ 苛性曹達の容量………A.

濃厚鹽酸液 1 坵に相當する $\frac{1}{10}$ 苛性曹達の容量………B.

上澄液10坵を中和するに要せし $\frac{1}{10}$ 苛性曹達容量………C.

{A-(C×70)}÷B = 注加すべき濃厚鹽酸の容量

以上供試液五百立方ミリヲを採り蒸發皿にて乾固し更に硝酸少許を加へて乾固し後鹽酸を加へ常法により硅酸分離を行ふ。而て二五〇立方ミリに充滿し供試液とす。

有効磷酸、供試液五〇立方ミリヲを採りローレンツ氏法により磷酸を定量す。

有効加里、供試液五〇立方ミリヲを採り常法により加里を定量す。

石灰量、供試液三十立方ミリヲを採り過マンガン酸加里を用うる滴定法により石灰を定量す。

窒素及磷酸の吸収力、細微土二五瓦を共栓三角瓶に採り二、五%中性磷酸アモニア溶液五十立方ミリヲ

注加振盪すること二晝夜、後一日間靜置し其上澄液を供試液とす。

窒素吸収力、クノツブ氏アゾトメーターを使用す供試液一〇立方ミリヲを採り瓦斯發生瓶に入れ、外圍に二

五〇の次亞臭素酸曹達液を入れ密閉後攪拌して瓦斯を發生せしめ其容量を求め之を零度一氣壓に校正しデヒ

ートツツヒ氏表に依て窒素の重量を求む。別に二、五%磷酸アモニア液十立方ミリ中の窒素重量を求め兩者

の差は土壤に吸収せられたる窒素量なるを以て土壤百瓦の吸収量を坵數にて表し窒素の吸収係數とす。

磷酸吸収力、供試液三立方ミリヲを沈澱管に採り常法によりモリブテック液を加へ黄澱を作り加温したる後

遠心分離器に掛け一分間千廻轉の速力にて五分間廻轉す、同時に二、五%磷安原液三立方ミリヲを同様に處理

し分離器に掛け、兩者の黄澱容量を沈澱管の目盛にて讀む、二、五%磷酸原液の所含磷酸量は既知なるを以て

原磷安液黄澱容量—土壤上澄液黄澱容量=土壤吸收磷酸相當黄澱量

原磷安黄澱量：其所含磷酸坵數=土壤吸收磷酸量：X

X = 土壤に吸収せられし磷酸の坵數

由て其X量を土壤百瓦に對する磷酸の坵數に換算すれば之れ即ち吸収係數なり。

(へ)精密洗滌分析、細土三十瓦を採りアモニア小許と清水を加へ三十分間煮沸攪拌し之をシヨ―ネ、オルト

氏装置に移し流速〇、二秒耗、(之によりて流去するを粘土とす)二秒耗(流出するものを亞粘土とす)七秒耗

(流去するものを細砂とす)の三様に行ひ、殘餘の砂分は 〇、二五 〇、五 一、〇 二、〇 三、〇耗の直徑を

有する篩にて分別し記帳すること一般分析法に準ず。

以上六種の精密分析の結果は集めて卷末に記載したるを以て就て見るべく、更に其結果を綜合して耕種肥培

の参考となすべし。

分析調査成績の應用

土壤の分析檢定成績表を通覽すれば彼我土壤の性質を明確に比較するを得、從て或地の肥培法を他所に應用

して誤り少かるべきが故試驗地の肥培法も分析結果を參照し村内各地に廣く應用するの便あり、今單獨に分

析結果を以て肥培法改良に應用すべき二三に就て述む。

(一)土色、土壤の色は生産力に關係すること大なり而て色は砂分の白色、鐵分の赤色、腐植質の黒色が主要なる原色となるを以て淡色のものは有機物に劣しく、赤色又は黄色は有機物劣しく鐵分多し、從て此種土壤には有機物を使用すべきは勿論なるも鐵分の害大なるを以て石灰と磷酸の施用を多からしむる必要あり、黒色のものは有機物過多にして其酸性が植生を害し、吸収力強きに失する爲めに肥料分特に磷酸分の過用を必要とす、其改良は石灰又は耕耘により過度に存する有機物の消滅を圖るにあり。青色を呈する土壤は排水不

良なるか又は亞酸化物集積して植生を害する處多く、黒褐乃至褐色は大体に於て生産力も大なり。
 (二)容積比重 土壤の重量は粗密兩様に試験して掲載せり、粗状態は耕耘せる土壤を意味し、密状態は耕耘前の土壤を意味するが故に兩者重量の差の大なるは氣通良好にして状態良なるを示す。又重量少なるは輕鬆土にて地力少く、重量大なるは砂土にて地力又小なり。尙重量の大小は分析成績に關係するものにして分析成績は總て重量を單位として示したり然るに原地にては容積により充填さる、故に、分析上成分量大なりとするも、容積比重少なるときは一反歩栽培土壤としての養分は寧ろ少量なるべし、從て土壤成分の多少を論ずる際には常に容積比重を念頭に置くを要す。

容積比重過度に少なるは養分の含量は少きも吸収力は極めて強きが常なり、從て肥料は多肥せざるべからず、重量大なるものは砂分に富む故根部の伸長十分ならず、吸肥力も少きものあり。

容積比重の大小は理學性良否判定の標準となる其の過度に少きは腐植質土にして生産力乏しく、中位に少きものは空氣透過度大なるものにて生産力高く植質土壤なり。大なるものは空氣の透過過大に失するが故に生産力又低位にして砂土之に屬す今百立方耗に對する土壤重量(略容積比重に相當す)を示せば次の如し但し密土状態に於ける瓦數なり。

腐植質土	80-100	壤土	100-120	砂土	130-170
------	--------	----	---------	----	---------

次に容積比重は一反歩の土壤重量算出の場合に役立つものにして、土壤總重量は、含有成分の計算、酸性中和石灰の計算、土壤溶液濃度の計算等に必要なり。

今一反歩の面積にて深さ五寸として土壤重量を計算すれば、土壤百立方耗の重量一〇〇瓦の場合には四万貫にて重量十瓦を増減する毎に四千貫宛を増減す、即、

百耗ノ土壤重量	70
一反歩五寸深重量	2.8
	3.2
	3.6
	4.0
	4.4
	4.8
	5.2
	5.6
	6.0
	6.4
	6.8

次に容水量は容積比重に反比例的に増減するを以て容積比重により大体容水量を察知し得べく腐植土の如く容積比重少なるものは容水量極めて大にして砂土の如く比重大なるものは容水量少なり、容水量は生産力に大なる關係あり排水可良、斜地、乾燥地等にては容水量大なるもの生産力大にして、降雨多く地下水高く濕氣に富む地方は容水量低きもの生産力高度にありとす。

(三)全酸度 腐植酸に據らざる酸性土壤は本縣には強度のもの少く低度のもは極めて多きが故に分析結果により其程度を察知し石灰の加用を行ふを可とす全酸度の表示は立方耗數を以てせり。九以上の値のものは酸度の強き部類に屬す、酸度を中和すべき石灰量を算出するには次の如くすべし。

先づ土壤百瓦の全酸度立方耗數を求め(分析表記載の數字は即ち是れなり)次に前項の方法に依て一反歩の土壤重量を求め、即ち百立方耗土壤重量より表に依て一反歩五寸深の土壤重を知る、而て次表は全酸度立方耗數より一萬貫土壤の中和石灰量を示したる數なるを以て、求むる土壤の全酸度に對する石灰量を檢出し之を既に求めたる一反歩土壤重量に乗じて其土壤に對する施用量を算出すべし。

酸性土壤に對する石灰用量表

註 右段全酸度立方耗數は土壤百瓦にて檢出せるもの即ち分析表記載のもの。

土壤全酸度ノ立方耗數	3	5	7	9	10	11	12	15	16	20	30	40	50	60
土壤一萬貫中 和炭酸石灰量	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0	5.5	6.0	7.5	8.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0

備考 中和に炭酸石灰即ちフケバイを使用せる例にして良好なる生石灰なれば約半量にて可なり。以上依るに土壤全酸度千立方耗の場合には一万貫中和に炭酸石灰五貫を要し、一立方耗を増減する毎に五百匁を増減すれば可なり。

前記百立方耗土壤重一〇〇瓦は反當四万貫にして此際に加用炭酸石灰は全酸度一〇立方耗の場合には二十貫なり。

註一 土壤百立方耗の重量一〇瓦の増減は反當四千貫の増減となり。百立方耗の全酸度一立方耗の増減は土壤一万貫に對し中和炭酸石灰五百匁の増減なれば、表に據らずして加用石灰量を算出し得。

(四) 全室素 比室素は有機及無機態の全部にして殊に有機態のもの多し、一般に其含量豊富なるものは土壤肥沃なるを以て室素分の施用を差控へて可なり、但し腐植質含量の多きものは全室素多きも作物に吸収せられ得べき種類の室素は極めて少きを以て、斯かる場合は假令全室素量多きも地味は豊沃ならず從て速効室素質肥料の加用を要す。

(五) 腐植質 腐植質は土壤の理學的性質を改良し吸肥力を増さしめ肥料の効果を増大する上に大切なるを以て適量に含有せざれば地力を減殺す、然れ共多きに失すれば、反て酸性腐植質を形成して植生を害するが故に不可なり、依て分析成績に據り多きに過ぐれば之を減少せしむる策即ち石灰の加用、耕耘、有機物の減施、速効礦物肥の加用等を圖り、少きに失すれば堆肥、綠肥の多施用を企て之を増量すべきなり而て腐植質量は土性に依て所含程度に差異あるを以て土性に應じ過不足を判定せざるべからず、今其標準を二三の材料より憶測すれば次の如し。

腐	粘土の場合	壤土の場合	砂土の場合
	缺乏	二、〇—以下	一、五—以下
腐	少量	二、〇—五、〇	一、〇—二、〇

質	適量	五、〇—一〇、〇	三、〇—五、〇	二、〇—四、〇
	多量	一〇、〇—一五、〇	六、〇—一〇、〇	四、〇—八、〇
質	過多	一五、〇—以上	一〇、〇—以上	八、〇—以上

(六) 有効性磷酸、加里、石灰 土壤中に含有せらるる成分は其量少なからざれど、大部分は不可吸態をなしたるが故に、普通の土壤分析に於て求めたる絶対成分量は以て地力を指示する能はず、絶対成分は少量なるも作物の可吸分は多き土壤もある故、地力を知るには勢ひ作物に吸収し得べき形態の成分量を檢定するを要す、植物根は一種の酸を分泌して土壤中の不溶分を可溶性に變化するが故に其酸に類似する溶液にて土壤を浸出し、得たる液より成分を檢出すればこれ有効性のものたるべし、根より分泌する酸は或はクエン酸、或はクエン酸アモニア、或は炭酸等に類似する等様々の説あるも、浸出液より成分を定量するに大同小異なるを以て製作の簡易なる方法即ち1/5規定鹽酸にて土壤を浸出し成分を檢出する方法を採用し、檢定せる成分を分析表に記載せり。

有効成分量の大小は稍土壤の肥瘠を表すが故に含有量少き成分は多施し、多きものは減施して可なり、但し作物の肥料吸収力は幾多の諸要素例へば光線、空氣等に左右せらるるが故に有効成分總量を土壤重量より計算し吸収分を知り得る程に簡單にあらず、有効成分の多少を参考して何成分に富めるかを見又は他の土壤と肥瘠を比較する目安となる位の程度に應用せらるるに過ぎず。

(七) 室素磷酸の吸収力 土壤に施肥せる際之を吸収し流亡を防ぎ且土壤中に濃厚液を形成せしめざるは吸収力の効果なり、吸収力少き場合には分施の回数を多からしめざれば肥効を減す、從て土壤の生産力は吸収力の大小に關係すること多し、概して吸収力は粘土の如く膠質物の含量多きものに大にして砂土其他の砂質土に少なり。一般に吸収力大なる場合には地力高きを常とするも、腐植質、赤粘土等に於ては吸収力過度に強く殊に磷酸に於て然り、斯かるものは土壤自身が未飽和の爲めに多量の成分を吸着するが故、作物に分與

第四 栽培試験

二十四

現地調査及分析検定のみにては其地方の標準施肥量を決定し能はざる故に原地土壤に就て實際に作物を栽培し肥料試験を行ひ標準を決定するものにして、之に二種類を設く、其一是原地に於て依託試験の形式とし、郡農會又は町村農會に依託し更に該農會より擔當者を選抜栽培せしむるものにて擔當栽培者は其地方に於ける熱心家にて農學校卒業者又は選抜農事講習修了者或は其他農事に堪練なる士とし往々又小學校等にも擔任を委託し、以て可及的に正確を期す。

其二是原地土壤を場内に搬入しワグネル氏二万分の一反ポットに於て施行するものにて原地試験の保證たらしめ尙又同一状態にて各地の地力を比較し地質土性の系統により施肥の標準を検知せんが爲めに行ふものにして、地質土性の異なる毎に一ヶ所宛を設くるを原則とす、但し原地栽培試験を施行し得ざる場合に於ては本調査を以て之に代ふるものとす。

原地栽培試験は施行町村内の代表的土壤に就て施行するものにて耕地面積に應じ水田多ければ水田とし桑園多き場合は桑園を設くも、多くの場合に水田一ヶ所、畑一ヶ所を設くるを普通とし、其他必要に應じ桑園をも設置す、多數試験地を設置するは試験及調査成績を正確ならしむるが故に郡町村農會又は其他の團體にして設置を希望し經費を負擔する場合には一町村内と雖も數ヶ所の試験地を設くるものとす。

栽培の方法は大體當場耕種法により、之に地方的慣行方法を參酌加味す、栽培設計書は毎作付前擔當者に與へ、肥料は石灰及應用區に施用すべき有機質肥料以外は全部當場にて配合荷造し各區分を明記して送附す、播種、移植調査、收穫等の際は時日を豫告せしめて之に立會ひ其他病虫害又は其都度發生したる事項に就ては栽培者に適當の手段を採らしむ、生育、收量等の調査は報告用紙を與へて其都度記入報告せしめ一般の手

入、管理、生育状況等も記入せしむ。收穫物は其一部分を各區毎に當場に送附せしめ子實の容重、粗磨歩合、成分等を精査するの材料とす。

試験に供する作物は水田試験地に夏作水稻冬作麥類、畑試験地は夏作陸稻冬作麥類とす但し陸稻の栽培するを得ざる地方は便宜他の禾穀類を以て之に代へ桑園に於ては桑とす、其他特種の場合には特用作物に就ても行ふものとす、而て其各品種に就ては縣の奨励品種にして而も其地方に廣く栽培せらるゝものを採用す、桑に就ては既に栽植せる四五年生のものに就て施行するが故に品種は標準を一定すること難き爲、年數及品種を參酌し適當なるものを選む。

栽培試験概要

イ) 試験區別 試験を大別して二とす、一は基礎試験(三要素試験)にして地力即ち養素の天然供給量を査定し施肥標準の基礎を定むる爲めに行ふものにして無機質肥料を施用す、其二是應用試験にして基礎試験により得たる材料により設計し其標準が果して其地方に適するか、又は幾何程度に施すを適量とするか、或は在來法に比較して如何なる点を改良すべきか等を檢するを目的とす。試験の區別は次の如し。

三要素試験

無肥料區、石灰ノミヲ施用シ三要素ヲ與へズ、地力ノ程度ヲ檢ス
無窒素區、窒素ノミ施サズ、其他ハ豊富ニ與へ、窒素ノ天然供給量ヲ査定ス
無磷酸區、磷酸ノミ施用セズ、磷酸ノ天給量ヲ知リ其必要程度ヲ檢知ス
無加里區、加里ノミヲ施用セズ、加里ノ天給量及其必要程度ヲ知ラントス
三要素區、三要素及石灰ヲ十分施ス、其地方ニ於ケル多肥收穫ノ程度ヲ知ル
適量査定區、三要素區ヨリモ窒素ヲ一貫々減施シ、窒素施用量ニ對スル收量ノ傾向ヲ知リ、經濟的(第二應用區)ノ窒素用量ハ幾何ナルカラ驗スルノ材料トス
應用區、(三要素試験結果ニヨリ算定セル肥料ノ適量ヲ其地方ノ慣用肥料ニテ施用シ(但シ成分

二十五

試驗

在來法區、

ノ計算ニハ肥効率ヲ加味ス。收穫ノ程度ヲ驗シ、併セテ在來區ト比較シ經濟的關係ヲ明ニシ、改良施肥法ノ効果ヲ驗スル爲ニ行フ。其地方ニ於ケル在來施肥法ニヨリ栽培シ應用區ト比較シ收支上ノ利益ヲ明示シ、併セテ合理的施肥ノ必要ヲ比較スルノ材料トス。

以上試驗は各三ヶ年以上を經過し之を平均し正確を期す。但し其内特殊の事情により著しく減收せる年あれば除去して年數に加へず、尙又初一年は殘留養分濃厚に過ぎ正鵠を得ざるものと認むるときは四年間施行平均す、又時として初一年と第二年目と略收量等しき場合には應用試驗に限り二ヶ年平均とす、其他應用試驗は三要素試驗終了後其成績により設計すべきものなれども、三要素試驗施行の三ヶ年間を徒らに袖手空費するを避くる爲め初一年に於ける三要素試驗により試に應用試驗を設計し豫備的に二年目より施行す、而て其設計と三要素試驗終了後求めたる設計と合置する場合には豫備應用試驗の年數を應用試驗の年數に加算す、但し豫備應用試驗の設計が全然三要素試驗完了後の設計と傾向に於ても合置的を見出し能はざる場合には勿論三要素試驗終了後の設計により更に三ヶ年以上應用試驗を行ふ。

○試驗區及肥料 一試驗區は十四坪にして之を甲乙二區に分つ、周圍の外邊に接する二尺、内邊に接する一尺五寸通りを番外列とし調査に加へざるを以て、結局調査面積は拾坪となり内甲乙兩區となる。試驗區數は基礎試驗五區、應用試驗三區計五區にして、一區毎に周圍に歩道を圍らし、中央に水路を設くるが故に試驗地全面積は四畝二十歩となる。

桑園にありては既設の圃場に試驗區を當て嵌むるが故に面積も一定せざれ共大低九株又は十一株を五作宛とし左右一作宛と前後二株通りを番外列とする故結局調査範圍は十五株となる、其内不良株は除去し樹勢の均一なるもののみを選抜調査す。水田及畑に於ける一區は長邊二三尺短邊二二尺の略正方形にして水田にては中央に細畦を作り甲乙に二區劃

とし畑にては畦を設けず二區劃とす、稻は短邊に二十二作長邊に二十九株（内一株は細畦により植付不能なれば結局二十八株）其内圍り二株通りを番外列とす但し甲乙兩區境には番外を設けず麥は長邊に十一作、を設けて條播し甲區五作半、乙區五作半とし、一區中左右一作宛及前後一尺五寸通り宛を番外列として刈除く、但し甲乙兩區の境には番外列を設けざる故結局調査區は甲四作半、乙四作半計九作なりとす。何れにするも調査範圍は十歩なり。

但し大正六年より九年迄の分は甲乙兩區を設けず一區劃なり。

肥料 肥料成分施用標準量は反當にて普通作物は窒素三貫磷酸三貫加里三貫石灰二十五貫とし無要素區は當該要素を除きたる以外のものと與ふ、施用肥料は硫酸、強過磷酸、硫酸加里、の相當量なれ共都合によりては磷酸アモニアを以て硫酸及過磷酸の代用とすることあり。桑園にては施用成分標準量は窒素八貫磷酸加里各六貫にして肥料は畑の場合と同一種類なり。

一區當り施肥用量は次の如し（但し硫酸加里は四〇%として）

肥料	一般の場合 (匁)			特殊の場合 (匁)			共通	備考
	安	強過磷酸	硫酸加里	安	硫	安		
無肥料							肥料石灰	上記ノ内窒
無窒素			七〇〇				各區共一	素肥料ハ一
無磷酸						七〇〇	貫五百匁	部分追肥ト
無加里							宛ニシテ	ス、麥ニア
三要素	七〇〇	七〇〇	三五〇	七〇〇	一四〇		耕耘ノ際	リテハ三分
適量査定	四六五	七〇〇	二二三	七〇〇	一四〇		ニ施用混	シ元肥ト追
				四六六	九二	二三四	合シ置ク	ハ三分ノニ
								元肥ニ殘餘
								ヲ追肥トス

以上は一區の量なるが故其中の甲及乙區に對しては之を折半して使用する。

桑園の場合は春肥と夏肥の二期に分與し、各期共窒素肥料の一半は追肥とす。

施肥の方法は以上數量の内硫安又は燐安は夏作には一部を追肥し、冬作は三分し一分を元肥他を二回に追肥す、時期は稻は第二除草の際、麥は第一及第三中耕の際水溶とし又は土を混じ撒布す、但し燐安を用うる場合には作物の葉に觸れざる様注意す。

肥料の全部は當場にて荷造送附するも石灰のみは便宜擔當者に於て施す、荷造は全部混合せるものをバラヒン袋に入れ厚紙にて包み布袋に入れ更に之を集めて布袋入とする故に包装は完全なり、播種迄に荷物の到着せざる時は便宜其地方にて配合施用す。

應用及在來區肥料は其場合により夫々相異なる、内無機肥料は當場より送附するも有機肥料は擔當者に於て任意購入使用するものとす、在來區肥料は地方に於ける中等肥料によるべきも時に擔當者に於て競作的に多施する場合もあり又は計算に誤りありて多施することあるを以て信を置き難きこと少なからず。

在來及應用共肥料の種類は勿論慣用肥料なりとす。
ハ栽培法概要 稻は普通苗代にて仕立てたるものを畦行一尺株間八寸、一株三乃至五本位を植付け、除草三回位、其他の事項は地方の慣習に據ること。陸稻は麥の作入れとすべきものにて二尺畦中の條播とし反當三升乃至五升(一區二合位)とし中耕除草約三回位其他の事項は地方慣習に據ること。

麥類は二尺條播とし播種量は反當大麥四乃至六升(一區當り二三合)小麥四五升(一區一、五乃至二、五合)とし種子に肥料を直接せしめざる様間土して播種し踏付、中耕、土入各三四回位施行し其他は地方の慣習による、桑園は耕種法凡て慣習による。

栽培法に關する注意事項
1 各區共前記肥料以外絶對に他肥料を施用せざること、2 種子は可成獎勵品種にて地方に栽培し適當と認めたるものを選び鹽水選麥は温湯浸法を施したるものたること、3 播種、中耕、除草、土入、沈壓等

の方法回数等は地方の慣習に大体據るべしと雖も其施行回数及月日は明記すること、4 病虫害の驅除豫防には周到の注意を拂ひ被害状況は其都度詳細に記帳し、尙之等の事情又は氣象障害により設計と異なる栽培管理をなしたるときは其大要を記載すること、5 以上の外の事項は各區均一の取扱をなし絶對に偏頗を忌む

6 陸稻の作入の場合に麥倒伏し不可なるときは平坦部にては刈取後播種すべく山間部にては粟又は稗を栽培すべく又麥の生育遅れ陸稻肥料として硫安の施用危険なれば全部追肥とす、濕田にては麥の播種は上げ畦にて可なり、7 其他の事項は慣習により適當の處置を其都度探りて差支へなきも其事項を明記するを要す

(二)調査方法 生育調査は夏作は七月二十日及九月一日に、冬作は三月廿日及五月五日に草丈、株數(麥は一尺間の本數)を中央に近き標準株の二三に就き施行し平均を求め記帳す、尙各區生育の等級及刈取期にも同様調査を詳細に行ひ倒伏、實入りの状況、天候、病虫害の状況等を記帳す。收穫調査は穗首黃變せる時に稻は周圍二株通りを番外列とし其内部を調査區とす(内部株數甲乙合計四百五十株)麥及陸稻は左右壹作宛と前後一尺五寸通りを刈除き内部を調査區とす。刈取りたるものは各區混同せざる様架にて乾燥し脱穀の上調査に附す、調査事項は子實の重量及容量、藁の重量、一升の重量、出穗期、成熟期、等にして詳細報告用紙に記帳す。而て子實の一部分は當場に送附せしめ之を糊磨調査し又は剛度、比量、容重、成分等を必要に應じ調査す。

桑園は春期は刈桑總量及新梢葉量を實測し秋は葉量(但し採集せざるを妨げず)を記帳す、生育調査は枝條の長さ及葉の着生平均數を見る。

調査に關する注意
1 下草丈は各區共歩道より三尺以上巨りたる定まりたる二三の株に就て葉尖迄の長さを測り平均し、同時に其株にて本數を驗す(但し麥、陸稻は一尺間の本數) 2 生育調査の際には生育良否、葉色、莖の強弱、病虫害被害状況、生育の整不整、枯株の有無等を記入す、3 出穗期は全体の約三分の一の出穂を見たる時とし

二十九

して事實に遠ざかるを避けざるべからず、以下試験成績應用の二三に就て述べむに。

(イ)各要素の缺乏が收量及品質に及ぼす影響 各無要素區と其要素施用區及び三要素を比較し、收量の多少石數に對する子實重の多少、子實重に對する藁重の多少、子實に對する玄米の多少等を比較し其要素の欠乏が作物に如何なる影響を及ぼすやを知るを得べし、尙粗磨歩合、硬度、成分一升重等も詳細調査しあれ其之を一々記載する時は徒に紙面を増加し煩に堪へざると、各無要素の傾向は皆近似せるを以て敢て擧げず、但し一升重は子實容を以て子實重を除して得らるべく、又粗磨歩合も表より求め得べし、尙之等の各要素間の傾向に就ては他日公表の機會あるべし。子實に對する藁重即ち收穫歩合は要素利用上特に注意すべきものにして例へば無磷酸の如きは比較的藁重多く無窒素は藁重少き等は施用養分を無用なる部分に浪費する多少を語るものにして肥料配合上注意すべき点なり、又三要素區は一般に子實重少く又成分含量亦少きは、收量の増加の爲めに品質が穢性にされたるが故なり。各要素の欠乏が品質に及ぼす影響は試験地の地質によりて甚だ差異あるが故に各自近似の試験地に就て其傾向を詳細に調査研究すべきなり。

(ロ)三要素の天然供給量 土中にある可給分及灌溉水、雨水等より來る養分等が作物に吸収せらるゝ量即ち天然供給量を知るは肥料を經濟的に施用する上に最も大切なる事項たり、天然供給量一略して天給分と云ふの多き成分は肥料として補給する分量を少量にして可なるべく反對に天給分少なければ多施せざるべからず之等天給分は分析により驗知する能はざる故栽培試験に俟つ。

無窒素區は磷酸、加里を十分に補給し窒素のみを與へずして作物を栽培したる區なるが故に其區の作物を收穫物全体に含まるゝ成分を檢定すれば、これ肥料によらざる成分即ち天給分なり。同様にして無磷酸區收穫物中の磷酸分、無加里區收穫物中の加里分を分析檢定する時は各要素の其作物一作に對する天然供給量を査定するを得べし。斯くして求めたる天給分を其作物豫定收量を得るに要する成分の全量より差引けば茲に不足成分を算出するを得べく之を肥料にて補給するものとす。從て其分量の多少により施用成分に加減を加ふべきなり。天給分は地質と土性により著しく異なるが故に近似の土性を有する試験地の結果より天給分を求め肥料配合の參考に資すべし。

簡易に天給分を求むるには反當子實(粃)收量(石數)に左の數字を乗すべし(但し大体數を得るに止まる)

無窒素栽培反當子實	稻	1.17	＝反當窒素天然供給量
	大麥	0.83	
	小麥	1.20	
無磷酸	同	0.33	＝同 磷酸 同
	稻	0.30	
	大麥	0.49	
	小麥	0.49	
無加里	同	0.70	＝同 加里 同
	稻	0.49	
	大麥	0.49	
	小麥	0.66	

(ハ)經濟的施肥量の算定 施肥による作物の增收は級數的に漸増するに非ずして、増肥に従ひ漸次增收量歩合減少す、之即ち土地收穫遞減則に支配するゝによる而て増肥による增收量が肥料代を償はざるに及べば、たとへ收量は増すとも純益は増加せず、增收代が増肥代を償ひ得る條件中最高收量を施肥の經濟的限度と云ふ、其限度以上に未だ增收の餘地はあるべきも經濟的には非ず、更に増肥を繼續して或点に到れば最早増施肥により增收し得ざる点に到達す之を絶對的最低收量と呼ぶべし、此点以上に施肥すれば肥料濃度、其他の有害作用、或は倒伏、病害等の爲めに減收す、肥料の施用による收量は最高收量迄増加し以上は漸次減收し之を曲線に書けば拋物線に近似するが如し。

今施肥量を緯線に、其收量を經線に採り作圖すれば、無肥料區收量の頂点より横に線を設け施肥量に従ひ位置を採りて其時の收量を縦に基線より引き其各頂点を連結すれば其連結線(之を收穫曲線と呼ぶ)は拋物線に近似すべし、而て無肥收量線同長以上の部分に於て施肥代に相當する肥料代を收量經線より控除したる殘餘

は施肥により得たる純増収たり、其部分の最長なるもの、施肥量が経済的施肥量にて其収量は経済的収量たり。

試験成績により基線上に縦に無肥料収量(一石を一寸として)を採り之を基点として横に施肥量相當の距離例へば三要素は窒素三貫匁三寸、適量査定區は二寸、應用區在來區は其相當量を距て、縦線を立て収量に應じて長さを定め其頂点を連結すれば收穫曲線を得べし、但し應用區在來區は有機質肥料を用ゐたるために土質によりては他の三要素區及適量査定區よりも著しく減収することあり然る時は之を除外す、而て收穫曲線の孤を拋物線に近似する如く灣曲せしむる時は試験成績の五点觀測(無肥、在來、應用、適量査定、三要素)の結果より施肥量を各種に變更したる場合の收穫結果の大体を察知するを得べく從て前述方法により經濟的施肥量及經濟的収量を市價に應じて決定するを得べし。

以上は作圖による經濟的施肥量の算定なるも數字的に試験結果より經濟的施肥量を求むるには

(三) 三要素収量代—無肥収量代—施用肥料代=窒素三貫施肥による純増収

(適量査定區収量代—無肥収量代)—其施用肥料代=窒素一貫施用による純増収

等の形式により應用區及在來區のものをも調査し施肥による純増収最大のもののが經濟的施肥量にして其附近の施肥量を採れば過り少く、又豫定収量を立つる際にも之經濟的施肥の際に於ける収量を標準とすれば大体誤らざるに近し。

(二) 三要素施用量の算定 前記方法に據て天然供給要素量を知り且又市價に順應せる豫定収量を知るが故に次式に據て不足成分量を求め得べし。

豫定収量を得るに必要なる
窒素—天然供給窒素 = 不足窒素量
磷酸—天然供給磷酸 = 不足磷酸量
加里—天然供給加里 = 不足加里量

而して此不足成分を肥料にて補給する場合には、肥料の利用率(吸收率)を考査するの要あり。蓋し施用せる肥料成分は土壤中にて一部分不可吸となるが故に不足量を補ふ場合には其分を見積りて多施するの要あり、今當場並に農商務省農事試験場、駒場農科大學、各地農事試験場等にて査定せる材料により肥料利用率の大きを本縣に類推し概數を示せば次表の如し。

窒素		磷酸		加里	
アモニア性窒素	硝酸性窒素	水田(割)	畑(割)	桑園(割)	平均
動物性	植物性	7.5	6.5	7.5	7.0割
搾粕類	乾物類	8.0	6.5	6.0	
動物性	植物性	6.5	5.0	5.5	5.0割
搾粕類	乾物類	7.0	5.0	5.5	
蠶、鶏糞	綠肥類	5.0	3.0	3.0	2.5割
堆肥類	綠肥類	6.5	4.0	4.0	
堆肥類	綠肥類	4.0	3.0	4.0	2.0
堆肥類	綠肥類	4.0	3.0	4.0	
水溶性	水溶性	3.0	2.5	2.5	3.0
枸溶性	枸溶性	3.0	2.5	2.5	
動物性	植物性	2.5	1.5	1.5	2.0
植物性	植物性	1.5	1.5	1.5	
灰類	灰類	1.0	1.5	1.5	2.5割

加里肥料……各種肥料

四、〇

五、〇

六、〇

5.0

5.割

要するに總平均上より大体を推論すれば窒素六割磷酸二割五分加里五割位の利用率なり。勿論之等の數字は肥料の種類によりて大差ある故、速効肥三分、緩効肥四分、遲効肥三分を施用するものとして修正を加へれば窒素六割五分、磷酸二割加里五割となるべし。以上は壤質土又は壤土の場合なり過度の砂土及粘土に於て此率は更に變化すべし、其等の數字を試験成績より憶測し整理して試に掲記するに、配合歩合を速効肥三分緩効肥四分遲効肥三分とすれば、砂土に於ては速効肥は流亡すべきも速効肥の効果は増大すべく、又磷酸肥料にありては流亡量は多かるべきも土壤の吸収し無効となる分少き故相殺して割合に肥料利用率の低下は少しと見るべし、又粘土に於ては流亡量は少くとも土壤自身の吸収量多く從て有効量の減少を來たし利用率は割合に増さるべし。依て

砂土の肥料利用率は、壤土利用率に比し四割を減じ、粘土は一割を増し、其中間の土性に於ては砂質壤土二割減、壤質土五割を増す。

位の程度に利用率を加減すれば實際と大なる差異なかるべしと信す。却説不足成分量を補ふ爲めに加ふべき肥料の施用成分量を知るには、不足成分量を利用率にて除せば得らる即ち之に依て得られたる數だけ肥料成分を施せば一部分は流去又は土壤吸収等に依て無効になり利用さる分は丁度不足成分量に該當することとなる筈なり。

今前述のものを合併記述すれば

(豫定収量必要窒素—天給窒素)÷窒素利用率=窒素施用成分量

() 同 磷酸—天給磷酸)÷磷酸利用率=磷酸 () 同 加里—天給加里)÷加里利用率=加里 () 同

以上の方法によりて其地方にて必要な三要素の施用量を計算するを得べし。

(ホ)三要素要求割合の簡易なる求め方

三要素區は各要素を十分に補給せる爲めに多收を得られ、又無要素區は其要素缺乏せる爲め減收するものなるが故に三要素區収量より無要素區収量を減じたる殘數は其要素を與へざるが爲めの減收なり、若し其要素の要求過大なれば差即ち減收も大なるべき筈なり依て各無要素區収量を三要素區収量より減じたる差の比を求むれば其比は即ち三要素要求比に近似するものと大体認定するを得べし、從て配合の場合に三要素の割合を之等の比にあらしめば誤り尠からん但し三要素區収量を豫定収量としたる場合の比にして豫定収量の増減により其比に多少の加減をなすを要すべし。

栽培試験地の位置及擔當者

栽培試験地の位置は其成績を引用し應用する上に重大なる關係あり、其村落に於ける試験地の成績は必ずしも村内全般に應用すべきものと限らず、全然地質系統の異なる割合は寧ろ他町村にて同一地質の試験地成績を引用するが妥當の場合多し、依て其便に供せんため試験地の位置と地質系統を列記して一目瞭然たらしめたり。尙本調査を未だ施行し居らざる町村に於ては本調査の開始迄の期間近似の試験地成績を應用し改良を加へ肥料の經濟的施用を圖るべきなり。

次に特筆すべきは栽培試験擔當者に就てなり、元來本調査は試験項目極めて多く調査も繁煩にして然も農繁期に一致する爲め之が正確調査の實行は莫大なる努力と經費を要し、然も亦農事に鍛鍊に非ずむばよく之を遂行する能はず。加ふるに無肥料區無窒素區等に於ては減收甚だしく、時に收穫者無となる等、努力上よりも又收穫上よりも莫大の犠牲を拂はざるべからざる爲め、擔當者の人選に關しては非常なる困難を感じたり而て其地方に於て特に農事に熱心なる左記精農家に依託したるに甘んじて其犠牲に任せられ長年月間終始一貫以て今日に到れり、而て今成績の發表を見たるは實に之等擔當者諸氏熱誠の賜にして縣民と共に感謝措く能はざる處、茲に氏名を録して其意を表せん。

栽培試験地位置及擔當者

郡根利	郡妻吾	郡水確	樂甘北	郡野多	郡名
同 薄根	同 白澤	同 長野原町	同 原町	同 八幡	同 長野
善桂寺、前原	硯田、薄根	高平、一本木	上古語父、西原	長野野	南新波、大道上
畑	畑	畑	畑	畑	畑
火 山 岩 砂 壤	火 山 岩 腐 植 砂 壤	火 山 岩 腐 植 砂 壤	火 山 岩 腐 植 砂 壤	火 山 岩 腐 植 砂 壤	火 山 岩 腐 植 砂 壤
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
松 井 金 之 助	片 野 新 助	白 澤 小 學 校	增 田 惣 二	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
同	同	同	同	同	同

郡馬群	郡多勢	郡名
同 倉ヶ野	同 元惣社	同 古卷
同 倉ヶ野、上樋越	同 元惣社、寺田	同 八木原、字芝付
畑	畑	畑
同 砂 壤	同 砂 壤	同 砂 壤
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
同 井上長三郎	同 齋藤庄藏	同 農蠶講習所
同	同	同

八、植生状態は其土地に於ける作物の生育工合を觀察記帳せるものにて調査の時期に作物の在らざる場合も多ければ嚴密の標準に非ず。

九、同、と記せるは右側に記載せるものと同じの意味にして同字を用うるを避くる爲めなり。

一〇、記載のなき空欄は調査し能はざるものにして例へば植生状態の成熟の處空欄なるは作物の生育期間に調査せる爲觀察なし得ざるによる

勢多郡 木瀬村 現地調査表

號區	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層	断面	植生狀況	所屬範圍
3	下増田、百々耕地	田	新層 砂壤	灰褐	少	表土	五寸一尺一五二尺三、五三三寸	不良 中位	下増田、萩林、須永、西、後
2	下増田、北阿久津	同	新層 壤土	同	同	表土	砂褐壤	佳良 良	上増田、天神内、野、越戸、八反田
11	小屋原、前	同	新層 砂壤	淡灰ナシ	同	表土	灰褐赤褐	良	小屋原、虹井戸
13	小屋原、藥	同	新層 壤砂	灰褐	同	表土	褐壤	同	笠井、阿彌陀堂
21	笠井、六反田	同	新層 砂壤	灰褐	中	表土	黄褐壤	同	笠井、前田
40	女屋、藥	同	同	青灰	同	表土	砂黑壤	稍良	小島田、大額、東上野、川久保
30	天川、大	同	同	淡褐	少シ	表土	砂黑壤	同	大島、中川原、下松、愛宕前
23	下長磯、姫	同	同	青灰	少	表土	褐壤	中位	下長磯、大久保

號區	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層	断面	植生狀況	所屬範圍
34	上長磯、稻荷前	田	新層 砂壤	青灰	中	表土	褐壤	不良	上大島、長磯前
44	野中、八幡前	同	新層 壤土	淡褐	ナシ	表土	砂黄壤	稍不良	野中、試驗地、天川、大嶋、笹沼
8	駒形、駒形	同	新層 砂土	同	同	表土	砂黄壤	不良	駒形、打越、上増田、諏訪
12	小屋原、道祖神	同	同	同	同	表土	砂赤味	不良	小屋原、松島、笠井、遠ノ越
38	天川、大島野中前	同	同	同	同	表土	砂褐	甚不良	下大島、越戸
39	野中、稻荷下	同	同	赤灰	同	表土	砂赤味	不良	
19	上増田、三本松	同	同	淡褐	少	表土	砂黄壤	同	上増田、大塚田
41	小嶋	同	古層	同	ナシ	表土	黑褐壤	同	

勢多郡 芳賀村 現地調査表

號區	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層	断面	植生狀況	所屬範圍
2	嶺、天沼	田	火山岩 埴壤	黑褐	中	表土	五寸一尺一五二尺三、五三三寸	良 稍不	嶺、高月
7	小坂子、釜ノ口	同	火山岩 壤土	褐	少	表土	砂赤	不良	小坂子、下田
8	小坂子、岩	同	同	青灰	中	表土	暗壤	良	

11	25	1	5	3	2	28	27	9	10	19	16	14	號區
新堀、諏訪木	龜里、天神	三公田、尼ヶ橋	龜里、辻	三公田、天丸	上公田、山王前	龜里、水吐	龜里、熊野	鶴光路、春小町	新堀、曲尺	德丸、奧田	力丸、前沖	力丸、法立	場所名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地
新層砂土	古層砂壤	古層砂土	古層砂壤	同	古層壤土	古層壤砂	古層砂壤	古層壤土	同	同	古層砂壤	古層壤土	地質土性
褐淡赤	灰褐	灰褐	青褐	灰褐	灰褐	同	青褐	淡褐	褐	淡褐	青褐	青褐	土色
無	少	無	少	中	同	同	同	同	同	同	同	少	腐植質
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土性
石黒褐砂礫含	赤砂質粘土	褐色砂土	黄砂土	帶赤黑壤	黄褐密層土	灰褐粘土	砂壤利粘土	砂壤利粘土	赤褐壤	砂壤	砂壤	砂壤	断面
不良	同	稍良	良	同	同	稍良	不良	稍良	同	良	同	不良	植生狀況
不良	同	同	同	稍良	同	良	不良	稍良	同	同	同	同	生育成熟
		尼ヶ橋、柳原	辻、早生田、由傳	天水、熊野		熊野、大道	里小路、後、龜里、大町	春小路、後、龜里、大町		奧田、房丸堂山	前沖、本郷	法立、岡本	所屬範圍

勢多郡 下川淵村 現地調査表

23	22	18	16	9	5	4	44	20	15	12	號區		
端氣、横手下田	五代、杵皆戸	鳥取、宮前	鳥取、倉本下	小坂子、諏訪前	同、東公田	嶺、下天沼畑	端氣、東谷	五代、天神	鳥取、黒川	勝澤、中田圃田	場所名		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地		
古層壤土	古層砂土	火山岩砂土	火山岩砂壤	同	同	火山岩砂土	古層壤土	古層壤土	火山岩砂壤	火山岩砂壤	地質土性		
黒褐	灰青	黒褐	青褐	灰青	灰褐	灰褐	黄褐	青灰	同	灰褐	青灰	土色	
中	同	同	少	同	同	同	ナシ	中	同	同	少	腐植質	
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土性
壤黄	砂黒	砂黒	砂黒	砂黒	砂黒	砂黒	砂黄	砂黄	砂黄	砂黄	砂黄	砂黄	断面
同	同	不良	同	稍良	同	同	不良	好	稍良	良	良	植生狀況	
同	同	不良	同	同	同	同	不良	同	同	同	同	生育成熟	
	五代、伊勢宮	神明、谷向	端氣、東谷、小	取、上ノ臺	勝澤、大前、鳥	小坂子、高井堂	小坂子、新林、	峰、向原		五代、深町	小神明(古層)	所屬範圍	

群馬郡 古卷村 現地調査表

號區	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
3	有馬前田	古田	壤土	赤褐	中	壤	五寸一尺一五二尺二五三三寸	中	有馬、西田
6	有馬中井田	同	同	黑褐	同	同	同	同	有馬、根岸、八木原、沖田
7	八木原孫田	古田	砂壤	褐	少	同	同	同	半田、榎田
15	八木原町東田	古田	壤土	褐	少	同	同	同	半田、前田、赤椀、八木原、芝付
27	半田東田	新田	壤土	灰褐	多	同	同	同	同
5	有馬塚内田	同	壤砂	黑褐	中	同	同	同	同
9	八木原久保畑	同	壤土	褐	少	同	同	同	有馬、寺畑
10	八木原西原	同	砂壤	黑褐	同	同	同	同	有馬、神戶、元宿、德樂、半田、劍城、西原、東原
20	半田中原	新田	砂壤	同	同	同	同	同	半田、常法院
21	半田前河原	同	同	褐	同	同	同	同	半田、上中島
24	半田大島	同	礫砂	同	同	同	同	同	同

群馬郡 元惣社村 現地調査表

號區	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
4	元惣社草作畑	古畑	砂土	褐	少	壤	五寸一尺一五二尺二五三三寸	良	村ノ西北地
7	元惣社彌勒畑	同	砂壤	同	同	同	同	同	村ノ西南地
11	元惣社落合	同	同	黑褐	中	同	同	同	元惣社屋敷
21	元惣社雲雀海道	同	壤砂	壤	少	同	同	同	大友、石倉一帯ノ地
12	元惣社内藤田	同	壤土	灰褐	同	同	同	同	元惣社、稻葉
15	元惣社内藤田	古田	壤土	褐	ナシ	同	同	同	同
10	元惣社寺前田	同	同	同	少	同	同	同	元惣社、稻葉
18	大友村前田	同	砂壤	同	同	同	同	同	大友、太田

群馬郡 倉賀野町 現地調査表

16	14	1	3	28	7	6	21	22	23	24	25	11	14
池、堀ノ内	吉町井、鍛治町	片山、久保	小柵、堰場	長根、東場脇	本郷、庚申塚	本郷、親王町	下長根、町付	長根、東通	長根、西通	長根、吉田	長根、宿西	吉井、五反田	矢田、沖田
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	古層	新層	古層	三紀	同	同	同	同	同	同	同	同	古層
同	砂壤	壤砂	埴壤	砂壤	埴壤	壤土	砂壤	壤土	赤褐	同	同	同	灰褐
同	同	同	同	褐	灰褐	同	赤褐	灰褐	同	赤褐	同	同	灰褐
同	同	同	同	少	同	同	同	同	同	同	同	同	僅少
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土
粗赤粘土	粗淡粘土	粗淡粘土	粗褐粘土	粗黃粘土	腐植土	赤壤	赤壤	土	土	灰壤	土	土	灰壤
同	不良	良	稍不	中	良	同	同	稍良	不良	稍良	中	良	同
同	不良	中	同	同	同	同	同	不良	同	同	同	同	同
	池、榮久保		片山、諏訪平	上野場、安坪	西組、瀧川								池、五反田、矢田、沖田

16	號區	6	3	11	18	12	1	8	9	19	號區
矢田、柏田	場所名	下栗須、五町田	岡之郷、中道	下戸塚、東田	上戸塚、正上寺	下戸塚、上方	岡之郷、原川	岡之郷、本屋敷	岡之郷、内川原	上戸塚、熊野	場所名
同	目地	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地
古層	地質土性	新層	同	同	同	古層	同	同	新層	古層	地質土性
砂壤	土色	赤褐	灰黑	灰褐	同	同	赤褐	淡褐	赤褐	黑褐	土色
灰褐	腐植	同	同	同	同	同	同	少	多	中	腐植
僅少	土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土
表土	土	粘赤壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	土
砂	土	粘赤壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	土
灰黑褐色	断面	粘赤壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	土
調查不能	面	粘赤壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	粘灰壤	土
稍良	植生狀況	同	稍良	良	不良	同	良	稍良	中	良	植生狀況
中	生育成熟	同	稍良	良	中	稍良	良	稍良	中	良	生育成熟
赤岩山麓	所屬範圍	岡之郷、馬場	岡之郷、中道		下戸塚、大門		岡之郷、木船		上戸塚、七反畑、志多分		所屬範圍

多野郡 吉井町 現地調査表

10	11	12	13	15	14	6	4	8	7	3	1	號區
六反田、下鍛冶屋	中丹生、中村	上丹生、鷺貝戸	上丹生、千足	城、中山	山口	下丹生、細工谷	下丹生、赤子	原、大日影	原、塚越	上丹生、勢ノ神	上丹生、兩方	場所名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	地質土性
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	土色
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	腐植質
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	土層
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	土層断面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	植生狀況
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	生育成熟
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所屬範圍

北甘樂郡 丹生村 現地調査表

15	11	10	8	3	5	1	號區
高瀨、天狗澤	學枝裏	高瀨、横瀨	高瀨、三ツ屋	高瀨、榎田	高瀨、鶴卷	高瀨、水口	場所名
同	同	同	同	同	同	同	目地
同	同	同	同	同	同	同	地質土性
同	同	同	同	同	同	同	土色
同	同	同	同	同	同	同	腐植質
同	同	同	同	同	同	同	土層
同	同	同	同	同	同	同	土層断面
同	同	同	同	同	同	同	植生狀況
同	同	同	同	同	同	同	生育成熟
同	同	同	同	同	同	同	所屬範圍

北甘樂郡 高瀨村 現地調査表

22	號區
矢田、南矢田	場所名
同	目地
同	地質土性
同	土色
同	腐植質
同	土層
同	土層断面
同	植生狀況
同	生育成熟
同	所屬範圍

碓氷郡 原市町 現地調査表

區號	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層断面	植生狀況	所屬範圍
22	嶺、峰	同	同	褐赤	無	表土 砂赤	同	嶺山南下、嶺西
21	嶺、大持場	同	砂土	淡黑	同	表土 赤	同	杉名藥師、 內南、彈右衛門
16	原市、彈右衛門塚	同	火山岩	黑	多	表土 赤	同	馬場西、茂木西、宮
7	原市、惡途窪西	同	新層	淡黑	少	表土 赤	中	築瀨、上久保、 原市、惡途、窪西
9	原市、下町南	同	同	黑褐	同	表土 土	良	惡途、馬場東、黑小
33	鄉原、小平	同	同	同	稍多	表土 土	中	路銀治村
34	鄉原、山下	同	火山岩	褐	中	表土 赤	不良	東下山、惡途、中原、 番匠屋敷、銀治村、八
1	原市、北沖	同	同	灰青	少	表土 赤	中	本木北、名霜
4	嶺、樋口	同	同	赤褐	中	表土 赤	稍良	安中町連帶地九
3	鄉原、下樋越	同	同	同	同	表土 赤	不良	嶺、樋口
2	嶺、川島	同	三紀	灰褐	少	表土 赤	中	鄉原、伊勢山、 地ニシテ高位置

區號	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層断面	植生狀況	所屬範圍
24	鄉原、長久保	同	三紀	淡黃	少	表土 壤黃	不良	九號ニ連續ス
14	原市、宮内宮	同	同	同	同	表土 土	同	碓氷川ノ沿岸
13	杉名、藥師	同	火山岩	黑	多	表土 土	良	九十九川沿岸狭
17	築瀨、上久保	同	新層	淡黑	中	表土 土	中	九十九川沿岸狭
6	惡途、東	同	同	黑	多	表土 土	良	碓氷川ノ沿岸
10	馬場、西	同	火山岩	淡黑	同	表土 土	不良	國道北面ノ傾斜
30	鄉原、長久保	同	三紀	淡黃	少	表土 壤黃	不良	碓氷川ノ北岸臺

碓氷郡 八幡村 現地調査表

區號	場所名	地目	地質土性	土色	腐植質	土層断面	植生狀況	所屬範圍
4	藤塚、尼街道	同	同	褐	同	表土 稍堅層	稍良	八幡、多京神
3	藤塚、上藤塚	同	古層	灰褐	同	表土 赤	同	
2	鼻高、天神前	同	同	同	少	表土 赤	良	
1	鼻高、中川原	同	第三紀	淡赤	少	表土 赤	不良	水害地跡

號區	場所名	目地	地質土性	土色	腐植質	土層	土層断面	植生狀況	所屬範圍
20	八幡、築	山同	壤砂	暗褐	中	表土	壤暗砂	良	
22	藤塚、尼貝	同	砂土	同	同	表土	褐黑砂	稍良	
19	鼻高、吹	付同	砂土	同	ナシ	表土	砂黑	不良	
18	鼻高、十	二同	壤砂	淡褐	同	表土	壤褐	同	
16	八幡、二子	塚同	砂土	褐	同	表土	砂褐	稍良	
12	若田、峰	林同	砂土	同	同	表土	砂黃	不良	
14	町屋、大	笠同	砂土	同	少	表土	褐暗	同	
13	金井淵、上	神同	砂土	淡褐	ナシ	表土	砂褐	稍良	
13	劍崎、稻荷	塚畑同	砂土	淡褐	同	表土	砂褐	中	
11	町屋、前	田同	砂土	同	少	表土	砂赤	同	下大島、猿前
9	金井淵、前	田同	壤土	同	中	表土	壤赤	同	
7	劍崎、仲	沖同	壤土	同	少	表土	砂黑	良	劍崎、藥師前
5	八幡、西前	田同	壤土	黑褐	中	表土	壤赤	稍良	

吾妻郡 原町 現地調査表

號區	場所名	目地	地質土性	土色	腐植質	土層	土層断面	植生狀況	所屬範圍
21	劍崎、鳴	熊畑	第三紀 砂土	黑褐	中	表土	砂土	稍良	
2	原町、長	町田	古層 壤土	淡褐	中	表土	砂赤	稍良	
4	同御	殿同	同	同	同	表土	砂赤	中	
19	川戸、宮	下同	砂壤	褐	同	表土	砂赤	不良	川戸、内出
23	川戸、田	邊同	同	赤褐	少	表土	砂褐	良	川戸、南谷戸
25	川戸、多	田同	壤土	黑褐	多	表土	砂褐	同	金井、水頭
1	原町、館	畑同	壤砂	淡褐	少	表土	壤黑	同	
3	原町、澤	尻同	砂壤	黑褐	中	表土	砂褐	不良	
9	紺屋	町同	壤砂	赤褐	同	表土	砂赤	良	新井
11	原町、平	澤同	壤土	灰黑	多	表土	砂黑	不良	
13	原町、上	野同	壤土	帶黑	同	表土	砂黑	同	一本松、大宮

利根郡 白澤村 現地調査表

20	35	33	24	32	27	26	23	16	17	18
善桂寺、前	白岩、中泥田	下沼田、二日市	戸神、吉田	下沼田、前	町田、並木	町田、土塔原	石黒、和田	井土上、原	井土上、狐原	大釜、小坂原
畑	同	同	同	同	同	同	同	同	同	畑
火山岩	同	新層	古層	新層	同	同	同	同	同	火山岩
砂壤	同	壤土	壤土	砂壤	同	壤砂	砂壤	同	同	壤土
黒褐	褐	赤褐	黒	褐	同	黒	褐	黒褐	褐	黒褐
多	同	少	多	同	中	多	少	同	中	多
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土
植黒	粗赤	粘黒	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒
壤色	石	粘褐	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒	粘赤	粘黒
同	不良	良	中	良	稍良	不良	中	良	稍不良	中
同	不良	良	中	良	稍良	同	同	同	不良	中
石墨、新田	白岩、谷地田		戸神、木落	町田、前田、下沼田、西澤、下沼田、丸山	町田、東平		大釜、下ノ田、石墨、八幡			井土上、諏訪原

利根郡 薄根野 現地調査表

14	12	9	6	2	1	號區
井土上、高梨子	井土上、石神	恩田、互反畑	恩田、上川原	硯田、薄根	硯田、清水	場所名
畑	同	同	同	同	同	目地
同	同	同	同	同	新層	地質土性
砂壤	壤土	砂壤	壤土	壤砂	砂壤	土色
同	褐	黒褐	灰褐	褐	灰褐	腐植質
同	少	中	少	同	中	土
表土	表土	表土	表土	表土	表土	土
砂黒	腐植質	粘赤	粘赤	粘赤	粘赤	土
壤褐	石	粘	粘	粘	粘	土
粘質砂	礫	壤褐	礫	礫	礫	土
良	同	同	中	同	良	植生狀況
良	同	同	中	良	中	生育成熟
井土上、熊野	井土上、平間	恩田、堂前才神	恩田、花岩、井土上、内河原	硯田、四釜		所屬範圍

27	24	20	14	號區
金井、市敷	川戸、並木	川戸、園部	川戸、八幡原	場所名
同	同	同	畑	目地
第三紀	同	同	火山岩	地質土性
砂土	同	壤砂	道壤	土色
赤褐	同	帶褐	黒褐	腐植質
少	同	多	中	土
表土	表土	表土	表土	土
砂帶	砂黒	砂帶	砂黒	土
土褐	壤褐	土黒	壤色	土
石	粘赤	粘帶	粘黄	土
礫	砂褐	壤黒	土赤	土
稍良	良	同	不良	植生狀況
中	良	同	不良	生育成熟
		川戸、宮前	下須郷	所屬範圍

佐波郡 東村 現地調査表

16	28	17	32	29	14	10	9	2	4	5	號區
國定、西前地	東小保方、二本松	國定、諏訪原	東小保方、平井南	東小保方、新井	東小保方、纏	東小保方、五反田	東小保方、小林	田部井、下田	國定、大久保	國定、北谷替戸	場所名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	地質土性
灰褐	黑褐	褐	同	淡黃	青	淡灰	黑	褐	青	黑	土色
少	稍少	同	同	少	同	同	同	同	中	少	腐植質
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土
壤砂	砂壤	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	粗粘	斷面
砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	五寸一尺、一五二尺、三、五、三尺
稍良	中	同	不良	稍良	良	稍不	同	中	稍不	良	植生狀況
稍良	中	同	不良	稍良	良	稍不	同	中	稍不	良	生育成熟
保方、八寸	上田、前西、東小	田部井、北野目、山	東小保方、三宅、田部井、元、向原	東小保方、森下	東小保方、下、鬼ヶ島	東小保方、陣屋前、矢中、東田	東小保方、赤坂	東小保方、西城、竹鼻	東小保方、赤坂	東小保方、赤坂	所屬範圍

21	18	20	17	15	12	13	8	10	5	2	1	號區
平出、前原	尾合、前原	尾合、清水	岩室、平間	生技、屋地川	高平、一本木	高平、根岸	上古語父、諏訪	高平、原川	上古語父、原田	下古語父、蓮田	下古語父、水性田	場所名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	目地
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	地質土性
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	土色
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	腐植質
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土
浮石層	砂壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	礫質壤	斷面
壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	五寸一尺、一五二尺、三、五、三尺
不良	中	同	不良	同	同	同	同	不良	中	良	不良	植生狀況
不良	中	同	同	同	同	同	同	不良	中	良	不良	生育成熟
平出、情出	尾合、霜原		岩室、西尾引平		上古語父、月夜野、道祖神	生枝、西平	高平、鏡免		高平、鏡免	下古語父、新田	上古語父、西原	所屬範圍

號區	場所名	目的地	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
26	西小保方、下屋敷	畑	古層砂壤	黑味	少	表土	砂壤	中	

佐波郡 名和村 現地調査表

號區	場所名	目的地	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
26	芝、芝	根同	壤土	赤褐	同	表土	粗粘	中	柴町
31	八斗嶋、西	山同	同	灰褐	同	表土	粗粘	中	下福島、柴町
29	戸谷	塚畑同	壤砂	褐	少	表土	粘	良	桑島、柴町
15	阿彌大	寺同	同	黑褐	中	表土	粘	中	西田、前田、箱田
18	柴、柴	崎同	同	赤褐	少	表土	粘	稍良	柴崎附近
23	堀口、八反	田同	同	褐	同	表土	粘	同	柴、今井
20甲	堀口、城	西同	同	褐	中	表土	粘	良	
10	山王道、前	田同	同	灰褐	少	表土	粘	稍良	北今井、樋口
2	葦塚、北今井	田同	同	黑褐	中	表土	粘	稍良	葦塚、久保田

號區	場所名	目的地	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
25	芝、芝	根畑	新層礫壤	黑褐	僅少	表土	礫	中	北今井
14	阿彌大	寺同	同	同	少	表土	砂	同	山王道、上原
4	山王道、上	原同	同	褐	同	表土	砂	同	下原附近
乙	堀口附	近同	同	褐	中	表土	粘	同	堀口及山王道附近

新田郡 生品村 現地調査表

號區	場所名	目的地	地質土性	土色	腐植質	土性	断面	植生狀況	所屬範圍
2	反町、相	田	古層壤土	灰黑	稍多	表土	粘	麥不	相田、雁子
5	市ノ井、堤	中	同	同	同	表土	粘	良	反町、振矢
12	小金井、檜	花	同	黑	多	表土	粘	中	市ノ井、堤中
15	村田、呑嶺	東	同	黑	稍多	表土	粘	佳	樋田、檜花
3	反町、相	西	同	淡赤	中	表土	粘	中	呑嶺東、竹ノ内
6	市ノ井、梅	木	同	灰黑	同	表土	粘	良	相田西、矢止
8	市ノ井、辨	天	同	黑褐	同	表土	粘	不良	梅木、松ノ木

山田郡 毛里田村 現地調査表

19	21	17	13	10	26	28	31	22	3	4	1
尾島、裏組	岩松、千歳	堀口、	前小屋、	阿久津、	岩松、本郷	備前島、蛇羅目木	押切、東河原	堀口、駒形	大館、新田	安養寺、北原	龜岡、輕濱
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
砂土		壤砂		砂土				砂壤		壤砂	砂土
褐	同	赤褐	褐	赤褐	同	同	褐	同	赤褐	淡褐	赤褐
無	同	少	同	無	同	中	同	同	同	無	少
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土
砂	土	二尺以下砂壤	土	土	土	灰	土	赤	赤	土	砂
黑白黃色混含	赤			砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂
他	不良	良	中	同	稍良	不良	同	稍良	中	同	不良
同	不良	同	中	良	中	稍良	中	稍良	同	良	不良
		前小屋、	押切、南河原、	大館、反高場、	武藏島上川、	原、押切、南河原、	蛇羅目木、	稻荷南	東河原、北久保	北原、居立	

新田郡 尾島町 現地調査表

16	22	27	25	24	23	20	16	13	9
龜岡、本村	市ノ井、赤城	村田、入谷	小金井、中里	市村、宿通	市ノ井、原宿	反町、櫻木	村田、中村里東	小金井、田中	市ノ井、通木
畑	同	同	同	同	同	同	同	同	同
新層	同	同	同	同	同	同	同	同	同
壤砂	壤砂	砂土	砂壤		砂土	砂壤			壤土
淡褐	黑褐	黃褐	黑褐	黃褐	褐	同	褐	黑褐	淡褐
少	稍多	少	中	少	同	同	中	少	中
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土
壤	砂	淡	壤	砂	壤	粘	粘	粘	粘
黃	赤	黃	赤	淡	黑	黃	青	青	黑
壤	土	土	土	土	土	土	土	土	土
砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂
黃	赤	淡	赤	淡	淡	粘	粘	粘	粘
壤	土	土	土	土	土	土	土	土	土
麥	中	不良	中	同	不良	佳	不良	佳	良
不	中	不良	中	同	不良	良	中	同	良
中			中里、五箇			櫻木、要害	本郷、大島東、	田中、待田、	通木、稻荷、

號區	25	21	8	10	28
場所名	龍舞、小町田	龍舞、谷	茂木、五反田	龍舞、中谷	龍舞、瓜生
目地	田	田	田	田	田
地質土性	古層砂壤	壤土	壤土	同	砂壤
土色	褐	黑	褐	同	同
腐植質	少	多	中	同	少
土性	赤粘	土	赤粘	表土	表土
断面	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺
植生狀況	中	不良	良	同	他桑、不、良
所屬範圍	龍舞、中堀	龍舞、豆田、茂木、慈眼寺、龍舞、榎戸	龍舞、豆田、茂木、慈眼寺、龍舞、榎戸	龍舞、豆田、茂木、慈眼寺、龍舞、榎戸	八重笠、相ノ谷

邑樂郡 大島村 現地調査表

號區	7	4	8	16
場所名	觀音	復	小草	大上八ツ
目地	田	田	田	田
地質土性	新層壤埴	壤埴	壤土	砂壤
土色	灰黑僅少	赤褐	黑褐僅少	灰黑僅少
腐植質	少	同	僅少	同
土性	表土	表	表	表土
断面	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺
植生狀況	稍良	中	同	同
所屬範圍	觀音東、觀音三軒家	澁井、復倍	澁井、復倍	三町免、大胡

號區	7	18	17	19	20	25	14
場所名	觀音	寄居山	太ノ	寄	根	七	下八ツ
目地	田	田	田	田	田	田	田
地質土性	新層壤埴	壤土	壤土	壤埴	壤埴	壤土	砂壤
土色	淡褐	褐	灰黑僅少	同	同	同	同
腐植質	中	少	僅少	同	同	同	同
土性	表土	表	表	表	表	表	表土
断面	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺
植生狀況	中	良	中	不良	中	不良	中
所屬範圍	大曲、下八ツ島、上新田前、觀音東、岡里前、正儀内、磯河原、土井西街道、山王	本郷、下八ツ島	太ノ田	渡瀬川ノ南ニシテ西ハ郷谷村ノ田谷ノ東			

邑樂郡 小泉町 現地調査表

號區	1	10	1	3
場所名	上小泉、柳町	上小泉、五反田	上小泉、後	上小泉、五反田
目地	田	田	田	田
地質土性	古層壤土	砂壤	同	埴壤
土色	黑	黑褐	同	褐
腐植質	中	多	少	中
土性	表土	表土	表土	表土
断面	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺	五尺一、五二尺三、五三、五三尺
植生狀況	良	同	不良	良
所屬範圍	上小泉、間ノ原	上小泉、万願寺		

區號	場所名	地質土性	土色	腐植質	土層斷面	植生狀況	所屬範圍
9	上小泉、五反田	古層壤土	黑褐	多	表土 腐植質 強青 粘白	中	上小泉、北谷、細谷
16	下小泉、明ヶ嶋	砂壤	褐	中	表土 腐植質 粘白	中	下小泉、御所作
18	下小泉、長沼	壤土	黑褐	多	表土 腐植質 粘白	良	下小泉、天神下、大根馬打
4	上小泉、者部	同	褐	少	表土 粘赤 粗褐	不良	
5	上小泉、松原	輕壤土	黑褐	多	表土 粘白 土色	同	
6	上小泉、高原	同	褐	同	表土 粘赤 土色	同	上小泉、壽崎、岡ノ原、下小泉、ニツ山

第六 肥培慣行調査表

- 一、耕種慣行調査は詳細に施行したるも、一々之を記載するは煩雜にして徒らに紙面を費すが故に省略したり。
- 二、肥培慣行調査は町村内に於て同一地勢、土質の箇所を集めて一團としたる其地方別に付施行したり、而して山間部等にて著しく状態の異なる地方多數存在する場合には調査を密に行ひ、平坦部等にて村内大体一様なる場合には調査数を少なからしめたり。
- 三、肥培法は其地方に於ける慣用肥料の數量、施用法及各作物に對する之等の詳細を調査したれども全部列挙するには多數紙面を要するが故に各肥料の主要作物に對する奏効成分量を求め算出合計したる、三要素奏効成分量として算出表示することとせり。
- 四、施肥の數量は少肥、中肥、多肥の三段とし、各施肥量に對する收量を求め、其地方の肥料に對する要求の多少及肥料効果の如何を判断する材料たらしめたり。
- 五、調査は其地方に於ける精農家三人以上の立會を求め調査せるものなり。
- 六、地方名は地勢土質を同し、其他肥培慣習等相似たる地方を抱括し代表地を記せるもの。
- 七、作物は詳細に各種のものを擧ぐるは繁煩に堪へざる故主要作物に止めたり。
- 八、收量は稻は玄米の石數を、麥は子實の石數、桑は春は刈桑(棒桑)の貫數、秋は摘桑の貫數を記載し其他の作物は適宜單位を記載せり。
- 九、備考欄には其作物の品種名を記載したり。
- 一〇、本調査は精農家の意見を徴して求めたる數字なれ共、特定せる場所にて嚴密に調査せるものに非ずして、地方の概略を平均し大体の勢字を記せるものなる故肥料の増量と收穫割合の傾向が一致せざる等の場合も尠ならず。只大要の傾向を記せる迄なり。

表に依て其地方の適量を察知するには、多、中、少、各の窒素用量にて各收量を除し、成分に對する收量の最大のもの若しくはその附近の施肥量を求めれば最適量に近き數字なりとす。

勢多郡 木瀬村 肥培慣行調査表

東	方道磯上				方	方地島大川天					方				
	水	小	大	水		同	桑	小	大	陸		水			
一、〇	〇、七	〇、八	〇、八	〇、四	〇、七	〇、八	〇、八	〇、四	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九			
〇、八	〇、二	〇、五	〇、八	〇、七	〇、二	〇、二	〇、三	〇、三	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二			
一、二	〇、四	〇、三	〇、三	〇、一	〇、四	〇、三	〇、三	〇、三	〇、一	〇、一	〇、一	〇、三			
二、〇〇	新 梢 葉 六	一、一〇	二、一〇	二、一〇	六〇〇	一、一〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	秋 春	一、九〇	秋 摘 一、八〇			
一、九	一、〇	一、三	一、三	一、二	一、〇	一、三	一、三	一、二	一、二	一、九	一、九	一、五			
一、二	〇、三	一、二	一、二	一、三	〇、三	一、二	一、二	一、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、三			
一、九	〇、八	〇、六	〇、六	〇、八	〇、八	〇、八	〇、九	〇、八	〇、七	〇、八	〇、八	〇、七			
二、三〇	同 上	二、〇〇	二、四〇	二、六〇	〇〇	二、〇〇	二、五〇	二、七〇	二、七〇	秋 春	二、二〇	秋 二、八〇			
二、二	一、五	一、七	一、七	一、八	一、五	一、七	一、七	一、八	二、二	二、四	二、〇	一、六			
一、四	〇、四	一、七	一、七	一、九	〇、五	一、六	一、九	一、八	〇、七	〇、五	一、二	〇、七			
二、〇	一、〇	一、二	一、二	一、二	一、〇	一、二	一、二	一、二	一、五	一、二	〇、八	〇、七			
二、六〇	同 上	二、二〇	三、四〇	三、二〇	二、二〇	三、五〇	三、一〇	三、一〇	三、五〇	秋 春	二、二〇	秋 三、五〇			
愛 國	十 文 字	早 ウ ツ カ カ 生	白 麥	愛 國	十 文 字	ウ ツ カ リ	白 麥	愛 國	野 桑	群 馬 赤 木	ウ ツ カ リ	白 麥	凱 旋 國	愛 國	野 桑

地	原屋小				方	地田島小				方	地地形駒				地方 名 作物		
	桑	小	大	陸		水	桑	陸	小		大	水	桑	同		小	大
〇、八	〇、六	〇、八	〇、六	〇、六	一、六	一、六	一、三	一、六	〇、八	一、五	一、五	一、五	一、七	一、八	一、八	少 肥 ノ 場 合	
〇、一	〇、六	〇、七	〇、七	〇、七	〇、三	〇、九	〇、八	〇、九	〇、六	二、四	〇、五	〇、五	〇、五	一、四	一、四	窒 素 加 里	
〇、三	〇、六	〇、七	〇、二	〇、二	〇、六	〇、六	〇、六	〇、七	〇、五	一、九	一、二	一、二	一、三	一、四	一、四	窒 素 加 里	
秋 新 摘 三、五	〇、八	一、六	一、六	一、六	秋 春	一、〇〇	一、六〇	二、〇〇	二、〇〇	棒 桑	五、四〇	一、五〇	一、六〇	二、五〇	一、九〇	二、〇〇	收 量
一、三	二、〇	一、七	一、五	一、〇	一、〇	二、一	一、六	二、二	一、一	三、二	一、九	一、九	一、九	三、一	二、五	中 肥 ノ 場 合	
〇、二	一、一	一、二	一、二	〇、一	〇、三	一、三	〇、九	一、三	〇、九	一、七	二、四	二、四	二、四	二、一	一、一	窒 素 加 里	
〇、三	〇、九	〇、九	一、一	〇、三	〇、九	〇、七	〇、七	〇、九	〇、八	二、七	一、五	一、五	一、五	二、五	一、八	窒 素 加 里	
秋 新 摘 六、〇	一、四	二、三	一、六	二、一	夏 春 棒	一、三〇	一、九〇	二、五〇	二、四〇	棒 桑	三、六〇	一、九〇	二、〇〇	三、〇〇	二、三〇	二、四〇	收 量
一、九	一、四	二、四	一、八	一、八	三、一	三、五	二、四	三、一	二、〇	四、四	二、三	二、三	二、四	三、一	三、一	多 肥 ノ 場 合	
〇、五	一、九	〇、六	一、八	一、八	〇、八	一、八	一、四	一、七	一、七	三、一	三、二	三、二	三、二	三、一	三、一	窒 素 加 里	
一、二	一、四	一、四	一、三	一、三	一、四	一、二	一、三	一、四	一、九	二、三	一、九	二、〇	二、〇	二、三	一、九	窒 素 加 里	
秋 新 摘 一、五	二、一〇	二、七〇	二、六〇	二、六〇	秋 春 棒	一、〇〇	一、六〇	二、二〇	三、〇〇	棒 桑	二、五〇	二、三〇	二、四〇	三、五〇	二、六〇	二、八〇	收 量
十 文 字	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	凱 旋 國	備 考

方地島大上					方地中野					帶一方地田増			
同	桑	小麥	大麥	陸稻	同	桑	小麥	大麥	陸稻	同	桑	小麥	大麥
0,9	0,9	0,7	0,8	0,9	1,3	1,1	1,0	1,0	1,3	1,4	1,4	1,2	0,9
0,2	0,2	0,9	0,4	0,9	1,1	0,3	1,3	1,3	0,5	0,3	1,3	1,2	0,7
0,3	0,3	0,6	0,8	0,8	0,8	0,8	1,1	1,1	1,1	0,5	1,2	1,1	0,2
新梢	新梢				秋春	秋春				新梢			
1,9	2,0	0,8	0,8	1,1	1,5	1,0	1,4	2,0	2,0	1,0	1,5	1,5	1,0
1,0	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	0,9	1,8	1,8	0,8	0,6	1,8	2,1	1,4
0,8	0,8	0,7	0,8	1,0	1,4	1,4	2,6	2,5	3,1	1,1	1,5	1,4	0,3
同上	同上				同上	同上				同上			
2,4	2,6	1,0	2,0	1,4	2,4	2,5	2,0	3,0	2,8	2,0	1,9	3,0	1,6
3,0	2,0	1,0	1,0	1,4	3,7	3,8	2,5	2,3	2,7	3,7	2,4	2,1	2,0
1,3	1,3	1,4	1,4	2,0	1,4	1,5	2,2	2,5	1,3	2,9	2,3	2,3	2,1
1,4	1,6	1,0	1,0	2,4	4,0	4,0	3,0	3,9	4,9	1,8	0,8	1,7	0,4
同上	同上				同上	同上				同上			
2,9	3,0	1,2	2,6	2,4	3,0	3,5	2,6	4,0	3,4	3,4	2,3	3,5	2,0
甘	多	新	白	凱	魯	十	ウ	白	凱	十	新	白	凱
樂	胡	田	麥	富	國	文	ツ	麥	愛	文	田	麥	國
	早	早	旋	國	野	字	カ	旋	國	字	早	麥	國
	生	生			桑		リ				生		

上	方地磯長下					方地井 笕					方地野上			地方名作物			
水	桑	小	大	同	水	同	桑	小	大	陸	同	水	桑	小	大		
1,3	1,2	1,1	0,8	1,6	1,3	1,3	1,3	1,0	1,4	1,7	1,3	1,7	0,4	1,0	1,0	少肥ノ場合	窒素 燐酸 加里
0,3	0,3	0,4	0,9	0,2	0,4	0,4	0,5	0,5	0,3	0,4	0,3	0,1	1,0	1,0			
0,8	0,9	1,8	0,9	1,7	0,8	1,0	1,2	1,1	1,2	0,8	1,8	1,8	0,1	1,1	1,1	收量	窒素 燐酸 加里
新梢	新梢				新梢	新梢				新梢	新梢						
1,7	2,1	1,2	1,3	2,4	2,3	2,5	2,5	1,7	1,5	1,7	2,6	2,6	1,3	1,5	1,2		
1,7	1,5	1,5	1,4	1,7	1,6	0,6	0,6	1,5	1,5	0,5	0,6	0,6	0,8	1,3	1,3		
1,4	1,3	1,2	1,2	2,6	1,9	1,4	1,4	1,3	1,2	1,3	2,5	2,5	0,7	1,4	1,4	收量	窒素 燐酸 加里
2,4	2,0	2,0	2,7	2,4	2,4	1,5	1,4	1,8	2,5	2,4	2,4	2,4	2,6	1,6	2,3		
2,7	3,4	1,7	1,5	3,7	3,5	4,9	4,9	2,2	2,0	1,9	2,9	2,9	2,4	2,5	1,5		
2,7	2,1	1,5	1,5	1,7	1,2	1,7	1,6	1,6	1,4	0,6	1,7	1,7	3,2	0,7	1,7		
2,0	1,7	1,3	1,3	1,9	2,1	1,9	1,9	1,4	1,2	1,4	2,4	2,4	1,1	1,7	1,7	多肥ノ場合	窒素 燐酸 加里
3,1	3,8	2,5	2,3	3,4	3,4	2,8	2,8	2,5	3,0	2,6	2,9	2,9	2,8	1,7	2,3		
愛	早	ウ	白	國	愛	野	十	早	ウ	白	凱	國	愛	收量	備考	窒素 燐酸 加里	
國	文	ツ	麥	富	國	桑	文	生	カ	麥	富	國	國				

嶺	勝澤地方					小神明地方					子地地方						
	陸稻	水稻	桑	小豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小豆	陸稻
0,7	1,2	0,2	0,2	0,6	0,6	0,5	0,6	1,6	0,1	0,7	1,0	1,0	1,1	0,9	0,2	1,0	0,6
1,0	1,8	0,8	1,0	1,2	1,2	1,2	1,0	0,8	0,3	1,4	1,2	1,0	1,2	0,7	0,2	0,8	1,3
2,0	1,2	0,3	0,7	0,6	0,6	0,5	0,5	1,0	0,7	1,0	0,9	0,7	1,0	0,7	0,9	0,5	1,0
0,5	2,0	1,0	0,5	1,0	1,5	1,0	1,0	2,0	0,5	1,0	1,6	0,8	2,4	1,0	0,5	1,0	1,0
0,9	2,1	0,7	0,3	1,1	1,0	0,9	0,1	2,4	0,3	1,3	1,5	1,5	1,9	1,3	0,3	1,1	1,0
1,3	2,0	1,0	1,5	1,6	1,8	1,7	1,3	1,3	1,1	1,6	1,8	1,3	0,8	1,0	1,3	0,9	2,5
0,3	1,7	0,6	0,1	1,0	0,7	0,7	1,0	1,6	1,3	1,8	1,5	1,2	1,6	1,1	1,3	0,8	1,6
0,8	2,4	2,8	0,7	1,5	2,0	1,1	1,1	2,8	0,8	1,6	2,8	1,1	3,0	2,5	0,3	1,4	1,4
1,4	3,0	1,0	0,3	1,5	1,7	1,4	1,9	3,7	0,3	2,1	2,5	2,1	3,0	2,3	0,5	1,3	2,0
2,0	2,8	1,5	1,8	1,9	2,6	1,8	2,6	1,9	1,5	2,4	2,4	1,7	2,4	1,5	1,8	1,9	3,2
0,3	2,3	0,8	1,4	1,3	1,6	1,1	1,6	3,4	1,8	2,7	2,4	1,7	2,5	1,6	1,4	1,1	0,7
1,2	2,8	3,3	0,9	2,0	2,8	1,4	2,5	3,6	0,9	2,0	3,6	1,6	3,4	3,0	0,4	1,1	1,8
金光坊	愛國	群馬赤木	大納言	新田早生	白麥	金光坊	愛國	大伊達	大納言	新田早生	白麥	金光坊	改良愛國	群馬赤木	大納言	金光坊	新田早生

坂小	下大島地方					下増田地方					地方名作物			
	大麥	水稻	同	桑	小麥	大麥	水稻	同	桑	小麥				
0,6	0,7	1,4	1,8	1,4	0,8	0,9	0,4	0,9	0,7	0,7	0,9	0,9	少肥ノ場合	
2,1	1,8	0,4	0,2	0,5	1,1	0,4	0,1	0,1	0,2	0,2	0,1	0,1	窒素 磷酸 加里	
1,0	1,1	0,9	0,7	1,3	1,3	0,2	0,2	0,6	0,6	0,6	0,3	0,3	加里	
1,2	2,4	秋葉	春葉	秋葉	春葉	新梢共	新梢共	1,0	1,7	1,8	1,8	1,5	收量	
1,3	1,9	2,7	2,2	1,6	1,6	1,7	2,6	1,5	1,5	1,6	1,4	1,4	中肥ノ場合	
2,6	2,6	0,7	0,7	1,6	1,6	1,1	1,1	1,5	1,5	1,4	1,4	1,4	窒素 磷酸 加里	
1,5	2,0	1,4	1,4	1,5	1,5	0,9	0,8	1,3	1,3	1,0	1,0	1,0	加里	
2,0	2,8	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1,8	2,8	2,6	2,6	2,6	收量	
2,4	2,3	3,7	3,7	2,2	2,2	4,0	4,0	2,1	2,1	2,2	2,2	2,2	多肥ノ場合	
4,0	2,9	0,9	0,9	2,0	2,1	1,6	1,6	1,9	1,9	1,7	1,7	1,7	窒素 磷酸 加里	
2,2	2,6	1,8	1,8	1,7	1,7	1,7	1,7	1,9	1,9	1,7	1,7	1,7	加里	
3,0	3,2	同上	同上	同上	同上	同上	同上	2,6	4,0	3,0	3,0	3,0	收量	
白麥	愛國	同上	同上	同上	同上	同上	同上	魯國野桑	群馬赤木	新田早生	白麥	國富	愛國	備考

勢多郡 芳賀村 肥培慣行調査表

地里龜			方地手横			方地田公三			方地				
小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	桑	小豆	小麥
一、一	一、一	一、九	二、三	一、〇	一、〇	一、二	三、二	一、三	一、四	一、三	三、二	一、〇	一、二
〇、七	〇、七	〇、四	六、五	一、〇	一、〇	〇、三	〇、九	〇、八	〇、四	〇、八	〇、九	〇、三	〇、九
一、三	一、三	一、一	一、四	一、一	一、一	〇、八	二、二	一、五	〇、八	一、五	〇、三	〇、八	〇、八
一、四	二、〇	二、〇	摘棒桑 一六〇	一、五	二、〇	二、〇	摘棒桑 一八〇	一、四	二、〇	一、八	〇、四	〇、四	〇、八
一、五	一、一	二、二	二、八	二、一	一、六	一、七	三、五	二、三	二、二	一、七	一、九	〇、三	一、九
二、一	一、八	〇、六	〇、八	一、八	一、六	〇、四	一、〇	二、三	〇、六	二、一	一、五	〇、三	一、八
一、三	一、二	一、六	一、八	一、七	一、五	一、二	二、五	一、九	〇、六	一、八	〇、六	〇、九	一、一
一、六	二、五	二、四	摘棒桑 二〇〇	二、〇	二、五	二、四	同上	一、八	二、六	二、三	一、五	〇、六	一、二
二、二	一、八	二、六	三、八	二、六	二、四	四、〇	四、七	二、八	二、七	二、二	二、九	〇、五	二、六
一、一	二、七	二、一	一、一	二、五	二、二	三、七	一、三	一、一	二、七	二、八	二、二	〇、五	二、二
一、八	一、六	一、八	二、六	二、一	〇、六	二、四	三、二	二、一	一、九	一、九	〇、九	一、四	一、四
二、〇	二、八	三、〇	摘棒桑 二八〇	二、四	三、〇	三、〇	同上	二、〇	三、〇	二、七	二、五	〇、八	二、〇
赤坊主	白麥	國富	群馬赤木	赤坊主	白麥	國富	群馬赤木	赤坊主	國富	白麥	群馬赤木	大納言	赤坊主

勢多郡 下川淵村 肥培慣行調査表

氣端		方地代五					方地取鳥					方地			地方名作物			
大麥	水稻	桑	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小麥	大麥	窒素	磷酸	加里
一、二	一、〇	〇、七	〇、七	〇、七	〇、八	〇、七	〇、七	〇、二	〇、七	〇、八	〇、七	一、〇	〇、四	〇、七	〇、九	〇、四	〇、七	〇、九
一、三	〇、八	〇、三	〇、三	〇、九	〇、三	〇、八	〇、二	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、九	〇、八	一、三	一、三	〇、八	一、三	〇、九
〇、八	〇、五	〇、五	〇、七	〇、七	〇、六	〇、五	〇、六	〇、七	〇、六	〇、七	〇、六	〇、七	〇、二	〇、七	〇、九	〇、二	〇、七	〇、九
一、五	二、〇	八、五	〇、九	一、五	〇、八	二、三	九、〇	〇、五	一、〇	一、五	〇、八	二、四	一、〇	〇、八	二、〇	一、〇	〇、八	二、〇
一、九	二、二	一、一	一、〇	一、一	一、一	一、二	一、二	〇、三	一、二	一、二	一、一	一、八	一、三	一、一	一、五	一、三	一、一	一、五
一、八	二、九	〇、六	一、六	一、九	一、八	一、四	〇、四	一、一	一、二	一、二	一、二	一、五	一、〇	一、八	一、六	一、〇	一、八	一、六
一、一	〇、八	〇、七	〇、六	〇、六	〇、八	〇、八	一、〇	一、三	一、〇	一、〇	一、〇	一、二	〇、四	一、二	一、一	〇、四	一、二	一、一
二、五	二、六	一、〇	一、〇	二、三	一、五	二、六	二、〇	〇、七	一、六	二、八	一、二	三、〇	一、五	一、〇	二、五	一、五	一、〇	二、五
三、五	二、九	一、七	一、一	一、七	一、六	二、一	三、五	〇、四	一、六	一、六	一、五	三、九	二、二	二、一	二、二	二、二	二、一	二、二
二、二	三、九	〇、九	一、四	一、一	一、五	〇、八	二、二	一、五	一、六	一、五	二、〇	二、〇	一、五	二、一	二、一	一、五	二、一	二、一
一、四	一、三	〇、九	一、〇	一、二	〇、八	一、七	一、四	一、三	一、三	一、三	一、七	一、七	〇、七	一、七	一、七	〇、七	一、七	一、七
三、五	三、〇	一、四	一、七	三、五	一、六	三、〇	三、〇	一、〇	二、〇	三、五	一、五	三、二	三、〇	一、二	三、〇	三、〇	一、二	三、〇
白麥	愛國	群馬赤木	關取	白麥	久造	愛國	大伊達	大納言	だるま	白麥	金光坊	愛國	大伊達	だるま	白麥	窒素	磷酸	加里

原三	勢多郡 横野村 肥培慣行調査表														
	方地丸房				方地丸徳				方地丸力						
陸	水	陸	水	桑	小	大	水	桑	小	大	水	桑	小	大	水
0,6	0,8	1,2	1,6	1,9	1,3	1,0	1,3	1,9	1,3	1,0	1,4	2,1	1,3	1,1	1,2
0,5	0,7	0,5	0,3	0,5	1,1	1,0	0,3	0,5	1,0	1,0	0,3	0,5	0,8	0,7	0,3
0,5	0,7	0,8	0,6	0,8	1,1	1,0	0,7	0,8	1,1	1,1	0,7	1,4	1,4	1,3	0,8
1,00	2,00	1,30	1,80	1,30	1,40	1,80	2,20	1,30	1,40	1,80	2,20	1,50	1,20	1,50	2,20
0,8	1,3	1,7	2,0	2,3	1,5	1,4	1,9	2,3	1,7	1,4	1,9	2,3	1,2	1,4	1,8
0,8	1,2	0,6	1,3	0,6	1,3	1,1	1,3	0,6	1,5	1,5	1,4	0,7	1,3	0,9	0,5
0,8	1,2	1,2	0,8	1,2	1,3	1,3	1,0	1,2	1,4	1,3	1,0	1,9	1,2	1,5	1,4
1,60	2,80	1,50	2,50	1,50	1,60	2,10	2,50	1,50	1,60	2,10	2,50	1,80	1,40	2,00	2,60
1,1	1,7	2,9	2,1	2,9	2,7	2,1	2,1	2,9	2,7	2,1	2,1	4,5	2,2	2,7	2,6
2,3	2,6	0,7	1,8	0,7	1,9	1,7	1,9	0,7	2,2	2,1	1,9	4,3	1,7	1,4	2,0
1,1	1,8	1,5	1,0	1,5	1,9	1,7	1,1	1,5	1,9	1,7	1,1	2,9	1,7	2,1	1,6
2,00	3,20	2,80	2,70	2,80	2,00	2,50	2,80	2,80	2,00	2,50	2,80	2,50	1,60	2,50	3,00
夜	愛	群	赤	群	赤	白	國	群	赤	白	國	群	赤	白	國
ノ	國	馬	坊	馬	坊	麥	富	馬	坊	麥	富	馬	坊	麥	富
雪		赤	主	赤	主	麥	富	赤	主	麥	富	赤	主	麥	富

方地内阿下	勢多郡 横野村 肥培慣行調査表														
	方地堀新				方地路光鶴				方						
桑	小	大	水	桑	小	大	水	桑	小	大	水	桑	小	大	水
1,2	1,2	1,2	1,0	2,1	1,4	1,4	1,6	1,4	0,9	1,2	1,4	2,4	2,4	2,4	2,4
0,4	0,7	0,7	0,2	0,4	0,5	1,2	1,1	0,4	0,3	0,4	0,4	0,4	0,3	0,4	0,4
1,0	1,5	1,5	0,9	1,1	1,1	1,3	1,3	1,7	0,9	0,4	1,0	1,7	0,9	0,4	1,0
1,30	1,00	1,50	1,60	1,30	1,20	2,00	1,60	1,30	1,50	2,00	1,60	1,30	1,50	2,00	1,60
2,3	1,4	1,4	1,8	2,3	1,3	1,4	2,2	2,3	1,6	1,4	1,8	2,8	1,6	1,4	2,2
0,8	2,0	2,0	0,4	0,8	1,3	2,2	2,1	0,4	0,6	0,5	0,5	0,4	0,6	0,5	0,5
2,1	1,6	1,6	1,2	2,1	2,1	1,9	1,7	0,8	1,4	1,3	1,4	1,8	1,4	1,3	1,4
1,80	1,20	2,00	2,20	1,80	1,60	2,50	2,30	1,80	1,80	2,00	2,40	1,80	1,80	2,00	2,40
3,1	2,3	2,0	2,9	3,1	2,3	2,0	2,8	2,1	2,2	1,7	2,4	3,4	2,3	2,9	2,8
0,9	2,8	2,8	2,8	0,9	2,8	2,8	2,8	0,9	2,1	2,1	0,6	0,5	2,1	0,5	0,6
2,3	1,9	1,9	3,4	2,3	1,9	2,7	2,2	2,3	1,6	1,5	1,6	1,2	1,6	1,5	1,6
2,50	1,60	2,50	2,80	2,50	2,40	3,00	2,50	2,50	2,00	2,40	2,60	2,50	2,00	2,40	2,60
群	赤	白	國	群	赤	白	國	群	赤	白	國	群	赤	白	國
馬	坊	麥	富	馬	坊	麥	富	馬	坊	麥	富	馬	坊	麥	富
赤	主	麥	富	赤	主	麥	富	赤	主	麥	富	赤	主	麥	富

方地澤保勝					方地窪野中					方地原三上								
大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小豆	大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑
0,1	0,5	0,5	0,5	0,8	0,5	0,1	0,1	0,4	0,4	0,3		0,1	0,2	0,4	0,5	0,6	0,5	1,0
0,7	1,3	1,2	1,0	1,0	0,2	0,7	1,4	0,1	0,9	0,7		0,2	0,3	0,7	0,9	1,0	0,9	1,1
0,2	0,5	0,5	0,4	0,6	0,4	0,2	0,2	0,3	0,3	0,3		0,2	1,1	0,2	0,3	0,5	0,4	0,8
					春							春						
0,5	0,6	1,5	0,6	1,7	1,2	0,5	0,7	0,7	1,5	0,6		1,0	0,6	0,8	1,8	0,8	2,0	2,0
0,2	1,2	1,2	0,8	1,7	0,6	0,2	0,2	0,6	0,6	0,5		0,2	0,6	0,6	0,7	0,9	0,8	1,8
1,2	1,9	1,9	1,5	1,7	0,2	1,1	1,1	1,2	1,2	1,2		0,1	0,3	1,0	1,1	1,2	1,1	2,9
0,7	1,2	1,7	0,7	1,3	0,5	0,9	0,9	0,5	0,5	0,3		0,2	0,9	0,5	0,7	0,7	0,7	1,2
					春							春						
0,7	0,8	2,0	0,8	2,4	1,8	0,7	0,9	0,8	1,8	0,8		1,6	0,8	1,2	2,2	1,2	2,6	2,5
0,7	1,9	1,9	1,5	3,0	1,4	0,4	0,4	0,8	0,8	1,4		1,5	0,3	1,1	1,1	2,0	1,3	2,4
0,4	2,6	2,6	2,1	2,4	0,3	1,4	1,5	1,7	1,6	0,8		1,2	1,0	1,4	1,5	1,4	1,4	2,7
1,2	2,6	1,8	0,8	2,1	0,7	0,7	0,7	0,6	0,6	0,5		1,2	1,4	1,0	1,1	1,3	1,3	2,6
					春							春						
1,0	1,5	3,0	1,5	0,6	2,7	0,8	1,2	1,0	2,5	1,3		2,0	1,0	3,5	2,0	3,2	3,0	3,0
沼田	關取	芳穀	野州	愛國	群馬	沼田	關取	芳穀	野州	愛國	大縮	借金	新田	白	夜ノ	愛國	露國	
					赤木						細	ナシ	早生	麥	雪		野桑	

方地樽					方地野上北					方地田			地方名作物		
大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	大豆	小麥	大麥	
0,3	0,6	1,0	0,3	0,9	0,6	0,3	0,7	0,8		0,6	0,7	0,2	0,9	0,8	少肥ノ場合
0,4	1,1	1,1	1,4	1,2	0,2	0,8	0,9	1,1		1,0	0,9	0,2	1,5	1,3	窒素
1,3	0,2	0,7	0,1	0,3	0,5	0,4	0,5	1,1		0,6	0,2	0,3	0,9	0,9	磷酸
					秋春						秋春				加里
0,8	1,0	2,0	1,2	2,0	0,8	0,7	0,8	1,5		1,6	1,0	0,8	1,0	1,5	收量
0,3	1,1	1,6	1,1	1,9	0,8	0,3	1,1	1,3		1,2	1,0	0,3	1,1	1,1	中肥ノ場合
1,6	1,7	2,0	1,7	1,9	0,8	1,4	1,4	1,5		1,5	1,2	1,0	1,7	1,9	窒素
0,5	0,8	1,1	0,8	1,4	0,7	1,4	1,4	0,9		1,2	0,3	0,5	0,3	1,2	磷酸
					秋春						秋春				加里
1,2	1,5	3,0	2,3	3,0	0,7	0,9	1,0	2,0		2,0	1,6	1,0	1,5	2,0	收量
0,5	1,9	2,2	1,6	2,9	1,2	0,5	1,4	1,8		2,0	1,4	0,3	1,3	1,7	多肥ノ場合
2,7	2,6	3,1	2,5	3,7	0,9	2,0	2,3	2,4		1,8	1,6	1,4	2,0	2,3	窒素
0,8	1,4	1,6	1,4	2,0	0,9	2,0	2,1	2,4		1,4	0,4	0,5	1,4	1,7	磷酸
					秋春						秋春				加里
1,5	2,3	4,5	2,8	4,0	0,9	1,2	1,5	2,5		2,4	2,0	1,2	2,0	3,5	收量
借金	赤坊	白	馬鹿	愛國	深	を	關	よ			群	借	赤	白	備考
ナシ	子	麥	坊子	國	山	いら	取	しが			馬	金	坊	麥	
						ん		ら			赤	ナシ	子		
								國			木				

八木原地方			宮田中島地方				呂木前地方				木地方		
桑	大麥	水稻	小麥	大麥	陸稻	水稻	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	大豆	小麥
一、四	一、三	一、一	一、八	一、六	一、一	一、一	〇、八	一、一	一、一	一、一	〇、六	〇、一	〇、五
〇、三	〇、四	〇、四	一、三	一、一	一、一	一、一	一、二	一、一	一、一	一、一	〇、二	〇、一	〇、八
〇、五	〇、一	一、〇	一、五	一、二	一、二	〇、九	〇、九	〇、八	〇、八	〇、八	〇、六	〇、五	〇、五
秋春			二、七	二、〇			二、〇				秋春		
一、〇〇	一、五〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇			一、〇〇				一、〇〇	〇、八〇	一、〇〇
一、二	一、八	一、八					〇、六				一、〇	〇、二	〇、九
〇、五	一、五	一、五					三、〇				〇、三	〇、八	一、一
一、一	一、三	一、三					〇、七				〇、九	〇、九	〇、八
秋春							三、六				秋春		
一、五〇	二、五〇	二、五〇					一、四〇				一、〇〇	一、〇〇	一、五〇
〇、四	二、七	二、七	一、八	一、三			一、二				一、六	〇、二	一、一
〇、二	二、二	二、一	一、九	〇、八			一、四				〇、五	一、三	一、四
二、三	一、九	二、〇	一、六	〇、一			一、〇				一、三	一、二	一、〇
秋春			二、五	二、〇			三、〇				秋春		
二、五〇	三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇			一、八〇				一、五〇	二、〇〇	二、〇〇
	白	穀					群				借	關	取
	馬	良					馬				金	取	
	赤	都					赤				ナ		
	木						木				シ		

群馬郡 古卷村 肥培慣行調査表

呂溝			宮田地方					見立地方					地方名			
大麥	陸稻	水稻	大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	大豆	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	作物	
〇、六	〇、七	〇、九	一、〇	〇、八	〇、八	一、一	一、一	一、〇	〇、二	〇、七	〇、九	〇、九	〇、四	〇、五	少肥ノ場合	
一、一	〇、八	一、一	一、〇	〇、五	〇、五	〇、二	〇、二	一、二	〇、七	一、一	一、一	一、一	〇、一	〇、一	窒素	
〇、六	〇、五	〇、九	一、〇	一、五	一、五	〇、四	〇、四	〇、三	〇、三	〇、六	〇、七	〇、一	〇、一	〇、四	磷酸	
															加里	
一、五	〇、八	二、〇	〇、七	一、〇	一、八	二、〇	二、〇	一、五	〇、七	一、〇	一、八	一、八	一、八	一、四	收量	
一、〇	一、一	一、五	一、〇	一、四	〇、九	二、〇	二、〇	一、九	〇、二	一、〇	一、五	一、二	一、九	一、二	中肥ノ場合	
一、四	一、三	一、五	一、〇	一、四	一、四	一、三	一、三	一、〇	〇、九	一、四	一、八	二、二	一、七	〇、三	窒素	
〇、九	〇、九	一、五	〇、三	二、一	二、一	一、四	一、四	〇、九	〇、四	〇、九	一、三	〇、一	一、八	〇、九	磷酸	
															加里	
二、五	一、〇	二、八	一、〇	一、五	二、五	一、六	二、六	二、五	一、〇	一、五	二、五	一、二	二、四	三、六	收量	
一、三	一、六	二、四	一、三	一、六	二、四	二、九	二、九	三、一	〇、三	一、一	一、九	一、九	三、六	一、七	多肥ノ場合	
一、七	一、八	二、二	一、七	二、四	二、四	二、一	二、一	一、六	一、二	二、〇	二、三	二、八	二、〇	〇、九	窒素	
一、二	一、三	二、四	一、二	一、九	二、七	二、三	二、三	一、八	〇、五	一、三	一、九	〇、一	三、三	一、三	磷酸	
															加里	
四、〇	二、〇	四、〇	四、〇	二、〇	三、〇	三、〇	三、〇	一、四	一、二	二、〇	三、〇	一、八	三、〇	二、八	收量	
白	夜	愛	白	夜	愛	赤	結	凱	群	を	赤	芳	愛	愛	深	備考
麥	ノ	國	馬	雪	國	二	城	旋	馬	いら	三	穀	國	國	山	
			赤			尺			赤	ん	尺	穀	國	國		

帶一部東	川濱地			沖及菊池地			我峰地			方		
	場方	道	地	方	地	池	方	地	峰			
小麥	大麥	水稻	桑	桑	小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	桑
0,9	0,9	1,2	1,0	0,6	0,6	1,0	0,7	0,7	0,7	0,7	0,7	1,1
1,3	1,3	1,2	0,5	1,0	0,8	0,5	1,0	0,2	0,2	0,2	0,2	0,3
0,7	0,7	0,9	0,9	0,4	0,6	0,9	0,5	0,5	0,6	0,6	0,6	1,6
1,3	1,0	2,0	100	100	1,5	2,0	2,0	110	1,0	1,7	2,0	1,8
1,2	1,2	2,0	2,2	1,7	2,1	1,7	2,0	0,9	1,4	1,4	2,0	1,8
0,7	0,7	2,5	0,5	0,6	0,5	0,6	1,7	0,3	1,5	1,5	1,4	0,5
1,0	1,0	1,2	0,7	1,3	0,7	1,3	1,2	0,5	1,1	1,1	1,1	1,0
1,5	2,5	2,4	2,4	2,0	1,8	2,4	2,4	1,7	1,5	2,5	2,4	2,6
1,8	1,8	3,4	3,8	2,4	3,8	2,4	3,0	1,6	1,4	1,4	3,6	2,5
1,3	1,3	3,5	1,1	2,3	1,1	2,3	2,9	0,5	2,0	2,0	3,0	0,7
1,3	1,3	2,3	1,6	1,6	1,6	1,6	1,9	1,2	1,1	1,1	2,3	1,4
2,0	3,0	3,0	3,5	2,8	3,5	2,8	2,6	3,5	2,0	3,0	3,0	3,0
赤坊主	備前早生	關取					關取				關取	

群馬郡 倉賀野町 肥培慣行調査表

地波新	有馬地			五馬有地			半田			地方名
	方	地	馬	方	地	有	方	地	田	
小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	陸稻	桑	大麥	水稻	作物
1,2	1,2	0,7	1,4	1,4	1,7	1,7	1,4	1,3	1,1	少肥ノ場合
1,4	1,4	1,0	0,3	0,4	1,5	1,1	0,3	0,4	0,4	窒素
0,9	0,9	0,5	0,5	1,1	1,4	1,2	0,5	0,1	1,0	磷酸
1,0	1,5	2,0	秋春	0,8	1,0	1,4	秋春	1,5	2,0	加里
1,8	1,8	2,0	1,0	1,5	2,0	2,0	1,5	1,5	2,0	收量
1,8	1,8	2,0	2,2	1,8	2,1	2,1	2,3	1,8	1,8	中肥ノ場合
1,6	1,6	1,7	0,5	1,5	2,0	2,5	0,5	1,5	1,5	窒素
1,6	1,6	1,2	1,1	1,3	1,3	1,3	1,1	1,3	1,3	磷酸
2,0	2,0	2,4	秋春	1,2	2,0	1,7	秋春	2,5	2,5	加里
3,1	3,1	3,0	1,5	2,5	2,5	2,7	4,0	2,7	2,7	收量
3,7	3,7	2,9	4,1	2,7	2,7	2,8	2,0	2,2	2,1	多肥ノ場合
3,0	3,0	1,9	1,9	2,1	2,1	2,3	2,3	1,9	2,0	窒素
2,5	2,5	2,6	秋春	1,8	3,0	2,4	秋春	3,0	3,0	磷酸
			關取	白愛國	新田早生	改良新一	白愛國	白愛國	穀良都	加里
										收量
										備考

群馬郡 長野村 肥培慣行調査表

須方	栗下	下川	宮	須方			栗下			下川			宮		
				桑	小麥	水稻	桑	小麥	水稻	桑	小麥	水稻	桑	小麥	水稻
0.8	0.9	1.2	1.9	1.1	0.8	0.3	0.2	1.1	0.7	0.7	1.4	0.9	無	0.7	0.7
0.3	0.7	1.2	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.4	0.4	0.3	0.6	0.1	肥	0.4	0.4
0.7	0.7	1.0	1.2	0.4	1.9	0.1	0.1	1.0	0.8	0.9	0.1	料	0.8	0.8	0.8
春	春	春	春	春	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春
1.5	1.2	2.0	2.2	1.9	1.6	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	1.5
1.2	1.1	1.2	2.4	2.0	2.4	1.0	1.0	1.1	0.2	0.1	1.5	1.0	0.1	1.5	1.0
0.4	1.0	1.3	0.6	1.3	1.1	1.5	1.5	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	1.0	1.0
0.8	0.8	0.8	1.4	1.1	1.1	0.7	1.8	1.3	0.9	0.9	0.8	0.9	0.4	1.0	1.0
春	春	春	春	春	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春
2.7	1.5	2.4	3.3	2.5	2.4	1.5	2.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	0.6	1.5	2.0
1.8	1.3	1.6	3.6	2.9	2.9	1.4	1.4	2.5	2.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
0.5	1.3	1.8	1.1	2.6	1.8	1.5	1.5	2.0	1.7	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5
1.0	0.8	1.1	2.4	1.7	2.7	1.3	1.3	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
春	春	春	春	春	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春
3.5	2.0	2.8	4.2	3.0	2.9	2.0	3.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.5	0.8	2.5	3.0
						新田	半	愛	群	扇	赤	白			
						早生	芒	國	馬		坊	麥			

栗下	方地	鄉之	之	國	地方			地方			地方				
					桑	大豆	小麥	桑	大豆	小麥	桑	大豆	小麥		
0.4	1.2	0.9	0.4	無	0.7	1.4	0.9	無	0.7	1.4	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9
0.1	0.3	0.2	0.6	肥	0.4	0.3	0.1	料	0.8	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3
1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春
1.0	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
0.5	1.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
0.1	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
1.0	1.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
1.2	2.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
0.9	2.5	2.3	0.9	1.9	1.9	3.4	2.3	0.9	1.9	1.9	3.4	2.3	0.9	1.9	1.9
0.9	2.0	1.7	0.9	1.0	1.0	2.3	1.7	0.9	1.0	1.0	2.3	1.7	0.9	1.0	1.0
0.3	1.7	1.6	0.3	1.3	1.3	2.0	1.6	0.3	1.3	1.3	2.0	1.6	0.3	1.3	1.3
1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5
早	改	多	早	扇	新	白	改	群	扇	赤	白	關	群	扇	赤
シ	良	胡	シ	馬	田	麥	良	馬	馬	坊	麥	取	馬	馬	坊
ラ	愛	早	ラ	赤	早	麥	愛	赤	赤	主	麥	取	赤	赤	主
ズ	國	生	ズ	木	生	國	國	木	木	主	取	取	木	木	主

多野郡 神流村 肥培慣行調査表

中	北甘樂郡																	
	方地根長					方地山片					方地田							
水稻	桑	陸稻	水稻	小麥	大麥	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	桑	陸稻	水稻	小麥	桑	陸稻	水稻	小麥
0,8	1,1	0,9	1,2	0,8	0,8	0,1	0,1	0,7	1,5	1,1	1,2	0,7	1,0	1,1	1,2	0,7	1,0	1,1
0,1	0,3	0,7	0,9	0,9	0,9	0,4	0,4	0,3	0,5	0,1	0,2	0,4	1,3	0,9	0,2	0,4	1,3	0,9
0,3	0,8	0,6	1,0	0,7	0,7	0,3	0,3	0,4	1,6	0,1	0,3	0,1	0,7	1,0	0,3	0,1	0,7	1,0
1,6	春	1,5	1,5	0,8	1,9	0,8	1,0	0,8	1,2	1,8	春	1,0	1,5	1,0	2,5	1,0	1,5	1,0
1,7	1,2	1,1	1,8	1,5	1,5	2,3	2,3	1,3	2,1	2,6	1,6	0,8	1,4	1,4	1,4	0,8	1,4	1,4
1,5	0,7	0,7	2,0	1,6	1,6	0,8	0,8	0,6	0,6	0,7	0,3	0,5	1,7	1,1	0,3	0,5	1,7	1,1
1,2	1,5	0,1	1,7	1,1	1,1	1,3	1,3	0,8	1,9	2,0	0,4	0,1	1,3	1,7	0,4	0,1	1,3	1,7
2,0	春	1,5	2,0	1,9	2,8	1,2	2,0	1,6	2,0	2,8	春	1,2	2,0	1,3	2,8	1,2	2,0	1,3
3,1	4,8	1,9	2,9	2,0	2,0	2,8	2,8	1,1	2,8	4,0	2,2	1,8	2,0	1,7	2,2	1,8	2,0	1,7
2,7	2,7	1,3	2,3	2,1	2,1	1,8	1,8	1,0	1,5	2,5	0,3	1,8	1,9	1,5	0,3	1,8	1,9	1,5
1,9	2,9	0,2	2,5	1,5	1,5	1,4	1,4	0,4	2,3	2,8	0,5	1,8	1,9	2,3	0,5	1,8	1,9	2,3
2,8	春	2,0	2,5	2,0	4,0	1,7	3,0	2,0	2,0	3,6	春	1,5	2,5	1,8	3,6	1,5	2,5	1,8

矢	多野郡														
	方地町井吉					方地池					地方名				
大麥	桑	小麥	大麥	陸稻	水稻	桑	小麥	大麥	陸稻	水稻	塚方	戶地	上赤	地方名	作物
1,2	1,2	1,0	1,3	0,3	0,8	1,2	0,7	1,2	0,6	0,8	0,3	1,0	0,8	少肥ノ場合	室素
0,8	0,3	1,8	0,4	0,1	0,8	0,3	1,8	0,5	0,1	1,0	0,1	0,2	中肥ノ場合	室素	
0,6	0,4	1,2	1,3	0,7	0,4	0,7	1,5	0,1	0,8	0,1	0,1	1,9	多肥ノ場合	室素	
2,0	春	1,8	2,5	1,6	1,5	棒桑	1,8	2,0	1,2	1,6	春	1,8	收量	室素	
1,4	2,3	1,2	1,6	0,5	1,6	2,6	1,3	1,4	1,2	1,6	1,3	1,4	中肥ノ場合	室素	
1,0	0,5	1,9	1,8	1,3	1,5	0,8	2,0	1,3	1,6	1,4	1,7	0,9	多肥ノ場合	室素	
0,8	0,8	1,3	1,8	1,3	1,3	1,9	1,7	0,3	1,3	1,3	0,5	1,0	中肥ノ場合	室素	
3,0	春	1,5	3,5	2,0	2,3	棒桑	2,7	2,8	1,8	2,5	春	2,5	收量	室素	
1,8	3,3	1,6	2,2	0,5	2,2	3,5	1,8	2,3	1,9	2,3	2,6	2,2	多肥ノ場合	室素	
1,4	0,7	2,6	2,9	1,7	2,7	1,1	2,7	2,4	1,9	2,9	2,7	1,7	多肥ノ場合	室素	
1,1	1,2	1,8	2,6	2,0	2,0	1,5	2,3	2,9	0,4	2,0	1,6	1,5	多肥ノ場合	室素	
4,0	棒桑	2,3	5,0	2,4	2,9	棒桑	5,5	4,5	2,2	3,0	春	3,0	收量	室素	

多野郡 吉井町 肥培慣行調査表

嶺、口、山、地方	富士山地方	郷西	原部	嶺地	築方	千石地方	五分一、 千石地方	丹生地方		
								山口、和	田、地、方	水稲
桑	桑	陸稻	大麥	小麥	桑	水稲	水稲	桑	小麥	大麥
一、四	一、三	〇、九	〇、九	〇、七	〇、九	〇、七	〇、七	〇、七	一、四	一、四
〇、七	〇、八	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九	〇、三	〇、三	〇、二	一、一	一、一
〇、九	〇、九					一、一	一、一	〇、三	一、一	一、一
二、一〇	枝條ノ儘 一五〇貫					二、〇〇	二、〇〇	秋春	一、八〇	二、〇〇
二、三	一、九	一、七	一、三	一、一	一、七	一、一	一、一	一、一	二、三	二、三
一、二	〇、三	一、二	一、二	一、二	一、二	〇、五	〇、五	〇、二	一、三	一、三
二、二	〇、一					一、六	一、六	〇、四	一、七	一、七
二、四〇	同上二八〇貫					二、四〇	二、〇〇	秋春	二、〇〇	二、三〇
三、〇	三、九	二、〇	一、九	一、七	二、〇	一、五	一、五	一、五	二、五	二、五
二、一	〇、六	一、八	二、九	二、九	二、九	〇、七	〇、七	〇、三	一、四	一、四
三、三	〇、二					二、一	二、一	〇、六	一、八	一、八
三、〇〇	同上二四〇貫					二、五〇	二、四〇	秋春	二、三〇	二、五〇
愛國	萬年	美濃	穂	新田早生	萬年	水稲以外 上丹生下同	水稲以外 上丹生下同	露桑	萬穂 新田早生	萬穂 新田早生

碓氷郡 原市町 肥培慣行調査表

地方名	高瀬地方				井澤下高瀬地方				作物	
	桑	小麥	同	大麥	水稲	大麥	同	小麥		
少肥ノ場合	〇、七	〇、七	〇、四	〇、四	〇、八	〇、六	〇、四	〇、四	窒素 磷酸 加里	
中肥ノ場合	〇、二	〇、四	〇、三	〇、三	〇、一	〇、四	〇、三	〇、三	窒素 磷酸 加里	
多肥ノ場合	〇、三	〇、二	〇、一	〇、一	〇、三	〇、二	〇、二	〇、二	窒素 磷酸 加里	
收量	刈桑 一六〇	〇、七	〇、七	一、四	一、八	一、四	一、四	一、七	收量	
窒素	一、四	一、四	一、一	一、一	一、三	一、三	一、三	一、三	窒素	
磷酸	〇、三	〇、〇	〇、九	〇、九	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	磷酸	
加里	〇、六	〇、八	〇、七	〇、七	〇、八	〇、八	〇、七	〇、七	加里	
收量	刈桑 二四〇	〇、九	〇、九	一、八	二、三	一、八	二、〇	二、一	收量	
窒素	二、九	二、六	二、一	二、一	二、七	二、七	二、七	二、七	窒素	
磷酸	〇、六	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	磷酸	
加里	一、二	一、一	一、〇	一、〇	一、一	一、一	一、一	一、一	加里	
收量	刈桑 四七三	一、三	一、三	二、七	三、一	二、七	二、五	三、〇	收量	
窒素	二、五	二、八	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	窒素	
磷酸	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	磷酸	
加里	一、八	一、八	一、八	一、八	一、九	一、九	一、九	一、九	加里	
備考	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	表 成國、五百 表 穗、世界一 表 新田早生	備考

北甘樂郡 丹生村 肥培慣行調査表

方地塚藤					方地高鼻					方地田若			
桑	同	小	大	水	桑	同	小	大	陸	水	桑	小	大
一、六	〇、六	〇、七	〇、七	〇、六	一、九	〇、八	〇、八	〇、八	〇、九	一、六	一、七	〇、八	一、〇
〇、三	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、四	〇、五	〇、九	〇、九	〇、八	一、四	〇、四	〇、五	〇、三
〇、五	〇、四	〇、五	〇、五	〇、四	一、〇	〇、八	〇、七	〇、七	〇、五	一、一	〇、七	一、五	〇、七
春夏 桑 二、五	一、五	二、五	二、〇	二、〇	秋 桑 一、七	一、〇	一、五	一、八	一、〇	二、二	春夏 桑 二、〇	一、六	二、〇
三、一	一、四	一、四	一、六	一、六	四、五	一、六	一、八	一、三	二、七	二、六	二、六	一、七	一、九
〇、七	一、三	一、四	一、四	一、四	二、一	一、八	二、〇	一、六	二、一	〇、五	〇、四	一、四	一、四
二、二	〇、七	一、〇	一、〇	一、〇	二、九	一、〇	一、九	一、七	二、四	〇、九	〇、九	一、〇	一、〇
春夏 桑 三、〇	一、五	二、五	二、五	二、四	秋 桑 二、四	一、五	二、〇	二、五	一、六	二、六	春夏 桑 三、〇	二、四	二、八
三、九	一、八	二、五	二、五	二、二	六、五	二、一	二、四	二、二	一、八	三、七	三、三	二、五	二、六
一、七	一、八	一、九	一、七	一、九	三、〇	一、九	二、一	二、一	一、八	二、九	二、〇	一、九	一、九
二、四	一、〇	一、二	一、三	一、二	二、四	一、三	二、六	二、三	一、〇	三、〇	一、四	一、二	一、四
春夏 桑 五、〇	二、八	三、〇	三、一	二、八	秋 桑 二、九	二、〇	二、五	三、二	二、〇	二、八	春夏 桑 三、四	二、五	三、二
群馬赤木	畑新田早生	裏新田早生	半作芒	關取	城下	畑赤坊主	裏作赤坊主	白麥	愛國	城下	旭	白	麥

碓氷郡 八幡村 肥培慣行調査表

原郷市原			瀬築原郷市原			瀬築嶺原郷東			原郷八			地方名		
九	十	嶺	築	原	郷	市	原	瀬	築	嶺	原	郷	八	地方名
岸	沿	川	地	岸	沿	川	水	方	地	部	東	沿	川	地方名
小	大	水	桑	小	大	水	桑	小	大	陸	桑	小	大	作物
〇、七	〇、九	〇、八	〇、九	〇、六	〇、七	〇、九	〇、八	〇、七	〇、八	〇、九	〇、七	〇、九	〇、九	少肥ノ場合
〇、九	〇、九	一、二	〇、二	〇、八	〇、八	一、三	〇、二	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九	一、三	窒素 磷酸 加里
〇、六	〇、七	〇、七	〇、四	〇、六	〇、六	〇、八	〇、四	〇、六	〇、七	—	〇、六	〇、七	〇、八	收量
一、二	二、〇	二、〇	枝	夏	桑	一、三	夏	桑	一、二	一、〇	一、〇	一、〇	二、〇	中肥ノ場合
一、〇	一、二	一、八	三、八	三、三	一、三	二、二	一、七	一、〇	一、二	一、八	一、〇	一、二	二、〇	窒素 磷酸 加里
一、四	一、四	一、九	〇、四	一、三	一、四	二、〇	〇、四	一、四	一、四	一、二	一、四	一、四	二、〇	收量
〇、九	一、〇	一、二	〇、八	〇、九	一、〇	一、五	〇、八	〇、九	一、〇	—	〇、九	一、〇	一、五	多肥ノ場合
一、五	二、五	二、四	春	夏	桑	一、六	春	夏	桑	一、五	一、二	一、五	三、〇	窒素 磷酸 加里
一、六	一、八	四、三	三、六	三、六	一、六	三、二	三、一	一、五	一、八	二、〇	一、六	一、五	四、五	收量
二、五	二、六	二、九	〇、七	二、五	二、五	三、〇	〇、七	二、五	二、六	一、八	二、五	二、五	三、〇	多肥ノ場合
一、三	一、四	二、一	一、六	一、三	一、三	二、三	一、三	一、四	一、四	—	一、三	一、三	二、五	窒素 磷酸 加里
二、〇	三、五	三、二	春	夏	桑	二、〇	春	夏	桑	二、〇	一、六	二、〇	三、八	收量
三、〇	三、五	三、〇	五、九	一、〇	四、〇	三、〇	二、〇	三、五	三、五	一、六	二、〇	三、八	二、八	備考
新田早生	穂取	關取	万	新田早生	穂取	愛國	万	新田早生	穂取	美濃糯	新田早生	白	愛國	考

方地戸川					方地野上					方地町原				
桑	大豆	小麥	大麥	水稻	桑	大豆	小麥	大麥	陸稻	桑	大豆	小麥	大麥	陸稻
		0,9	0,9	0,5	0,7		0,5	0,5	0,5	0,4		1,4	1,4	0,8
		0,4	0,4	0,1	0,3		0,5	0,3	0,3	0,1		1,1	1,1	0,4
		1,1	1,1	0,2	0,8		0,8	0,8	0,2	0,1		1,2	1,2	0,7
摘刈葉	田畑田畑				葉棒									
500	1,200	1,000	1,000	2,000	500	0,500	0,700	1,700	1,000	100	1,100	3,000	1,000	2,000
	0,9	0,9	0,8			0,4	0,8	0,8	0,8	1,2	0,1	1,5	1,5	1,3
	0,6	0,6	0,2			1,0	1,2	1,2	0,4	0,3	0,3	1,6	1,6	1,9
	1,1	1,1	0,6			0,5	1,3	1,3	1,1	0,4	0,1	1,3	1,3	0,7
	田畑田畑													
	1,100	1,100	2,100	2,100		0,800	1,500	2,500	1,300	3,300	1,200	1,500	4,000	1,500
1,9	1,1	1,1	1,0		2,5	1,4	2,0	2,0	1,1	2,4	0,2	2,0	2,0	1,4
0,4	1,2	1,2	0,9		0,5	1,7	1,6	1,6	1,0	0,5	0,9	2,1	2,1	1,1
1,6	1,2	1,2	0,8		1,1		2,0	2,0	1,5	0,7	0,3	1,4	1,4	0,8
摘刈	田畑田畑				摘刈									
1,000	1,000	2,500	2,500	2,500	1,500	1,000	2,500	3,500	1,500	4,800	1,500	2,500	4,500	1,700
	白愛				叶		白	夜ノ雪糯		中		穗	夜ノ雪	愛國
	麥國				屋		麥			山		揃		國

吾妻郡 原町 肥培慣行調査表

方地淵井金島大				方地屋町				方地崎劍				地方名
桑	小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	作物
1,9	0,8	0,8	0,7	1,1	0,7	0,7	0,9	1,7	0,8	0,8	0,8	少肥ノ場合
0,4	0,5	0,5	0,2	0,2	0,8	0,8	0,2	0,3	0,4	0,4	0,3	窒素 磷酸 加里
1,0	1,5	1,5	0,6	0,3	0,5	0,5	0,5	0,5	1,3	1,2	0,7	收量
春夏				春夏				春夏				收量
2,000	1,700	2,000	2,000	1,500	1,600	1,800	1,800	2,000	1,500	2,000	2,000	中肥ノ場合
3,5	1,7	1,7	1,6	2,2	1,4	1,4	1,6	3,7	1,7	1,7	1,5	窒素 磷酸 加里
1,7	1,4	1,4	1,1	0,5	1,3	1,3	1,3	0,5	1,8	1,8	1,3	收量
1,4	0,7	0,9	0,9	0,9	0,8	0,8	0,9	1,1	1,0	1,0	0,8	多肥ノ場合
春夏				春夏				春夏				窒素 磷酸 加里
3,000	2,400	2,500	2,600	2,400	2,000	2,200	2,200	3,700	2,000	3,000	2,600	收量
4,3	2,5	2,5	2,6	3,2	2,2	2,2	2,4	4,7	2,4	2,4	2,4	多肥ノ場合
2,5	1,9	1,9	2,0	0,6	1,8	1,8	1,5	0,8	2,2	2,2	2,2	窒素 磷酸 加里
3,5	1,2	1,2	1,5	1,3	1,1	1,1	1,2	1,7	1,5	1,5	1,5	收量
春夏				春夏				春夏				備考
3,500	2,500	3,000	2,800	3,000	2,400	2,600	2,600	3,000	2,500	4,000	3,000	城下
城下	新田早生	白麥	關取	城下	新田早生	白麥	澤田	多胡早生	赤坊主	五畝四石	須賀一本	

吾妻郡 原町 肥培慣行調査表

地方名作物	少肥ノ場合			中肥ノ場合			多肥ノ場合		
	窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里
水稲	0.1	0.8	1.5	0.4	0.9	1.8	0.6	1.2	2.0
大麥	0.5	0.7	1.5	1.0	1.1	1.8	1.3	1.3	2.0
小麥	0.5	0.7	1.5	1.0	1.1	1.8	1.3	1.3	2.0
收量	1.5			1.5			2.4		
備考	穀良郡								

吾妻郡 長野原 肥培慣行調査表

地方名作物	少肥ノ場合			中肥ノ場合			多肥ノ場合		
	窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里
水稲	0.2	0.8	1.5	0.3	0.8	1.5	0.2	0.9	1.5
陸稻	0.1	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2
大麥	0.4	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2
小麥	0.4	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2	0.4	0.6	1.2
大豆	0.9	0.5	1.5	0.3	0.4	0.8	0.8	0.4	1.3
桑	0.9	0.5	1.5	0.3	0.4	0.8	0.8	0.4	1.3
收量	3.0			3.5			4.5		
備考	夜ノ雪櫃								

東組地方				應桑地方			横壁地方					方		
水稲	大麥	小麥	大豆	水稲	大麥	小麥	桑	水稲	陸稻	大麥	小麥	大豆	蕎麥	麻
0.3	0.4	0.4	1.0	0.7	0.7	0.7	1.1	0.5	0.5	0.7	0.7	1.0	0.3	1.0
0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	0.8
0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	0.6	1.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.5
0.7	0.8	0.8	1.0	0.7	0.7	0.7	刈	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
1.1	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7	0.1	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.7	2.7
1.1	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	0.4	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.3	1.3
1.3	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.1	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.9	2.9
1.0	1.5	1.5	1.5	0.8	0.8	0.8	同上	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	純麻	純麻
0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	同上	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	2.5	2.5
1.8	1.9	1.9	1.9	0.8	0.8	0.8	0.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.7	2.7
3.7	3.8	3.8	3.8	2.6	2.6	2.6	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.4	1.4
2.7	2.2	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	3.0	3.0
2.5	2.5	2.5	2.5	同上	同上	同上	同上	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	純麻	純麻
0.7	1.5	2.0	4.0	1.0	1.0	1.0	3.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	8.5	8.5
愛國	穂揃	だるま	無肥料					東郷	夜ノ雪櫃	備前早生	赤三尺			

利根郡 白澤村 肥培慣行調査表

地室岩				方地枝生				方地合尾				地方名	
大豆	小麦	大麦	水稻	小麦	大麦	蕎麦	夏大豆	水稻	桑	水稻	小麦	大麦	作物
0,4	0,5	0,5	2,4	0,4	0,6	0,4	0,4	0,7	0,4	1,3	0,4	0,2	窒素 少肥ノ場合
0,2	0,2	0,3	0,6	0,4	0,5	0,3	0,2	0,4	0,1	0,5	0,2	0,1	磷酸 加里
0,4	0,5	0,6	2,0	0,5	0,8	0,5	0,5	0,5	0,1	1,6	0,1	0,2	加里
粗				粗				粗				收量	
0,7	0,8	1,5	3,3	0,5	0,9	1,5	0,9	0,3	1,5	3,0	0,3	1,2	窒素 中肥ノ場合
0,4	0,5	0,6	2,0	1,0	1,0	0,5	0,4	0,3	1,7	2,6	0,7	0,7	磷酸 加里
0,5	0,4	0,4	1,9	0,3	0,7	0,6	0,3	0,7	0,2	2,2	0,9	0,9	加里
0,6	0,6	0,6	3,1	0,6	1,1	0,6	0,5	0,5	0,2	2,4	0,5	0,5	收量
同上				同上				同上				窒素 多肥ノ場合	
1,0	1,3	2,0	3,8	0,6	1,5	2,1	1,2	0,4	2,4	4,0	0,9	1,6	磷酸 加里
0,5	1,1	1,3	3,0	1,0	1,4	0,7	0,5	0,3	3,2	4,6	1,5	1,5	加里
0,8	1,4	1,3	2,2	1,0	1,2	0,7	0,3	0,7	1,0	2,8	1,9	1,9	收量
0,5	1,9	1,6	2,3	0,9	1,4	0,8	0,5	0,6	0,6	4,3	1,2	1,2	窒素 多肥ノ場合
同上				同上				同上				磷酸 加里	
1,3	1,9	2,5	4,1	0,9	2,1	3,0	1,4	0,5	3,0	5,0	2,4	2,4	加里
1,5	1,1	2,5	3,0	0,9	2,1	3,0	1,4	0,5	3,0	5,0	2,4	2,4	收量
備考				備考				備考				備考	

地平高				方地父語古上				方地出平				方					
大豆	小麦	大麦	水稻	粟	小麦	大麦	大豆	水稻	桑	稗	粟	大豆	小麦	大麦	水稻	桑	粟
0,3	0,4	0,7	1,2	0,4	0,4	0,4	0,4	0,4	1,0	0,4	0,4	0,6	0,7	0,7	1,2	0,4	0,3
0,6	0,6	0,9	0,8	0,2	0,7	0,7	0,7	0,7	0,3	0,4	0,4	0,7	0,8	0,7	0,3	0,1	0,1
0,4	0,5	0,6	0,8	0,6	0,5	0,5	0,5	0,5	0,7	0,4	0,4	0,8	1,0	0,8	1,0	0,1	0,1
葉量				葉量				葉量				葉量					
0,9	0,6	1,1	1,9	0,8	0,6	1,0	0,8	1,7	2,0	0,7	0,6	0,8	0,5	1,0	3,0	0,8	0,3
0,4	1,2	1,5	1,7	0,4	1,1	1,1	0,3	0,9	1,4	0,4	0,4	0,6	0,9	0,9	2,7	1,8	0,5
0,6	1,0	1,1	1,0	0,5	1,1	1,1	1,0	1,7	0,2	0,6	0,6	0,7	0,8	0,9	0,5	0,1	0,2
0,5	0,8	0,8	1,1	0,6	0,5	0,5	0,5	1,1	0,7	0,5	0,5	1,0	1,1	1,6	0,2	0,3	
葉量				葉量				葉量				葉量					
1,0	0,8	1,7	2,1	1,0	0,9	1,5	1,0	2,1	3,5	1,0	0,7	1,0	0,7	2,0	4,0	1,5	0,3
0,4	1,8	1,7	2,7	1,1	1,1	1,6	0,4	1,9	2,1	0,7	0,7	0,8	1,3	1,2	4,8	2,1	0,7
1,2	1,3	2,4	1,4	0,1	1,6	1,1	1,0	1,9	0,4	1,0	1,2	1,5	1,5	2,9	0,7	0,2	
1,3	1,1	1,9	1,6	0,6	0,9	1,0	0,8	1,7	1,2	0,6	0,6	1,0	1,1	2,9	0,1	0,5	
葉量				葉量				葉量				葉量					
1,5	1,1	2,5	3,0	1,4	1,3	2,0	1,4	2,4	4,5	1,3	1,0	1,4	1,1	2,5	6,0	2,0	0,5
備考				備考				備考				備考					

小西	方地井平字方保小東					方地定國西東				方地定				
	陸稻	水稻	大根	里芋	甘藷	大麥	小麥	陸稻	桑	大豆	小麥	大麥	小麥	大麥
0.7	1.2	0.7	1.0	0.3	1.2	0.9	1.4	0.2	1.1	1.2	1.2	0.9	2.4	1.0
1.2	1.4	0.6	0.1	0.4	1.5	1.3	1.6	0.1	0.3	0.5	1.4	1.0	3.4	1.0
0.9	1.0	1.6	0.8	0.5	1.2	0.7	0.8	0.1	0.3	1.2	1.2	1.1	2.4	1.2
1.00	1.50	下上 千本	子親 芋芋 一五七	二〇〇	二〇〇	〇八〇	一四〇	秋春	三〇〇	一〇〇	一五〇	三〇〇	三〇〇	二五〇
1.9	2.8	1.3	1.4	0.6	2.0	1.4	1.9	2.9	1.1	2.3	2.5	1.8	1.6	2.3
2.3	2.7	0.8	1.0	0.7	2.7	2.5	2.5	0.2	1.2	2.6	2.8	1.5	1.3	1.0
0.9	1.7	0.9	1.9	1.8	1.9	1.3	1.1	0.3	0.3	1.7	2.1	1.4	1.2	1.4
1.90	2.80	下上 千本	子親 芋芋 二〇〇	四〇〇	二七〇	一〇〇	一八〇	秋春	〇四〇	〇六〇	一六〇	三〇〇	二〇〇	二五〇
2.5	3.9	1.5	2.2	0.7	2.5	2.0	2.9	3.3	0.3	1.6	2.8	3.8	1.0	2.9
3.3	3.7	0.7	1.0	0.8	2.8	2.7	3.3	3.6	2.3	4.0	3.8	3.0	1.0	2.0
0.9	2.0	0.9	1.6	1.9	2.4	1.9	1.6	1.5	0.4	2.2	2.1	2.7	2.4	1.7
2.40	3.70	下上 五〇〇本	子親 芋芋 三〇〇	四〇〇	三〇〇	一五〇	二一〇	秋春	〇六〇	一〇〇	二〇〇	四〇〇	1.1	2.0

10M

國	方地原向字井部田						方地父語古下				方		地方名作物
	大豆	小麥	粟	黑麥	小麥	大麥	陸稻	水稻	粟	桑	粟	地方名作物	
0.1	1.0	1.0	1.3	1.3	0.6	1.5	0.4	0.4	1.2	0.5	0.5	少肥ノ場合	
0.2	1.0	1.0	1.2	1.2	0.6	1.4	0.4	0.2	0.3	0.5	0.5	少肥ノ場合	
0.1	1.3	1.3	1.6	1.6	0.3	1.3	0.3	0.6	1.2	0.6	0.6	少肥ノ場合	
0.30	0.50	0.70	0.80	1.50	0.80	1.40	0.80	0.80	2.00	0.80	0.80	收量	
0.2	1.3	1.3	1.4	1.7	1.9	1.7	1.7	0.4	1.9	0.9	0.9	中肥ノ場合	
0.9	1.3	1.3	1.6	1.7	1.9	2.0	1.9	0.5	1.2	1.1	1.1	中肥ノ場合	
0.2	0.7	1.6	0.7	2.1	2.2	1.8	1.8	0.6	1.6	0.9	0.9	中肥ノ場合	
0.60	0.70	1.50	1.00	2.00	1.40	2.00	2.00	1.00	3.50	1.00	1.00	收量	
0.2	1.6	1.8	2.0	2.2	2.6	3.3	3.3	1.4	2.7	2.1	2.1	多肥ノ場合	
1.9	2.0	2.9	2.5	2.4	2.5	4.0	4.0	0.7	1.7	1.3	1.3	多肥ノ場合	
0.3	1.8	2.0	2.3	2.3	2.3	2.7	2.7	0.6	1.8	1.2	1.2	多肥ノ場合	
1.00	1.50	2.00	1.60	3.00	1.80	2.80	2.80	1.40	5.00	1.50	1.50	收量	

佐波郡 東村 肥培慣行調査表

10M

新田郡 尾島町 肥培慣行調査表	市野井地方					小地方			田村地方			柴中北 町井今		
	水稲	小麥	陸稻	同	水稲	水稲	同	同	水稲	水稲	大麥	水稲	大麥	水稲
0,3	0,9	0,9	0,9	1,0	0,7	0,7	0,4	1,6	0,4	0,9	1,5	0,9	0,9	1,0
0,1	0,9	0,8	0,9	1,1	0,3	0,2	1,2	0,2	0,3	0,3	0,2	0,3	0,1	0,1
0,4	0,9	0,7	0,8	0,7	1,0	0,7	1,3	0,5	0,7	0,9	0,7	0,9	1,0	1,0
1,6	1,0	1,2	1,0	1,8	1,6	1,6	1,8	1,4	1,9	2,0	1,9	2,0	2,0	2,0
1,0	1,3	1,3	1,8	1,6	1,9	1,7	2,0	2,0	1,7	1,2	1,7	1,2	2,0	2,0
1,2	1,3	1,3	1,5	1,4	1,3	1,7	0,5	1,4	1,5	1,5	1,5	1,5	2,0	2,0
0,4	1,2	1,2	1,3	2,0	1,4	1,5	1,4	1,1	0,6	1,2	0,6	1,2	2,1	2,1
2,2	1,3	2,5	2,5	2,2	2,6	2,2	2,4	2,3	2,3	2,5	2,3	2,5	2,4	2,4
2,0	1,6	2,5	2,2	2,9	3,4	1,8	2,9	3,0	2,7	2,7	2,7	2,7	3,3	3,3
2,5	2,7	2,0	1,9	2,6	2,6	2,4	2,3	3,0	2,1	2,8	2,1	2,8	2,9	2,9
1,2	1,5	1,8	1,6	2,7	2,5	1,7	1,6	1,9	2,0	1,9	2,0	1,9	2,9	2,9
2,9	1,6	3,5	2,0	3,0	3,2	2,8	2,7	3,0	2,8	3,0	2,8	3,0	2,8	2,8
羽			福	愛	愛	愛	福	關						
田			龜	國	國	國	龜	取						

104

佐波郡 名和村 肥培慣行調査表	戸堀下					保小東					保小東					地方名作物
	桑	小麥	大麥	水稲	水稲	桑	小麥	大麥	陸稻	水稲	大麥	桑	小麥	大麥	地方名作物	
0,9	0,9	0,9	1,0	1,0	0,8	0,9	0,9	0,9	0,6	0,9	0,9	0,6	0,9	1,2	少肥ノ場合	
0,2	0,3	0,3	0,1	0,1	0,3	1,3	1,3	1,3	0,3	1,3	0,5	0,2	1,7	1,9	窒素	
1,0	0,9	0,9	1,0	1,0	0,7	0,7	0,7	1	0,7	0,7	1,8	0,5	0,7	1,2	磷酸	
春	1,2	2,0	2,0	2,0	秋	1,8	0,9	0,9	2,3	0,9	0,5	0,8	1,0	2,0	加里	
1,5	1,2	2,0	2,0	2,0	1,5	1,9	1,9	2,0	1,9	1,9	0,5	0,8	1,0	2,0	收量	
0,4	1,8	1,8	1,5	2,0	2,2	1,6	1,6	2,2	1,9	1,9	1,5	1,9	1,7	2,2	中肥ノ場合	
1,1	1,2	1,2	2,1	2,1	0,6	1,5	1,5	1,7	1,9	1,9	0,6	0,5	2,5	3,4	窒素	
春	1,6	2,5	2,4	2,4	1,6	1,2	1,2	1,8	0,7	1,5	1,3	1,4	1,4	2,9	磷酸	
2,4	1,6	2,5	2,4	2,4	1,1	1,2	1,2	1,8	0,7	1,5	1,3	1,4	1,4	2,9	加里	
2,2	2,9	2,9	3,3	3,3	2,2	2,2	2,3	3,3	3,8	3,0	1,8	2,4	2,3	3,1	多肥ノ場合	
0,4	2,9	2,8	2,9	2,9	4,3	1,7	1,7	2,8	3,1	3,4	3,6	1,2	3,4	3,8	窒素	
0,9	1,6	1,6	2,9	2,9	2,8	1,8	1,8	3,1	1,4	1,5	2,4	2,1	1,9	2,0	磷酸	
春	2,0	3,0	2,8	2,8	2,8	1,8	1,8	3,1	1,4	1,5	2,4	2,1	1,9	2,0	加里	
2,6	2,0	3,0	2,8	2,8	2,8	1,8	1,8	3,1	1,4	1,5	2,4	2,1	1,9	2,0	收量	
2,6	2,0	3,0	2,8	2,8	2,8	1,8	1,8	3,1	1,4	1,5	2,4	2,1	1,9	2,0	備考	

105

山田郡 毛里田村 肥培慣行調査表

龍舞地方				沖之郷地方				八重笠二間地方				橋下地方			
水	大	小	桑	水	大	小	桑	水	大	小	桑	水	大	小	桑
0,8	0,8	0,8	0,6	0,8	0,8	0,8	0,6	0,8	0,8	0,8	0,6	0,8	0,8	0,8	0,6
0,1	0,1	0,1	0,3	0,1	0,1	0,1	0,3	0,1	0,1	0,1	0,3	0,1	0,1	0,1	0,3
0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒
1,50	1,20	1,20	0,60	1,50	1,20	1,20	0,60	1,50	1,20	1,20	0,60	1,50	1,20	1,20	0,60
1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9
0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4
1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒
2,30	1,60	1,60	0,80	2,30	1,60	1,60	0,80	2,30	1,60	1,60	0,80	2,30	1,60	1,60	0,80
1,4	1,4	1,4	1,6	1,4	1,4	1,4	1,6	1,4	1,4	1,4	1,6	1,4	1,4	1,4	1,6
0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4
1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒
2,50	1,80	1,80	1,00	2,50	1,80	1,80	1,00	2,50	1,80	1,80	1,00	2,50	1,80	1,80	1,00
五畝四石	赤坊子	赤坊子	銀葉	五畝四石	赤坊子	赤坊子	銀葉	五畝四石	赤坊子	赤坊子	銀葉	五畝四石	赤坊子	赤坊子	銀葉

山田郡 休泊村 肥培慣行調査表

下小林地地方				大館地方				岩松地方				前小屋地方				地方名作物			
水	大	小	桑	水	大	大	陸	水	水	大	大	水	水	水	桑	少肥ノ場合	中肥ノ場合	多肥ノ場合	收量備考
0,8	0,8	0,8	0,6	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,6	0,8	0,8	0,8	0,4	窒素	窒素	窒素	秋春
0,2	0,2	0,2	0,3	0,2	0,2	0,2	0,3	0,2	0,2	0,2	0,3	0,2	0,2	0,2	0,3	磷酸	磷酸	磷酸	收量
0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8	0,7	0,7	0,7	0,8	加里	加里	加里	收量
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	收量	收量	收量	備考
1,60	1,50	1,50	0,80	1,60	1,50	1,50	0,80	1,60	1,50	1,50	0,80	1,60	1,50	1,50	0,80	1,5	1,5	1,5	毛裸扇
1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	1,1	1,1	1,1	0,9	0,5	0,5	0,5	
0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,2	0,2	0,2	
1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	0,1	0,1	0,1	
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	0,3	0,3	0,3	
1,80	1,50	1,50	0,80	1,80	1,50	1,50	0,80	1,80	1,50	1,50	0,80	1,80	1,50	1,50	0,80	0,8	0,8	0,8	
1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	1,6	0,7	0,7	0,7	
0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,8	0,8	0,8	0,4	0,1	0,1	0,1	
1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	1,0	1,0	1,0	0,9	0,1	0,1	0,1	
棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	棒	0,8	0,8	0,8	
2,00	1,50	1,50	0,80	2,00	1,50	1,50	0,80	2,00	1,50	1,50	0,80	2,00	1,50	1,50	0,80	0,7	0,7	0,7	
愛國	赤坊子	赤坊子	銀葉	愛國	赤坊子	赤坊子	銀葉	愛國	赤坊子	赤坊子	銀葉	愛國	赤坊子	赤坊子	銀葉	0,4	0,4	0,4	

部志泉小上			肥培慣行調査表				地方名	
桑	大麥	小麥	方地澤吉	方地上只	方地場市	方地宿	作物	少肥ノ場合
0.2	0.4	0.4	0.7	0.9	0.8	0.3	桑 小麥	窒素 0.3 磷酸 0.1 加里 0.1
0.1	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.1		窒素 0.2 磷酸 0.1 加里 0.1
0.3	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	0.1		窒素 0.7 磷酸 0.1 加里 0.1
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	1.5	2.5	1.3	秋春	秋春	窒素 1.5 磷酸 0.5 加里 0.5
1.0	0.9	0.9	1.2	1.6	1.2	0.7		窒素 1.2 磷酸 0.2 加里 0.2
0.3	1.3	0.9	1.8	1.9	1.5	0.2		窒素 1.8 磷酸 0.3 加里 0.3
0.8	0.9	0.9	1.0	1.3	1.2	0.3		窒素 1.0 磷酸 0.1 加里 0.1
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	2.0	3.0	2.0	秋春	秋春	窒素 2.0 磷酸 0.5 加里 0.5
2.7	1.3	1.6	2.2	2.7	2.4	1.0		窒素 2.7 磷酸 0.2 加里 0.2
1.6	2.3	1.8	2.1	2.3	2.2	1.1		窒素 2.1 磷酸 0.3 加里 0.3
1.8	1.0	1.6	1.7	2.1	1.9	0.4		窒素 1.8 磷酸 0.1 加里 0.1
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	2.0	4.0	2.5	秋春	秋春	窒素 2.0 磷酸 0.5 加里 0.5
1.0	1.3	1.3	2.2	3.1	2.5	0.7	多市 赤新 坊 田早 胡平 主生	窒素 2.0 磷酸 0.7 加里 0.7

原澤古		方地上只場市			方地永古山丸			方地水清樂猿			地方名				
大麥	水稻	小麥	大麥	水稻	桑	小麥	大麥	水稻	桑	桑	小麥	大麥	水稻	作物	少肥ノ場合
1.5	1.4	1.1	1.1	0.8	0.7	0.8	0.8	0.9	0.6	0.4	0.7	0.7	0.5	桑 小麥 水稻	窒素 0.4 磷酸 0.1 加里 0.1
1.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2		窒素 0.1 磷酸 0.1 加里 0.1
1.4	1.1	0.8	0.8	0.8	0.2	0.8	0.8	0.7	0.1	0.1	0.6	0.6	0.7		窒素 0.1 磷酸 0.1 加里 0.1
2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.3	秋春	秋春	秋春	秋春	秋春	窒素 2.0 磷酸 0.5 加里 0.5
1.7	2.0	1.4	1.4	1.6	1.0	1.9	1.9	2.2	1.3	0.9	1.8	1.8	2.3		窒素 1.7 磷酸 0.2 加里 0.2
2.0	1.6	1.5	1.5	1.8	0.3	2.7	2.7	1.9	0.5	1.3	1.6	1.6	1.8		窒素 2.0 磷酸 0.3 加里 0.3
1.4	1.7	1.3	1.3	1.0	0.8	1.9	1.9	2.3	1.3	0.3	1.4	1.4	1.9		窒素 1.4 磷酸 0.1 加里 0.1
2.5	2.5	2.0	3.0	2.6	2.6	2.0	3.0	2.5	3.0	秋春	秋春	秋春	秋春	秋春	窒素 2.5 磷酸 0.5 加里 0.5
2.2	1.7	1.8	1.8	2.4	1.4	3.1	3.1	3.5	2.6	1.5	2.4	2.4	2.7		窒素 2.2 磷酸 0.2 加里 0.2
2.6	1.7	1.7	2.0	0.4	0.4	2.9	2.9	3.9	2.5	1.5	1.9	1.9	2.1		窒素 2.6 磷酸 0.3 加里 0.3
1.4	2.0	1.4	1.4	1.6	1.3	2.1	2.1	2.5	1.4	2.0	2.0	2.0	2.1		窒素 1.4 磷酸 0.1 加里 0.1
3.0	2.8	2.5	3.5	2.8	3.8	2.5	3.5	3.0	3.8	秋春	秋春	秋春	秋春	秋春	窒素 3.0 磷酸 0.5 加里 0.5
白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	白備前	窒素 3.0 磷酸 0.5 加里 0.5

方尻泉下	方地下神天泉小下	方地原松泉小下	方地内之城
桑 水稻 大麦 小麦	桑 大豆 陸稻 水稻 小麦	大豆 桑 陸稻 小麦	大豆 陸稻 桑
0.2 0.8 0.5 0.4	0.2 0.5 1.0 0.8 0.9	0.5 0.2 0.9 0.9	0.5 1.0 0.2
0.1 0.2 0.2 0.5	0.1 0.2 0.1 0.2 0.3	0.3 0.1 0.1 0.3	0.3 0.1 0.1
0.3 0.7 0.6 0.7	0.3 0.8 0.2 0.7 0.9	0.8 0.3 0.9 0.5	0.8 0.9 0.3
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑
1.5 1.0 0.8 0.6	1.5 0.5 0.8 1.0 0.8	1.5 0.8 0.8 0.8	1.5 0.8 0.4
1.0 2.4 0.9 0.9	1.0 1.4 0.7 0.7	1.0 1.4 1.2	1.4 1.0
0.8 1.5 0.3 0.9	0.9 1.4 0.8 0.8	0.9 1.4 0.9	1.4 0.9
0.8 1.0 0.9 0.9	0.8 1.7 1.5 0.7	0.8 1.1 0.9	1.1 0.8
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑
1.7 1.6 2.0 1.6	1.7 1.0 1.6 1.0	1.7 1.0 1.0	1.7 1.0 1.0
2.4 5.8 1.6 1.6	2.4 0.5 1.8 2.4 1.4	0.5 2.7 1.8 1.4	0.5 1.8 0.8
1.5 2.3 2.1 0.6	1.5 1.3 2.2 2.1 1.7	1.3 1.6 0.5 1.7	1.3 2.0 1.2
1.7 2.2 1.5 1.5	1.7 0.8 1.4 1.9 1.3	0.8 1.8 1.4 1.3	0.8 1.4 1.1
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑
1.0 3.0 2.5 1.5	1.0 0.8 1.5 2.0 1.5	1.0 3.0 1.5 1.5	1.0 3.0 1.0

泉小上	方地田反五泉小上	方地後泉小上	方地	地方名
大豆 陸稻 桑 大麦 小麦 水稻	大豆 陸稻 桑 大麦 小麦 水稻	陸稻 桑 大麦 小麦 水稻	大豆 陸稻	少肥ノ場合
0.4 0.4	0.5 0.9 0.2 0.4 0.4 0.8	1.0 0.2 0.4 0.4 0.8	0.5 1.0	窒素 磷酸 加里
0.4 0.4	0.3 0.3 0.1 0.4 0.4 0.2	1.1 0.1 0.4 0.4 0.2	0.3 1.1	窒素 磷酸 加里
0.7 0.7	0.8 0.9 0.3 0.7 0.7 0.7	0.9 0.3 0.7 0.7 0.7	0.8 0.9	窒素 磷酸 加里
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	收量
1.3 0.8 0.0	1.5 0.8 0.4 1.2 0.7 1.0	1.5 0.4 1.2 0.7 1.0	0.5 0.8	窒素 磷酸 加里
0.9 0.9	1.4 1.1 0.9 0.9 2.0	1.3 1.0 0.9 0.9 2.0	1.0 1.0	窒素 磷酸 加里
1.3 0.9	1.4 0.9 1.3 0.9 0.6	1.4 0.9 1.3 0.8 1.8	1.3 1.0	窒素 磷酸 加里
0.9 0.9	1.1 0.8 0.9 0.9 1.7	1.1 0.8 0.9 0.9 1.5	1.0 1.0	窒素 磷酸 加里
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	收量
2.0 1.0 0.0	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	1.0 1.0	窒素 磷酸 加里
2.5 1.6	0.5 1.8 2.7 2.3 1.6 2.3	1.6 2.6 1.6 1.6 2.8	0.5 1.8	窒素 磷酸 加里
2.1 1.8	1.3 2.0 1.5 2.1 2.5	2.4 1.6 2.4 1.8 2.8	0.3 2.5	窒素 磷酸 加里
1.5 1.5	0.8 1.5 1.8 1.8 1.5 2.2	1.1 1.8 1.3 1.5 2.2	0.8 1.4	窒素 磷酸 加里
秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	秋棒桑	收量
2.5 1.5 0.0	2.0 1.2 2.4 1.3 2.0 2.0	1.1 3.0 2.4 1.3 2.0	0.8 1.3	窒素 磷酸 加里
				備考

の代表のものに就てのみ分析を施行し他を省略したるに依る。
 3、區號は小區の番號にして現地調査に於ける區號及地圖に記載したる區號と一致するものとす。
 4、土色は乾燥細微土を硝子テューブに詰めたるもの、外觀なるを以て濕氣を帯びたる際調査したる原地調査の土色とは著しく異なる。
 5、土重は百立方耗の圓筒にて填充調査したるものなれ共細微土を供試土とし、然もよく乾燥せしめたる故一般に輕き感あり、殊に密土に於て著し、然れ共皆同一方法に據りたるが故に比較上差支へなし。
 6、土壤の組織はキユーン氏の方式に據りたるものとシエーネ氏式に據れるものと混合せるも何れも粗粘土分は〇・〇五ミツ以下のものたらしめたり。
 7、反應は鹽化加里を注加して試験紙を以て檢定したる、大工原氏法酸度なり。
 8、其他の事項は既に分析檢定の條下に説明したる方式に據り檢定せるものなり。

勢多郡 木瀬村 土壤分析成績

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百cc)	組成	粘土%	摘要	反應	腐植全酸全窒素				
2	下増田北阿久津(田)	表土	灰	六	九	二	五	三五	砂壤	中弱酸	一、五	一、四	〇、八
3	下増田百百耕地(田)	表土	灰	八〇	一〇	二	五	三五	砂壤	中弱酸	一、六	一、四	〇、九

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百cc)	組成	粘土%	摘要	反應	腐植全酸全窒素				
11	小屋原前原(田)	表土	灰	八	一〇	二	五	三五	砂壤	微弱酸	一、六	一、四	〇、八
13	小屋原藥師(田)	表土	灰	五	九	二	五	三五	同	酸性	一、四	一、二	〇、七
21	笕井六反田(田)	表土	灰	六	九	二	五	三五	同	微弱性	一、四	一、二	〇、七
40	女屋藥師(田)	表土	灰	五	九	二	五	三五	同	弱酸	一、五	一、三	〇、八
30	天川大島(田)	表土	灰	五	九	二	五	三五	同	微弱酸	一、二	一、〇	〇、六
32	下長磯姫栗(田)	表土	灰	五	九	二	五	三五	同	弱酸	一、〇	一、〇	〇、四
34	上長磯稻荷前(田)	表土	灰	五	九	二	五	三五	同	微弱酸	一、〇	一、〇	〇、四
44	野中八幡前(田)	表土	灰	八	一〇	二	五	三五	同	稍強酸	二、六	一、四	〇、四

9	10	19	16	14	1	25	28
鶴光路春小町 (田)	新堀曲尺 (田)	德丸奥田 (田)	力丸前沖 (田)	力丸法立 (田)	三公田尼ヶ橋 (畑)	龜里驗練地引 (田)	龜里大地道 (田)
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土
同褐	褐灰	黃灰 褐	同灰	褐灰	褐灰 褐	黃灰 褐	淡灰 黃
六九	八三	七五	七九	七九	一九	七三	七三
九	一〇〇	九	九	一〇〇	一三四	六	九
〇、五	〇、三	〇、二	〇、一	〇、一	〇、〇	〇、五、五	〇、五、四
二七 二〇	七 一四	三七 三三	七 二九	三 二七	二 三	三〇 二八	二四 二六
四 四	六 五	七 四	五 四	四 元	七 七	六 七	五 四
二五 三七	三〇 三三	二六 二五	四〇 二五	四〇 三五	二 二	三 三	二五 二九
砂壤 土	同砂 壤	同砂 壤	壤土 砂壤	同壤 土	同砂 土	同砂 壤	同砂 壤
強 酸	酸 性	稍強 酸	弱 酸	弱酸 性	酸 性		弱 酸
		一、五		〇、七	一、二		一、〇
		三、〇、〇、六八		二、四、〇、三三	一、二、〇、八〇		二、七、〇、六二

9	9	5	6	26	1	區號
試鶴 光路村 地中 (田)	橫手早稻田 (田)	龜里辻 (田)	小坂子下田 (田)	小神明中程 (田)	嶺高月 (田)	場所名
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	區別
黃灰 褐	黃灰 褐	黃蒼 褐	淡灰 褐	淡黃 褐	同灰	土色(乾)
五	八〇	七三		七三	五九	土重(百cc)
六	一〇六	九		九	七九	密
一、五、六	〇、二	〇、五、九	二、五、二	二、〇、一	二、〇、九	礫
二四 三	三 六	九 三	一〇 六	三 七	二 二	砂
六 三	四 五	五 四	五 五	五 元	三 四	細砂
元 三	元 三	四 三	七 三	四 四	三 七	粘土
同壤 土	同壤 土	同砂 壤	壤土 砂壤	同壤 土	同壤 土	摘要
酸 性	酸 性	酸 性	酸 性	稍強 酸	稍強 酸	反應
						腐植全酸全窒
三、三			二、五	三、五	二、五	度
三、六、〇、六二				一、〇、三、五	三、八、〇、〇〇	素
					三、二	窒

勢多郡 下川淵村 土壤分析成績

26	35	9	25	24	2	31	32
上ノ原田東田 (田)	三原田表 (田)	樽船戸 (田)	見立瀧澤 (田)	瀧澤道路戸 (田)	宮田沖田 (田)	勝保澤田尻 (田)	勝保澤西友心 (田)
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土
灰 同	灰 褐	灰 褐	赤 褐	灰 褐	灰 褐	灰 褐	黑味 褐
一七	一六	一六	一七	一七	一七	一七	一五
一八	一八	一〇〇	一九	一七	一九	一七	一六
四、〇 三、一	五、五 二、七	五、五 五、〇	五、八 一、二	六、五 一、二	二、五 八、二	四、六 一、五	二、六 一、六
一八 四	一三 三	二〇 二〇	二六 一五	一九 二五	二七 二〇	二九 三	三五 二七
四 四	四 四	三 三	四 四	四 四	三 三	四 三	三 三
三 四	四 四	三 三	三 四	三 三	二 三	三 三	二 三
同 壤土	同 壤土	同 壤土	砂 壤土	同 砂壤	同 砂壤	同 砂壤	同 砂壤
同 酸性	同 稍強酸	同 稍強酸	酸 稍強酸	同 酸性	同 酸性	同 酸性	酸 性
							三、七 四、二 六

1111

12	10	3	2	28	27	區號
溝呂木天笠下 (田)	溝呂木砂田 (田)	三公田天丸 (田)	上公田山王前 (田)	龜里水吐 (田)	龜里熊野 (田)	場所名
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	區別
黑味 褐	黑味 褐	灰 褐	黃 褐	同 灰	同 灰	土色(乾)
一七	一六	一七	一七	一八	一八	土重(百%)
一八	一八	一〇二	一〇五	一〇六	一〇八	密
一、八 〇、五	四、〇 〇、二	〇、〇 〇、八	〇、〇 〇、一	〇、〇 〇、〇	〇、三 〇、二	礫
二七 二五	三三 二二	三三 三	八 七	七 六	二 二〇	砂
四 四	四 四	四 四	五 四	五 四	四 四	細砂
二 二	三 三	三 三	三 三	四 六	三 三	粘土
同 砂壤	同 壤土	同 壤土	同 壤土	同 壤砂	同 砂壤	摘要
酸性	弱 酸	酸 性	同 酸性	酸 性	弱 酸	反應
						腐植 質
						全 酸
						全 窒 素

勢多郡 横野村 土壤分析成績

1111

7	4	群馬郡 元惣社村		5	3	6	27	15
元惣社彌勒 (畑)	元惣社革作 (畑)	有馬塚内 (田)	有馬前田 (田)	有馬中井 (田)	半田東田 (田)	八木原町東 (田)		
表土 灰 褐	表土 帶黑 褐	表土 褐 黑	表土 帶赤 褐	表土 灰 褐	表土 帶赤 褐	表土 帶赤 褐		
心土 淡 褐	心土 帶黑 褐	心土 灰 褐	心土 帶赤 褐	心土 灰 褐	心土 帶赤 褐	心土 帶赤 褐		
七二	六六	九〇	八九	九七	八六	九三		
九四	九三	一〇三	一〇二	一〇九	一〇〇	一〇六		
一〇、〇	一〇、七	八、五	二、〇	一、〇	二、〇	二、〇		
二〇、三	四三	五五	一七	二五	一〇	二〇		
七二	六四	四七	四八	四四	四〇	四二		
一八	三、六	二六	三、七	三〇	四〇	四〇		
壤砂	同	同	同	同	同	同		
	稍強酸	酸性	弱酸	酸性	酸性	中性		
〇、四	〇、四			〇、五	一、二			
〇、三	三、〇			二、四	二、一			
二、九				〇、五	四、五			

7	15	群馬郡 古卷村		地験試	4	地験試	39	區號
八木原孫田 (田)	八木原芝付 (田)	溝呂木宮前 (畑)	宮田中島 (田)	北橋分小室 (田)	瀧澤御所谷戸 (田)			
表土 灰 褐	表土 帶赤 灰 褐	表土 帶黑 褐	表土 灰 褐	表土 灰 褐	表土 灰 褐			
心土 帶赤 褐	心土 帶黃 褐	心土 褐	心土 同	心土 同	心土 同			
九	九	九	五	四	五			
二八	二八	二	三	四	三			
四、〇	〇	一、六	二、〇	七、〇	四、二			
二〇	七、〇	三	四	五	六			
四七	四〇	四	三	四	四			
三三	四九	三	三	四	四			
同	同	同	同	同	同			
酸性	酸性	酸性	強酸性	弱酸	稍強酸			
〇、七	〇、五		三、六					
二、四	三、三		七、八					
四、四	三、三		六、三					

24	21	19	17	14	9	7	3
我峰屋敷前 (田)	西新波冲 (田)	氣池上野前 (田)	菊池前田 (田)	樂間石神 (田)	濱川前橋田 (田)	濱川高田 (田)	濱川館 (田)
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土
灰	淡褐	赤褐	灰褐	淡赤褐	同	帶黑灰	帶黑灰
六	六	八	八	七	六	六	五
八	二六	一〇〇	一〇一	九	二	一〇〇	八
一、〇、六	四、〇、七	一、〇、五	三、〇、一	四、〇、四	三、一、五	〇、五、三	三、〇、〇
一七	二二	二〇	三二	二六	三三	二六	二四
四	五	四	四	六	四	四	四
三	三	三	二	六	二	二	二
同	同	同	同	同	同	同	同
弱	微	弱	弱	弱	弱	稍	稍
一、〇、五	〇、八、一	一、四、一	一、三、一	〇、八	〇、五	一、五	一、二
一、六	一、五	一、二	一、三				三、三
一、元	一、五	一、五	一、四	一、五	一、七	一、四	一、四

群馬郡 長野村 土壤分析成績

18	10	15	12	21	11	區號
大友村前 (田)	元惣社寺田 (田)	内藤天神廻 (田)	元惣社芦田 (田)	大友雲雀海道 (畑)	元惣社落合 (畑)	場所名
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	區別
灰	同	褐	淡褐	同	同	土色(乾)
褐	褐	褐	褐	褐	褐	土重(百cc)
八	三	六	七			粗
一〇八	八四	一三三	一〇三			密
〇、三	〇、五	〇、二	〇、二	一、二、五		礫
四	九、〇	二	三	元	二〇	砂
三	五	三	三	四	四	細砂
三	三	三	三	三	三	粘土
同	同	同	同	同	同	摘要
弱	稍	稍	弱	酸	酸	反應
一、二	一、八	三、三	一、二	〇、五	〇、五	腐植全
一、二、四	一、三		三、三			度全
一、四	一、四		一、五			素全

14	18	6	11	3	中區	12
下栗須寺南 (畑)	上戸塚正上寺 (田)	下栗須五町田 (田)	下戸塚東田 (田)	岡之郷中道 (田)	倉賀野續橋 (畑)	倉賀野上稻荷 (田)
表土赤褐	表土灰帶赤褐	表土淡黃褐	表土褐	表土灰	表土蒼帶蒼褐	表土灰
心土赤褐	心土帶赤褐	心土淡黃褐	心土褐	心土灰	心土蒼帶蒼褐	心土灰
1.2	1.5	1.6	1.5	1.5	1.7	1.7
1.3	1.3	1.3	1.7	1.8	1.9	1.9
1.1	0.8, 0.1	1.0, 0.3	2.5, 0.2	0.3	0.4, 1.1	2.5, 1.0
6.1, 5.6	4.5, 2.7	1.4, 3.3	9.7, 2.2	3.7, 2.3	9.3, 2.2	2.8
3.3, 3.3	4.2, 3.5	2.6, 3.4	3.3, 2.4	3.1	1.6, 5.2	6.3
7.5, 6.6	5.4, 3.9	5.9, 3.3	5.8, 5.4	6.5, 5.0	2.5, 1.3	9.1
同砂土	壤土	壤土	壤土	壤土	同砂土	同砂土
弱酸	弱酸	中性	稍強酸	同弱酸	弱酸	微酸
1.1	1.0, 1.1	1.1	1.1	1.7	1.5	0.9
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.4	1.8, 0.4
1.1	1.5	1.1	1.1	1.1	1.5	0.4, 2.5

多野郡 神流村 土壤分析成績

7	3	2	地驗試	地驗試	15	1	區號
倉賀野穴池 (田)	倉賀野原附 (田)	倉賀野大應寺 (田)	南新波 (畑)	南新波 (田)	南新波大道上 (畑)	濱川芦田貝戸 (畑)	場所名
表土灰	表土灰	表土灰	表土灰	表土灰	表土灰	表土灰	區別
心土褐	心土褐	心土褐	心土淡灰	心土同	表土灰	表土灰	土色(乾)
1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	土重(百cc)
1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	粗
1.0, 0.8	0.5, 0.8	1.0	1.0, 0.2	0.5, 0.5	1.0	1.0	密
2.9, 3.0	3.3, 3.4	3.0	2.9, 2.6	3.3, 3.3	4.0	4.5	礫
3.6, 3.9	5.2, 4.5	5.7	3.9, 3.7	4.0, 4.0	5.3	4.4	砂
3.3, 2.9	2.4, 1.7	2.3	3.3, 3.5	2.9, 2.9	7.7	8.8	細砂
同砂壤	壤砂	砂土	同砂壤	砂壤	砂土	砂土	粘土
中性	弱酸	微酸	弱酸性	稍酸性	酸性	弱酸	%
0.5	1.1	1.0	1.2	1.2	0.8	1.5	摘要
0.0, 0.0	0.2, 0.3	0.0, 0.4	1.1, 1.5	1.2, 2.5	0.8, 3.0	1.5, 4.0	反應
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	腐植質
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	全酸
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	全窒素

群馬郡 倉賀野町 土壤分析成績

多野郡 吉井町 土壤分析成績

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百%)	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植全度	全酸	全窒素
6	本郷親王町(田)	表土	淡黃褐	七九 _五	一、三	三、四	二、七	三、九	壤土	弱酸	—	—	—
25	長根宿地(田)	表土	黑褐	七 _三	六、六	一、九	三、七	四、四	壤土	弱酸	一、七	一、二〇、五	—
14	矢田冲田(田)	表土	灰褐	七 _五	二、五	四、五	三、七	三、〇	砂壤	弱酸性	—	—	—
11	吉井五反地(田)	表土	灰褐	六 _六	〇、五	二、九	三、三	四、四	同壤土	同酸性	—	—	—
22	長根東通	表土	褐	六 _八	三、六	二、六	三、三	四、三	壤土	中性	—	—	—
24	長根吉田(田)	表土	灰	八 _五	三、〇	六、三	三、〇	五、七	砂壤	中性	—	—	—
16	矢田柏田(田)	表土	灰	五 _五	二、〇	八、三	四、四	三、三	同砂壤	強酸	二、五	六、〇、五	—

130

北甘樂郡 丹生村 土壤分析成績

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百%)	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植全度	全酸	全窒素
23	長根西通(田)	表土	赤褐	六 _六	一、八	二、七	三、三	四、四	同壤土	微酸性	—	—	—
7	本郷庚申塚	表土	灰褐	八 _四	二、六	二、二	三、〇	五、八	壤土	中性	—	—	—
21	下長根町付(田)	表土	灰褐	九 _四	七、八	三、六	四、五	四、七	同砂壤	弱酸	—	—	—
1	上丹生兩方(田)	表土	蒼黃褐	七 _七	〇、一	四、九	三、九	四、九	壤土	弱酸	—	—	—
3	上丹生勢神(田)	表土	灰赤褐	六 _六	二、七	三、三	三、三	四、三	同壤土	弱酸性	—	—	—
7	原塚越(田)	表土	蒼黃褐	八 _四	六、二	四、〇	三、四	五、五	同壤土	中性	—	—	—
8	原塚越(田)	表土	淡黃褐	八 _〇	四、〇	二、八	四、三	三、六	同壤土	弱酸性	—	—	—

131

11	9	7	5	4	3	2	1
町屋前田 (田)	金井淵前田 (田)	劍崎仲沖 (田)	八幡西前田 (田)	藤塚尼街道 (田)	藤塚 (田)	鼻高天神前 (田)	鼻高中川原 (田)
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土
同灰	淡灰 褐	赤灰 褐	淡灰 褐	赤灰 褐	淡灰 褐	赤灰 褐	赤灰 褐
1 八	1 五	1 六	1 七	1 七	1 六	1 六	1 八
1 二	1 七	1 六	1 九	1 四	1 九	1 六	1 五
二、〇 一、九	一、五 一、四	〇、五 三、一	〇、七 〇、五	七、五 一、三	二、五 二、三	〇、五 〇、三	一、〇 三、〇
三七 三〇	二二 一四	三六 二九	二七 二七	二二 一七	二〇 一六	二七 二二	三三 一四
五〇 五五	四四 四三	三七 二八	三六 三三	三二 二六	六五 五〇	三五 五〇	四八 五八
一〇 一五	三六 四三	二六 四〇	三三 三六	二七 三〇	二六 三三	四一 四三	四〇 二九
同砂 土	同壤 土	砂壤 土	同壤 土	砂壤 土	同砂 壤	同壤 土	同砂 壤
中 性	酸 性	强 酸	微 酸	强 酸	微 酸	稍 强 酸	稍 强 酸
!	!	!	!	!	!	!	!
!	!	!	!	!	!	!	!
1 四、〇	1 三、〇	1 〇、九、七〇	1 〇、五〇	1 〇、六〇、四〇	1 〇、五〇、四〇	1 〇、九〇、四〇	1 〇、四〇

11111

5	3	1	4	6	區號
高瀨鶴卷 (田)	高瀨板田 (田)	高瀨水口 (田)	下丹生赤子 (田)	下丹生細工谷 (田)	場所名
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	區別
灰	淡灰 褐	灰	帶黃 褐	同	土色(乾)
1 五	1 八	1 八	1 六	1 六	土重(百cc)
1 二	1 七	1 七	1 六	1 六	密
七、〇 八、五	一、五 〇、九	九、〇 四、九	四、五 六、〇	五、五 一、六、三	礫
二〇 三三	一九 二二	三三 二〇	三三 三三	一四 二三	砂
三六 三七	三六 二七	四七 三三	四四 四三	三三 三三	細砂
四四 四〇	四四 四〇	一〇 二六	四四 四五	四九 四六	粘土
同壤 土	同壤 土	同砂 土	同壤 土	同壤 土	摘要
中 性	稍 强 酸	微 酸	酸 中 性	同 微 酸	反應
!	!	!	!	!	腐植
!	!	!	!	!	全酸
!	!	!	!	!	全窒
1 〇、四〇	1 一、四、〇、四五	1 二、五、〇、五、四七			

碓氷郡

八幡村

土壤分析成績

北甘樂郡

高瀨村

土壤分析成績

11111

19	21	4	1	3	2	21
原市團右衛門塚 (畑)	嶺 大持場 (畑)	嶺 樋口 (田)	原市北冲 (田)	郷原下樋越 (田)	嶺川島 (田)	劍崎鳴熊 (畑)
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土
赤灰 褐	赤灰 褐	淡灰 灰	淡灰 灰	淡灰 灰	淡灰 褐	灰 褐
1.7	1.6	1.7	1.8	1.5	1.5	1.1
1.3	1.7	1.3	1.8	1.9	1.8	1.1
10.5, 9.8	6.5, 5.5	0.5, 1.6	0.0, 0.4	1.0, 0.2	0.5, 0.1	1.1
5.6, 5.5	5.5, 6.2	2.4, 2.0	0.7, 0.3	2.6, 2.6	4.1, 2.7	4.5, 3.5
3.5, 3.0	3.5, 3.3	4.9, 4.0	4.2, 4.0	4.1, 4.1	4.2, 4.2	5.2, 3.5
9.5, 9.5	7.7, 7.7	2.6, 2.6	5.7, 5.6	2.7, 2.5	3.3, 3.3	8.9, 8.9
砂土	同砂土	砂壤	壤土	同砂壤	砂土	同砂土
酸性	酸性	弱酸	酸性	弱酸	弱酸	酸性
1.1	1.1	1.1	0.8, 3.9, 0.4	2.0, 0.9, 0.7	1.1	1.8
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1

碓氷郡 原市町 土壤分析成績

22	19	18	16	15	14	13	12	區號
藤塚實習地 (畑)	鼻高吹付 (畑)	鼻高十二 (畑)	八幡二子塚 (畑)	若田峰林 (畑)	町屋大笠 (畑)	金井淵上神 (畑)	劍崎稻荷塚 (畑)	區號
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	區號
淡灰 褐	同灰 褐	同灰 褐	同灰 褐	灰帶黑 褐	灰 褐	淡黑 褐	淡黑 褐	土色(乾)
1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.3	1.9	1.5	土重(百cc)
1.0	1.0	1.9	1.6	1.6	1.5	1.8	1.3	密
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	礫
4.5, 5.5	10.7	5.5, 4.5	3.3, 2.2	2.5, 4.4	6.6, 2.6	2.6, 2.6	4.9, 5.5	砂
3.3, 4.4	1.4	5.5, 4.0	2.7, 2.9	2.6, 4.4	2.4, 2.6	2.6, 2.6	4.4, 3.5	細砂
7.8	1.7	2.5, 2.0	2.9, 1.9	2.3, 2.3	8.8, 9.0	8.0, 9.0	2.0, 3.3	粘土 %
同砂土	同砂土	同壤砂	同砂土	同砂土	同砂土	同砂土	同砂土	摘要
稍強酸	稍強酸	酸性	酸性	酸性	酸性	弱酸	酸性	反應
2.5, 4.0	2.0	1.0	1.1	3.0	1.1	1.1	1.1	腐植全酸
1.4, 4.0	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	度全酸
1.4, 4.0	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	素全窒

9	1	25	23	19	4	2
原町新井 (畑)	原町館 (畑)	川戸多田 (田)	川戸田邊 (田)	川戸宮下 (田)	原町御殿 (田)	原町長町 (田)
心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	心表 土土
黒灰 灰褐	灰 褐	灰 褐	褐 灰	灰 黒灰 褐	褐 灰	赤 灰 褐
八七	八三	六二	七〇	一五	六二	七四
一一〇	一一九	八三	八九	八五	八二	八一
一〇五	一六一	二、二、四	一三、八	三、六、九	一〇、一	二、三、五
四五、三四	八、五、四〇、五	二七、二〇	三九、二八	四九、二三	七、三	三、二〇
五三、五	四〇、五	三九、四二	三九、三九	二二、五〇	七、四	四、四
一、三	五	三、七	二、三	三〇、三	二、七	二、五
砂土	壤砂	砂壤土	壤砂	同 砂壤	砂壤土	砂壤土
酸性	酸性	弱酸	酸性	弱酸性	酸性	稍強酸
二、五	二、〇、二、〇、三、七	二、〇	三、七、五、二、〇、六	三、五	二、五、一、九、四	三、〇、三、八、五

吾妻郡 原町 土壤分析成績

33	6	9	10	34	30	22	區號
郷原小平 (畑)	惡途窪西 (畑)	原市下町南 (畑)	馬場西 (畑)	郷原徳島 (畑)	郷原長窪 (畑)	嶺嶺西 (畑)	場所名
心表 土土	心表 土土	心表 土土	表土	心表 土土	心表 土土	心表 土土	區別
同 黒 褐	同 黒 褐	同 黒 褐	帶黒 褐	赤 灰 褐	赤 灰 褐	赤 灰 褐	土色(乾)
七九	六	七	七	七九	三	一〇、六	土重(百cc)
一〇四	一〇〇	一〇八	一〇九	一〇四	一一五	一三、三	粗密
一	三、〇、三、四	三、八、二、五	五、三	五、〇、八、三	三、二、九、〇	五、〇、五、四	礫組
八七	四、七	四九、四九	四	四、四	三、三	三、三	砂成
三、四	三、六	三、六	四	四、三	五、五	四、七	細砂
一	七、五	三、三	一、九	一、五	四、一	三、七	粘土%
砂土	同 壤砂	同 壤砂	壤砂	壤砂	同 壤砂	砂土	摘要
酸性	酸性	酸性	酸性	強酸	酸性	酸性	反應
一、九	一	二、〇、二、五、〇、五	一	二、四、七、二、〇、四	〇、五	〇、七、二、五、〇、二、九	腐植全酸全窒
一、二、四、〇、四	一	一	一	一	一	一	度素

18	11	4	9	24	城荷稻	2
林 (畑) 中原	大 津 坪 井 (田)	應 桑 新 田 (田)	大 津 立 石 (田)	林 (田) 久森	試 (畑) 驗地	試 (田) 驗地
心表土 同 黑 褐	心表土 同 黑 褐	心表土 同 黑 褐	心表土 同 黑 褐	心表土 同 褐	心表土 褐 灰 褐	心表土 赤 灰 褐
五	五	七	五	五	七	七
九	八	五	七	一〇	九	八
三、八、 〇、八	一、八、 六、四	五、四、 五、八	四、一、 〇、九	一、一、 一、五	二、二、 一、五	八、九、 〇、四
二四 二	四三 三	一四 二	三三 一六	二〇 一〇	四三 二五	三九 二五
五四 五	四〇 四〇	五二 五	四七 四七	五二 六	五三 三	三六 三
三三 二	三三 二	三三 二	二九 七	二六 二	二六 五	三三 三
同 砂壤	同 砂壤	同 砂壤	砂土	同 砂壤	壤砂	同 砂壤
酸 性	强 酸	稍强 酸	强 酸	强 酸	强酸 性	酸 性
二、七、 〇、六	七、六、 七、八	八、五、 二、三	九、〇	五、〇	三、〇、 二、八、 九	二、 二、 七
一、八、 三	一、六、 六	一、六、 六	一、六、 六	一、六、 六	一、八、 四	一、七、 七

吾妻郡 長之原町 土壤分析成績

6	27	24	20	14	13	11	區號
原 町 諏訪前 (田)	金 井 市 敷 (畑)	川 戸 並 木 (畑)	川 戸 園 部 (畑)	原 町 八幡原 (畑)	原 町 上野 (畑)	原 町 城口 (畑)	場所名
心表土 同 灰 褐	心表土 同 灰	表土 灰 褐	心表土 同 黑 灰 褐	心表土 黑 灰 褐	心表土 黑 灰 褐	心表土 黑 褐	區別
七	七	充	一〇八	四	七	六	土重(百cc)
八〇	六	九	一七	九	七	六	密
四、三、 五、六	五、二、 三、七	一〇、四、 三、八	一、四、 二、九、 六、五	二〇、二、 四、三、 三	一〇、九、 二、五、 六	六、〇、 二、四、 三	礫 組
二二 一七	三三 二七	二〇 二、八	四八 二、六	二二 三、三	四〇 二、二	三三 二、六	砂 成
四二 三	六九 五	三二 八	四二 三	二七 二	三三 二	三七 二	細砂
三六 三	七九 九	三八 八	五二 三	三七 五	二七 四	三六 六	粘土 %
同 壤土	同 砂土	壤砂	砂土	砂壤	砂壤	砂壤	摘要
强 酸	酸 性	酸 性	酸 性	酸 性	酸 性	酸 性	反應
一	二、三、 一、三	二、〇、 六、三	三、〇、 五、四	三、二	三、一	三、三	腐植全酸 度 全窒 素
一	一、四	四	五、二	九	八	一	

14	9	24	23	16	12	6	35
井戸上 (畑) 高梨子	恩田 (畑) 五反畑	戸神 (田) 吉田	石墨 (田) 和田	原 (田) 千泥	井戸上 (田) 石神	恩田 (田) 上川原	白岩 (田) 中干田
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土
帯黒褐	帯黒褐	同	灰褐	灰褐	黒灰褐	赤灰褐	同
空	夫	七	夫	七	夫	八	充
九	一〇六	九	九	七	一〇三	一〇三	三
五、八	五、八	〇、五	〇、五	〇、一	三、〇	二、〇	一、〇
三三	三三	二七	二七	二七	二六	二七	一九
五五	五五	三三	三三	四七	四〇	四〇	三三
三三	三三	三七	三三	四三	三三	二七	四三
同	同	同	同	同	同	同	同
酸	弱	稍強	酸	酸	酸	酸	強
性	酸	酸	性	性	性	性	酸
	〇、八				一、八	二、五	
	二、三				一、三	一、二	
	三、三				四、四	四、四	

32	1	2	13	15	23	區號
下沼田 (田) 前原	硯田 (田) 清水	硯田 (田) 薄根	長之原 (畑) 長之原	長之原 (畑) 一本松	川原畑 (畑) 東谷	場所名
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	區別
赤褐	同	同	黒褐	黒褐	黒褐	土色(乾)
七	七	八	五	七	九	土重(百cc)
九	九	一〇八	二〇	二四	二四	密
一、三	〇、五	四、〇	二、〇			礫
三三	一、八	三〇	四一	四三	四三	砂
三六	五五	四四	四二	五五	四九	細砂
二六	三三	二二	二六	五〇	七〇	粘土
同	同	同	同	同	同	%
弱	強	強	弱	酸	弱	摘要
酸	酸	酸	酸	性	酸	反應
一、八		一、九		二、一	三、二	腐植
				一、五		全酸
						全窒
						素

利根郡 薄根村 土壤分析成績

2	21	18	26	10	5	4	23
下古語父蓬田 (畑)	平出清水 (畑)	尾合前原 (畑)	尾合清水 (田)	高平原川 (田)	上古語父原田 (田)	上古語父西原 (田)	下古語父木ノ下 (田)
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土
灰 黒	灰 同	黒 褐	灰 褐	黒 褐	同 褐	灰 灰	同 灰
褐	褐	褐	褐	褐		褐	褐
三七	三七	三三	三六	三六	三三	三七	三七
九七	一〇三	一二	一八	一七	一三	一三	一三
五、三 五、五	一、七 一、五	一、五 一、五	〇、五 一、〇	七、〇 二、二	六、五 九、〇	七、〇 七、〇	四、六 一、六
三六 三六	五五 五五	五八 五八	三三 三三	四三 三三	二六 二七	三三 三三	三三 三三
三六 三六	二七 二七	二四 二四	四〇 四〇	三三 三三	四〇 六七	四〇 四〇	三三 三三
二六 二六	一八 一八	一八 一八	二八 二八	二九 二九	三〇 五〇	二六 二六	三〇 三〇
砂壤	同 壤砂	同 壤砂	壤砂	壤砂	壤土	壤砂	壤砂
酸性	酸性	酸性	酸性	酸性	酸性	酸性	酸性
三七 一、三	二、七 二、四		三、七 一、八	三、〇 二、八		一、九 一、二	
五、六	五、六		四、八	八、二		六、二	

1	27	26	20	17	18	區號
下古語父水性 (田)	町田並木 (畑)	町田土塔原 (畑)	善桂寺前原 (畑)	原狐原 (畑)	大釜小坂原 (畑)	場所名
表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土 心土	表土	表土 心土	區別
褐	淡灰黒褐	同 褐	同 褐	灰 褐	同 黒 褐	土色(乾)
三七	六六	三三	三三	六六	六六	土重(百cc)
九七	二六	一〇九	九二	二八	九六	密
一、七 一、六	二、五 一、一	二、〇 七、〇	六、八 七、〇	五、三	八、二 二、二	礫
三三	九二	一九	三七	一九	三七	砂
四〇	七、五	五五	四〇	三三	四四	細砂
二七	二、五	二四	三三	四四	三五	粘土
壤砂	同 壤砂	同 壤砂	壤砂	壤土	壤土	摘要
稍強酸	酸性	酸性	強酸性	酸性	酸性	反應
	二、五	二、五	二、七		四、八	腐植全酸
	二、四	二、一	六、〇		一、八	全窒素
	五、二	四、四	五、五		五、三	

利根郡 白澤村 土壤分析成績

	14	19	15	18	23	20	10
佐波郡	阿彌大寺	柴今井	阿彌大寺西田	柴柴崎	堀口八反田	堀口城西	山王道前田
東村	試驗地	(田)	(田)	(田)	(田)	(田)	(田)
土壤分析成績	表土 心土 灰	表土 心土 褐	表土 心土 赤褐	表土 心土 黑褐	表土 心土 褐	表土 心土 同	表土 心土 褐
	夫	夫	亩	八	夫	六	六
	九	一〇七	一〇一	一〇〇	九	九	九
	〇、六	〇、五	〇、九	〇、〇	〇、三	〇、六	〇、二
	二七	二六	一九	二七	五三	一六	三三
	四	四	五	五	三	三	四
	六	二七	二六	二九	六	五	二七
	砂壤	砂壤	砂壤	砂壤	埴土	埴壤	砂壤
	稍強酸	中性	酸性	微酸性	強酸	微酸	微酸
	三、〇					一、四	二、四
	一、二					〇、七	一、二
	五					三、六	四

	2	15	13	8	12	3	區號
佐波郡	基塚中田	生枝屋地川	高平根岸	上古語父諏訪	高平一本木	下古語父新田	場所名
名和村	(田)	(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	區別
土壤分析成績	表土 心土 褐	表土 心土 黑褐	表土 心土 同	表土 心土 灰褐	表土 心土 帶黑褐	表土 心土 黑褐	土色(乾)
	七	五	六	六	八	六	土重(百cc)
	三	一〇三	八七	七	一〇〇	六	密
	〇	一、〇	六	七、〇	六、五	三、〇	礫
	五、五	五〇	四	五	五	七	砂成
	五	二六	五〇	二五	二	一九	細砂
	五	二〇	三	七	三	九	粘土
	五	二〇	三	七	三	九	粘土
	埴壤	砂壤	同	砂壤	砂壤	砂土	摘要
	酸性	弱酸	酸性	酸性	酸性	酸性	反應
	三、〇	〇、九			三、〇		腐植全酸
	一、五	一、四			一、二		全窒
	四〇	三、六			六		素

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百cc)	粗	密	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植度	全酸	全窒素
5	國定北谷替戸(田)	表土	黑褐	八五.五	一三.五	〇.一	二七	三三	三六	二六	砂壤	稍強酸	〇.〇	〇.〇	〇.〇
4	國定大久保(田)	表土	黑褐	一〇六	一〇.六	〇.二	三三	三三	三九	二九	壤土	稍強酸性	三.五	〇.六	〇.四
1	田部井竹鼻(田)	表土	灰褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二四	二二	四四	三三	砂壤	稍強酸	三.五	〇.九	〇.四
6	東小保方赤坂(田)	表土	黑灰褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	砂壤	強酸	二.三	一.二	〇.六
8	東小保方矢中(田)	表土	黑味褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	砂壤	微酸	〇.〇	〇.〇	〇.〇
9	東小保方小林(田)	表土	灰褐	一〇六	一〇.六	〇.一	一九	一八	四三	三五	堆壤	弱酸	三.三	〇.六	〇.三
12	東小保方大道下(田)	表土	黑灰褐	一〇六	一〇.六	〇.一	一九	一七	四三	三五	堆壤	弱酸	〇.〇	〇.〇	〇.〇

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百cc)	粗	密	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植度	全酸	全窒素
14	東小保方纏(田)	表土	帶青灰黑	九.九	〇.七	二	二	二	五	二六	砂土	中性	〇.〇	〇.〇	〇.〇
10	東小保方五反田(田)	表土	灰	一〇〇	〇.一	一三	一八	四四	四四	二六	壤土	弱酸	〇.〇	〇.〇	〇.〇
16	國定西前地(畑)	表土	帶灰褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	砂土	弱酸	二.〇	〇.六	〇.四
32	東小保方平井南(畑)	表土	淡黃褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	砂土	弱酸	三.四	一.二	〇.六
29	東小保方新井(畑)	表土	淡黃褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	壤砂	稍強酸	〇.〇	〇.〇	〇.〇
2	反町相田(田)	表土	黑褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	壤土	微鹽	一.四	〇.〇	〇.三
3	反町相田西(田)	表土	淡黃褐	一〇六	一〇.六	〇.一	二二	二二	四四	三三	壤土	微鹽	〇.〇	〇.〇	〇.〇

新田郡 生品村 土壤分析成績

新田郡 尾島町 土壤分析成績

22	24	23	37	25	20	19
市野井赤城 (畑)	市村宿通 (畑)	市野井原 (畑)	村田入谷 (畑)	小金井中里 (畑)	反町櫻井 (畑)	村田村田東 (田)
表土 赤褐	表土 赤褐	表土 赤褐	表土 赤褐	表土 灰黃	表土 赤褐	表土 赤褐
心土 赤褐	心土 赤褐	心土 赤褐	心土 赤褐	心土 灰黃	心土 赤褐	心土 赤褐
八六	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇六	一〇八
二七	三三	三三	三三	三三	二六	一九
一一	一一	一一	一一	一一	一一	〇、一
二九	二六	二七	二六	二三	三〇	一〇
五九	六五	四九	六二	四九	四四	四六
二〇	七九	八七	二六	二四	二六	三三
壤砂	同	同	同	壤砂	壤砂	壤土
酸性	稍強酸	弱酸	酸性	微酸	弱酸	微鹽
一一	一一	二、五	一一	三、二	一一	一一
一一	一一	一、一〇、四三	一一	〇、九〇、五〇	一一	一一

13	12	15	9	8	6	5	區號
小金井田中 (田)	小金井槍花 (田)	村田香領東 (田)	市井通木 (田)	市井辨天 (田)	市井梅ノ木 (田)	市井堤中 (田)	區號
表土 赤褐	表土 灰褐	表土 灰黃	表土 黃褐	表土 褐	表土 灰	表土 黑褐	區別
心土 赤褐	心土 灰褐	心土 灰黃	心土 黃褐	心土 褐	心土 灰	心土 黑褐	土色(乾)
八四	八九	八七	六六	六六	七三	九二	土重(百cc)
一九	二三	二三	五五	一〇五	九	二六	密
〇、一	〇、三	〇、一	〇、一	〇、三	〇	〇、二	礫
八三	八四	三三	二七	一九	七	二五	砂
四〇	五八	五七	五〇	五五	四	四	細砂
四七	三六	二九	三三	三三	五	三	粘土
壤土	壤土	砂壤	壤土	壤土	壤土	壤土	摘要
弱酸	弱微酸	弱鹽	弱酸	微鹽		微鹽	反應
二、〇	一一	〇、七	一一	三、五	一一	一一	腐植全度
〇、六〇、五〇	一一	基弱鹽	一一	一、二〇、六四	一一	一一	全酸全窒

1	19	26	29	31	22	21
吉澤唐澤東	尾島裏組	岩松本郷	備前島蛇羅目木	押切東川原	堀口駒形	岩試松千歳
(田)	(畑)	(畑)	(田)	(畑)	(畑)	(畑)
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土
心土	心土	心土	心土	心土	心土	心土
同	同	同	同	同	同	同
灰	灰	灰	灰	灰	灰	灰
褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐
一八〇	一〇〇	一〇〇	一七	一七	一九	一七
一一〇	一〇〇	一〇〇	一三	一三	一三	一三
〇、一五	一	一	一	二、一五	〇、一	一
二九	二四	二七	三三	三〇	二三	二七
四	五	五	六	五	五	六
二五	三	三	二、七	三	三	二、七
同	同	同	同	同	同	同
砂壤	砂土	砂壤	砂土	砂壤	砂壤	砂壤
弱酸性	弱酸性	弱酸性	弱酸性	弱酸性	弱酸性	弱酸性
一	一	二、〇	一、二	一	一	七、二
一	一	一、一〇、一五	一、〇六、〇、三五	一	一	一、一八、〇、六二
一	一	一	一	一	一	一

山田郡 毛里田村 土壤分析成績

17	13	10	3	4	7	16	區號
堀口	前小屋	阿久津	大館新田	安養寺北原	龜岡輕濱	龜岡本村	場所名
(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	(畑)	區別
表土	表土	表土	表土	表土	表土	表土	土色(乾)
心土	心土	心土	心土	心土	心土	心土	粗
同	同	同	同	同	同	同	密
灰	灰	灰	灰	灰	灰	灰	砂
褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	細砂
一八四	一〇〇	一五	一四	一四	一〇七	一四、五	%
一〇七	一三〇	一八	一三	一三	一四〇	一〇七、五	粘土
一	一	一	一	一	一	一	摘要
一〇、七	一、四	一、四	六、七	二、四	三、三	七、九	反應
九、五	九、五	九、八	六、六	五、五	三、五	七、九	腐植
三、六	三、二	三、八	九、六	九、三	八、〇	六、四	度
砂壤	砂土	同	同	同	同	砂壤	全酸
弱酸性	酸性	弱酸性	稍強酸	弱酸性	酸性	弱酸性	全窒
一	一	一	一	一、五	一	一	素
一	一	一	一	一、〇六、〇、二四	一	一、〇六、〇、二四	
一	一	一	一	一	一	一	

124	123	5	3	2	2	18	13
冲之郷 三双作 (田)	冲ノ郷 二ノ坪 (田)	原宿 下明 (畑)	矢田堀 東今泉 (畑)	下只上 向矢部 (畑)	下只上 新島 (畑)	市場 杉ノ下 (田)	只上 清水地 (田)
表土 褐 心土 黒味褐	表土 帯灰褐 心土 同	表土 褐	表土 帯黒灰褐 心土 褐	表土 赤褐 心土 褐	表土 褐	表土 黒灰 心土 灰褐	表土 灰 心土 灰
七	七	101	八五	八五	七五	六	三
一三	二二	140	二二	二四	二二	八二	八一
〇、三	〇、二					〇、五、四	二、〇
三	二	二七	二四 一九	二七 二七	二七	二四 二七	二 一九
八三 六一	八三 六一	六	六 五九	四 五三	四	五 五二	四 四六
三 一七	三 一七	九	三 三	八 二	三 七	三 三	三 三
壤砂	壤砂	砂土	砂土 壤砂	壤砂	壤土	砂壤	砂壤
弱酸性	同 弱酸性	稍強酸	酸性	弱酸性	酸性	微酸性	微鹽
一、五	一、三			二、二		二、三	
	一、二〇、三六			一、五〇、四七		一、八〇、五三	

山田郡 休泊村 土壤分析成績

11	4	5	9	6	8	3	區號
只上 水鳥場 (田)	丸山 宮上	丸山 宿東 (田)	東今泉 鹿島 (田)	矢田堀 前田 (田)	古氷 石倉 (田)	吉澤 白萩原 (田)	場所名
表土 灰 心土 礫	表土 灰	表土 灰 心土 礫	表土 淡灰 心土 褐	表土 灰 心土 褐	表土 灰 心土 褐	表土 灰 心土 褐	區別
七	六	六	八	六	七	八	土色(乾)
九	八	八	一〇八	九	一〇九	九	土重(百cc)
〇、八	三、三	一、〇	二、〇	一、〇	〇、八	〇、六	組
三 八	三	二 五	三 四	二 五	二 五	二 四	砂
四 四	五 九	四 九	五 五	五 五	三 七	五 五	細砂
四 四	六	七	七	三	五	三	粘土
壤土	壤土	壤土	同 壤土	同 砂壤	同 壤土	同 壤土	摘要
微酸性	微鹽	微酸性	弱酸性	同 弱酸性	同 弱酸性	中性	反應
一、二			二、四		〇、五	〇、七	腐植全酸
〇、九〇、四六			一、五〇、四〇		一、八〇、三五	〇、二〇、六三	全窒素

13	1	3	131	地驗試	地驗試	352
上小泉 (田) 五反田	上小泉 (田) 後	上小泉 (田) 柳町	茂木 (田) 五反田	龍舞 (畑) 久保	水龍 (田) 舞小學校	龍舞 (畑) 瓜生
表土 心土 灰	表土 心土 灰	表土 心土 褐	表土 心土 褐	表土 心土 褐	表土 心土 褐	表土 心土 褐
灰	灰	灰	帶灰 褐	同	同	帶赤 褐
七	七	六	七	七	七	六
一〇二	九	九	九	三	二	三
〇、九	三、〇	一、〇	〇、六	〇、三	〇、一	〇、一
八三	八五	一〇三	一四七	三七〇	二〇三	三七〇
四三	四六	三六	三六	四〇	五五	四〇
四三	三三	四〇	三七	三三	二二	二四
壤土	砂壤	埴壤	砂壤	砂壤	砂壤	同砂壤
弱酸	中性	微酸	稍弱酸	稍酸性	弱酸性	微酸性
一、六		一、四	一、二	三、五	一、五	三、〇
一、三		一、二	一、八	一、二	〇、四	〇、六
六〇		四	五九	三三	四二	四五

邑樂郡 小泉町 土壤分析成績

351	130	129	128	127	126	125	區號
龍舞 (畑) 中谷	龍舞 (田) 谷廻	龍舞 (田) 二ノ堰	龍舞 (田) 小町田	龍舞 (田) 榎戸	龍舞 (田) 中西田	龍舞 (田) 安房田	場所名
表土 心土 帶褐赤	表土 心土 赤褐	表土 心土 褐	表土 心土 帶赤褐	表土 心土 黑味褐	表土 心土 赤味褐	表土 心土 黑味褐	區別
帶褐赤	赤褐	帶灰褐	帶赤褐	黑味褐	赤味褐	黑味褐	土色(乾)
八	六	七	七	六	七	七	土重(百%)
二七	九	二六	二六	二六	二二	一九	粗密
〇、三	〇、二	〇、二		〇、四	一、	一、	礫組
三七	二〇	三三	二七	八	二〇	三三	砂成
四四	五九	五五	六七	六七	五五	五五	細砂
二二	二二	二四	二二	二二	二二	二二	粘土
同砂壤	砂壤	同壤砂	砂壤	同壤砂	砂壤	壤砂	摘要
同酸性	同稍強酸	同弱酸	酸稍酸性	酸弱酸性	弱酸性	微酸性	反應
一、六	三、七	一、二	二、八	一、六	一、二	一、三	腐植度
一、五	二、二	一、二		〇、九	中性	〇、八	全酸
四	六〇	四				三	全窒素

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百%)	粗	密	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植質	全酸度	全窒素
1	上小泉 五反田 (田)	表土	淡褐	五九	七	〇	〇	六	四	三	壤土	中性	—	—	—
11	上小泉 万願寺 (田)	表土	帶黑褐	七	〇	〇	三	三	五	二	壤土	微酸	—	—	—
10	上小泉 五反田 (田)	表土	灰褐	八	〇	一	八	五	二	二	砂壤	中性	—	—	—
18	下小泉 長沼 (田)	表土	灰	六	〇	七	八	四	四	四	壤土	弱酸	—	—	—
7	觀音 (田)	表土	黑灰	六	〇	〇	四	三	六	六	壤土	中性	—	—	—
4	復倍 (田)	表土	蒼	六	〇	〇	二	四	五	五	壤土	弱酸	—	—	—
8	小原 (田)	表土	蒼	七	〇	〇	二	五	三	三	壤土	中性	—	—	—

邑樂郡 大島町 土壤分析成績

區號	場所名	區別	土色(乾)	土重(百%)	粗	密	礫	砂	細砂	粘土	摘要	反應	腐植質	全酸度	全窒素
14	上八ツ島 (田)	表土	灰褐	六	〇	一	二	五	五	七	砂壤	中性	—	—	—
17	臺ノ田 (田)	表土	灰	七	〇	〇	八	三	五	五	壤土	弱酸	〇・八	一・一〇	〇・七
19	寄居 (田)	表土	灰	八	〇	一	五	三	九	五	壤土	中性	—	—	—
20	根無 (田)	表土	濃蒼	八	〇	〇	三	二	六	六	同壤土	中性	—	—	—
25	七田切 (畑)	表土	蒼	八	〇	一	九	五	四	四	壤土	微酸	—	—	—

土壤分析成績 其之二 精密分析の續

前項に簡易分析と精密分析の一部を記載したり、然れども欄の關係上別記する必要ありたる故茲にその殘餘を載せたり、從て場所名等は簡畧にしたれば、前項を參照して詳細を知るべし。
 可吸態養分の含量は作物根に吸収し得られる形態の養分にして土壤の肥瘠判定の材料となる。
 吸収力は土壤百瓦が一晝夜間に吸収し得べき肥料分の量を表したるミリグラム數にして其大小は肥料の保蓄

勢多郡 横野村 土壤分析成績

場所	可吸態		窒素	吸收力	洗	分	析
	磷酸	加里					
溝呂木 天笠下	0.014	0.010	0.375	407	4.1	3.1	1.1
勝保澤 西友心	0.022	0.009	0.454	334	1.3	1.1	0.3
宮田 中島	0.033	0.013	0.395	244	2.1	1.1	0.3
北橋分 小室	0.039	0.040	0.369	244	2.1	1.1	0.3
見立 西原	0.100	0.077	0.466	226	2.5	1.1	0.3

群馬郡 古卷村 土壤分析成績

八木原 芝付	0.010	0.005	0.131	503	7.7	0.3	1.1
八木原 孫田	0.031	0.017	0.535	508	3.9	0.3	1.1
有馬 中井	0.010	0.001	0.697	468	7.9	0.3	1.1
半田 東田	0.014	0.011	0.841	480	1.5	0.3	1.1
八木原 久保	0.057	0.018	0.700	200	7.6	0.2	1.1
半田 中原	0.040	0.005	0.333	218	5.0	0.2	1.1
半田 大島	0.064	0.034	0.290	158	2.2	0.1	1.1

群馬郡 元惣社村 土壤分析成績

大友村 前	0.028	0.018	0.424	333	3.2	0.3	1.1
元惣社 芦田	0.041	0.018	0.382	443	4.0	0.3	1.1
元惣社 寺田	0.081	0.033	0.408	464	6.2	0.3	1.1
元惣社 彌勒	0.026	0.010	0.354	274	7.5	0.3	1.1
元惣社 草作	0.020	0.036	0.459	229	7.4	0.3	1.1
元惣社 草作	0.030	0.018	0.455	490	4.6	0.3	1.1
元惣社 落合	0.060	0.011	0.455	193	4.5	0.2	1.1

群馬郡 長野村 土壤分析成績

南新波 大道上	0.029	0.008	0.366	228	6.4	0.3	1.1
西新波 沖	0.014	0.001	0.398	220	7.0	0.3	1.1
菊池 上野前	0.015	0.011	0.302	162	4.8	0.3	1.1
濱川 館	0.013	0.010	0.302	223	7.0	0.3	1.1
濱川 芦田貝戸	0.022	0.018	0.344	192	5.9	0.3	1.1
南新波 大道上	0.164	0.167	0.334	328	7.0	0.3	1.1

群馬郡 倉賀野町 土壤分析成績

下稻荷 前	0.006	0.000	0.582	360	6.4	0.3	1.1
大應 寺	0.033	0.017	0.504	231	4.0	0.3	1.1

場所	多野郡 神流村 土壤分析成績		可吸態 磷酸加里 %	吸收力 窒素 磷酸	洗	%
	0.5-1.0	1.0-1.5				
岡之郷 中道	0.054	0.060	0.390	3.9	0.3	1.0
上月塚 正上寺	0.002	0.008	0.700	1.4	0.4	1.5
上月塚 飛地	0.008	0.009	0.299	7.2	0.3	0.3
岡之郷 内川原	0.007	0.023	0.335	7.3	0.3	0.3
多野郡 吉井町	土壤分析成績					
長根 宿西	0.005	0.019	0.666	4.1	0.3	1.3
矢田 柏田	0.003	0.003	0.301	4.9	0.3	1.1
長根 宿西	0.005	0.019	0.666	4.1	0.3	1.3
試根 宿西	0.003	0.003	0.301	4.9	0.3	1.1
試池 地	0.003	0.010	0.300	4.9	0.3	1.1
試井 五反田	0.003	0.010	0.300	4.9	0.3	1.1
試池 地	0.003	0.010	0.300	4.9	0.3	1.1
長根 東場脇	0.004	0.001	0.351	4.5	0.3	1.1
小棚 堰場	0.004	0.001	0.351	4.5	0.3	1.1
碓氷郡 八幡村	土壤分析成績					
藤塚 尼街道	0.002	0.008	0.733	5.3	0.3	1.4
鼻高 天神前	0.002	0.002	0.425	4.7	0.3	1.2
劍崎 仲沖	0.002	0.003	0.668	2.9	0.3	1.2
劍崎 鳴熊	0.002	0.005	0.379	3.7	0.3	1.2
八幡 並木	0.003	0.007	0.672	2.9	0.3	1.4

場所	碓氷郡 原市町 土壤分析成績		可吸態 磷酸加里 %	吸收力 窒素 磷酸	洗	%
	0.5-1.0	1.0-1.5				
原市 北冲	0.013	0.018	0.375	2.9	0.3	1.1
原市 下樋越	0.003	0.006	0.372	6.6	0.3	1.1
原市 宮内南	0.001	0.003	0.299	7.4	0.3	1.1
原市 下町南	0.004	0.003	0.401	4.7	0.3	1.1
杉名 薬師	0.004	0.005	0.411	9.5	0.3	1.1
嶺西	0.004	0.006	0.411	9.0	0.3	1.1
郷原 小平	0.003	0.004	0.555	9.3	0.3	1.1
郷原 德島	0.015	0.005	0.598	9.5	0.3	1.1
郷原 長窪	0.008	0.007	0.304	1.0	0.3	1.1
築瀬 上久保	0.006	0.007	0.306	9.5	0.3	1.1
碓氷郡 原市町	土壤分析成績					
藤塚 尼街道	0.002	0.008	0.733	5.3	0.3	1.4
鼻高 天神前	0.002	0.002	0.425	4.7	0.3	1.2
劍崎 仲沖	0.002	0.003	0.668	2.9	0.3	1.2
劍崎 鳴熊	0.002	0.005	0.379	3.7	0.3	1.2
八幡 並木	0.003	0.007	0.672	2.9	0.3	1.4

場所	可吸態%		吸收力	洗滌分析	%
	磷酸	加里			
原町長町	0.017	0.010	六七九	二	二
川戸田邊	0.017	0.018	六六三	二	二
長町試驗地	0.016	0.013	五七三	二	二
上町野	0.017	0.011	五七三	二	二
原町館	0.017	0.015	二六八	一	一
川戸園部	0.011	0.033	六二六	一	一
川戸並木	0.015	0.033	五二八	一	一
金井市敷	0.015	0.046	五二八	一	一
原町稻荷城	0.016	0.038	五九二	一	一
吾妻郡 長野原町	0.003	0.009	四六八	一	一
應桑新田	0.005	0.023	三二五	一	一
大津坪井	0.008	0.026	三八七	一	一
林中原	0.008	0.014	五七三	一	一
長野原町一木松	0.008	0.014	五七三	一	一
長野原町長ノ原	0.004	0.014	二二〇	一	一
利根郡 薄根村	0.018	0.018	三五三	一	一
碓田薄根	0.018	0.018	三五三	一	一
恩田上川原	0.015	0.048	五二八	一	一
井土上石神	0.011	0.044	四七七	一	一
下沼田前原	0.016	0.041	四九二	一	一
恩田五反畑	0.008	0.030	五〇一	一	一
善桂寺前原	痕跡	0.035	三九五	一	一
町田土塔原	0.010	痕跡	三四三	一	一
町田並木	痕跡	0.035	四八六	一	一

利根郡

薄根村

土壤分析成績

場所	可吸態%		吸收力	洗滌分析	%
	磷酸	加里			
上古語父西原	0.018	0.015	二五七	二	二
高平原川	0.010	0.006	三〇八	二	二
尾合清水	0.014	0.014	七四二	二	二
下古語父蓬田	0.015	0.014	二五七	二	二
高平一本木	0.015	0.013	二五七	二	二
生枝屋地川	0.015	0.011	三二六	二	二
平出清水	0.013	0.041	三九三	二	二
利根郡 白澤村	0.018	0.018	三五三	二	二
碓田薄根	0.018	0.018	三五三	二	二
恩田上川原	0.015	0.048	五二八	二	二
井土上石神	0.011	0.044	四七七	二	二
下沼田前原	0.016	0.041	四九二	二	二
恩田五反畑	0.008	0.030	五〇一	二	二
善桂寺前原	痕跡	0.035	三九五	二	二
町田土塔原	0.010	痕跡	三四三	二	二
町田並木	痕跡	0.035	四八六	二	二

利根郡

白澤村

土壤分析成績

佐波郡

名和村

土壤分析成績

場所	可吸態%		石灰	吸收力		洗		分	析	%
	磷酸	加里		窒素	磷酸	四、三、一	二、一、一			
阿彌大寺	0.040	0.031	0.480	4.5	9.3	0.7	3.3	9.9	1.7	0.51
堀口城西	0.044	0.019	0.750	2.0	9.3	0.3	1.0	8.6	1.3	0.51
山王道前田	0.025	0.011	0.590	3.9	1.3	1.0	3.6	8.6	1.6	0.51
韭塚中田	0.043	0.024	0.430	8.5	9.3	0.3	1.7	5.3	9.9	0.51

佐波郡 東村 土壤分析成績

場所	可吸態%	石灰	吸收力	洗	分	析	%
國定大久保	0.033	0.010	0.285	4.9	1.6	0.3	0.3
田部井竹鼻	0.006	0.015	0.330	3.7	1.3	0.3	0.3
東小保方赤坂	0.016	0.013	0.663	6.8	2.2	0.3	0.3
東小保方小林	痕跡	0.026	0.258	6.7	1.4	0.3	0.3
國定西前地	0.015	0.013	0.541	5.5	1.8	0.3	0.3
西小保方試驗地	0.001	0.003	0.541	5.4	1.7	0.3	0.3
東小保方試驗地	0.001	0.006	0.381	4.7	1.3	0.3	0.3

新田郡 生品村 土壤分析成績

場所	可吸態%	石灰	吸收力	洗	分	析	%
反町相田	痕跡	0.034	1.310	6.6	1.4	0.3	0.3
市ノ井辨天	0.003	0.051	0.950	6.9	2.9	0.3	0.3

新田郡 尾島町 土壤分析成績

場所	可吸態%	石灰	吸收力	洗	分	析	%
龜岡本村	0.010	0.056	1.060	4.0	1.7	0.3	0.3
安養寺北原	0.006	0.035	0.465	1.8	1.8	0.3	0.3
阿久津	0.013	0.044	0.353	5.5	1.4	0.3	0.3
岩松千歳	0.001	0.042	0.410	4.7	1.7	0.3	0.3
岩松本郷	0.011	0.054	0.756	1.6	1.8	0.3	0.3
備前嶋蛇羅目木	0.011	0.024	0.627	2.4	1.5	0.3	0.3

山田郡 毛里田村 土壤分析成績

場所	可吸態%	石灰	吸收力	洗	分	析	%
吉澤白萩原	痕跡	0.014	1.960	3.0	2.0	0.3	0.3
古水石倉	0.024	0.033	0.375	3.0	2.0	0.3	0.3
東今泉鹿島	0.031	0.017	0.788	4.6	1.7	0.3	0.3
只上水鳥場	0.035	0.011	1.178	4.6	5.8	0.3	0.3

場所	可吸態		石灰	窒素	吸收力	洗	濾	分	析	%
	磷酸	加里								
市場杉ノ下	0.003	0.010	0.599	4.10	12.45	0.3	4	1.1	0.5	1.0
下只上 向矢部	0.010	0.018	0.207	4.50	9.80	0.3	5	1.1	0.5	1.0
只上清水試験地	0.010	0.015	0.522	2.07	6.3	0.3	3	1.1	0.5	1.0
龍舞中谷	痕跡	痕跡	0.390	1.73	4.85	0.3	1	0.5	1.0	1.0
二ノ堰	同	0.007	1.960	2.24	6.23	0.3	2	0.5	1.0	1.0
安房田	同	0.013	3.070	2.00	7.42	0.3	2	0.5	1.0	1.0
茂廻木	同	痕跡	2.520	2.29	6.23	0.3	2	0.5	1.0	1.0
谷廻整理地	0.003	0.001	0.376	2.30	7.42	0.3	2	0.5	1.0	1.0
沖之郷二ノ坪	痕跡	痕跡	1.940	2.24	7.42	0.3	2	0.5	1.0	1.0
龍舞小學校	同	同	1.090	2.28	6.23	0.3	2	0.5	1.0	1.0
龍舞瓜生	同	同	0.330	2.37	6.23	0.3	2	0.5	1.0	1.0
龍舞青年會	同	同	0.300	2.24	7.42	0.3	2	0.5	1.0	1.0
上小泉 万願寺	0.005	0.010	0.477	3.60	15.00	0.4	3	0.5	1.0	1.0
上小泉 五反田	0.004	0.009	0.524	3.72	15.30	0.3	4	0.5	1.0	1.0
下小泉 長沼	0.003	0.006	0.733	5.65	16.30	0.3	1	0.5	1.0	1.0
上小泉 松原	0.009	0.014	0.472	4.22	15.00	0.3	2	0.5	1.0	1.0
上小泉 高原	痕跡	0.016	0.314	4.33	19.2	0.5	2	0.5	1.0	1.0
下小泉 試験地	0.005	痕跡	0.525	4.77	15.70	0.4	3	0.5	1.0	1.0
上小泉 柳町	0.009	0.010	0.385	2.04	15.52	0.2	4	0.5	1.0	1.0

邑樂郡 小泉町 土壤分析成績

場所	可吸態		石灰	窒素	吸收力	洗	濾	分	析	%
	磷酸	加里								
復倍田	0.019	0.033	0.549	3.34	6.82	0.3	1	0.5	1.0	1.0
臺ノ切田	0.008	0.016	0.935	3.00	11.2	0.3	1	0.5	1.0	1.0
七音東	0.017	0.019	0.677	2.27	6.82	0.3	5	0.5	1.0	1.0
親無	0.007	0.019	0.101	2.52	9.80	0.3	3	0.5	1.0	1.0
根無	0.017	0.003	1.110	3.50	11.30	0.3	1	0.5	1.0	1.0
臺ノ田	0.012	0.033	1.140	3.30	11.2	0.3	1	0.5	1.0	1.0
小草原	0.006	0.026	0.922	3.24	6.82	0.3	1	0.5	1.0	1.0
岡里前	0.039	0.008	0.101	2.52	9.80	0.3	1	0.5	1.0	1.0
邑樂郡 大島村										
七壤分析成績										
下小泉 長沼	0.003	0.006	0.733	5.65	16.30	0.3	1	0.5	1.0	1.0
上小泉 松原	0.009	0.014	0.472	4.22	15.00	0.3	2	0.5	1.0	1.0
上小泉 高原	痕跡	0.016	0.314	4.33	19.2	0.5	2	0.5	1.0	1.0
下小泉 試験地	0.005	痕跡	0.525	4.77	15.70	0.4	3	0.5	1.0	1.0
上小泉 柳町	0.009	0.010	0.385	2.04	15.52	0.2	4	0.5	1.0	1.0

邑樂郡 大島村 七壤分析成績

第八 栽培試験成績

一、場所、施肥標準調査施行町村中耕地の畧代表と認められ且適當なる擔當者の得られたる所に於て栽培

試験を現地依託制度にて施行す其箇所数は一町村當場經營として一ヶ所、外に郡町村農會經營にて設置せる場合には肥料のみを給して當場と共同經營の形式とし尙二ヶ所以上の設置は農會の自營とせしめたり、地目の種類は其町村内耕地の種類により多きものに就き施行せり。

二、方法、之に關しては既に其條下に詳説したるを以て省畧す。

三、調査、試験區の内周圍を番外として除き其内部の作物に就て稈重、皮殼重及容量を調査し尙稻は籾を送附せしめて村内にて粳磨を行ひ玄米の容重を求め以上を貫及石單位として記載せり。

四、收量、收量は三年平均法によりたるも著しき不作の年ある場合には村内にて施行せる豊凶考照試験成績の率に照して訂正したり、又稍少き收量にありては其儘平均に加へたるが故に斯かる場合には全体の收量遞下して一般作よりも收量少きが如き外觀を呈せり、管理手入又は病虫被害により特に收量を減じたる形跡の判然たるものに就ては平均を除外したり。

五、跡作の關係、表裏兩作栽培なるが故に兩者の相關的現象に對しては其誤差を訂正すること絶対に不能なれば成績を應用する場合に此点に注意を拂ふを要す。例へば

(イ) 麥類は磷酸の要求大なるが故に無磷酸區の收量甚だ少く從て此際窒素及加里の多量は未吸收の状態にて土壤中に残る、其跡に水陸稻を作る時は之等は磷酸の要求量少き故に残存養分の吸収により著しく收量を増加す。

(ロ) 麥類の成育可良なる場合に之に作入する陸稻は生育不良なり、故に無肥料等の陸稻が三要素のものより比較的優良なる場合ありて公正の結果を得難し。

(ハ) 水田にては灌漑水により可成多量の養分を供給せらるゝが故に施肥の一部分は残留す、跡作の麥は其影響によりて無要素と雖も可成良好の成績を擧ぐる場合尠からず。

(ニ) 腐植質土及之に類似する土質に於ては一要素の過度の要求が他要素の肥効に支障を及ぼし無要素の成育

を異常ならしむる場合あり特に無肥料の如きは殆ど收穫皆無の状態を呈するも之れ正當の結果にあらず

六、歩合、子實容量より收量の割合を求め三要素區を完全と見做し其收量を一〇〇として他區の割合を求め掲出せり、其多少は或要素の欠乏により如何に減收するかを示す、減收歩合とは收量歩合を基礎とし三要素の歩合より各無要素の歩合を減じたる差にして大体其大小は其要素の必要度を表はすと見て甚だしき誤りなし、但し注意すべきは之れ容量より見たるものにて重量に就て無關係なれば之を以て直ちに正確のものとなす能はず。

七、要肥率、容量に就て見たる率にして前記減收歩合の窒素のものを一、〇として磷酸及加里の率を算出せるものなり但し之が算出に際しては磷酸、及加里は端数は切り上げ大体數を示したり、此率は子實の容量に關してのみ論せるが故に正確なる三要素の配合率を表したるものにあらず其大体に過ぎず、尙之の割合は豫定收量を三要素收量位に採りたる場合の率なれば豫定の高下により勿論多少の變更を要す。

八、天然供給、各無要素區の稈重及子實重と其分析成分との相乘より求めたる量にして一反歩より作物が奪取せし成分量、換言すれば土壤中の天然供給養分の量を示せるものなり但し其量は天候及栽培法、作物の種類により異なるは勿論なれば絶対的の數字にあらず。

此量を基礎とし、豫定收量必要分より此天然供給分を差引きたる殘數は不足量なるが故に之を更に吸收量にて加減し補給養分を求め施肥量とせざるべからず、其計算法により算出したる各豫定收量に對する施用成分量は附圖に載せたり。

九、肥効、三要素の効果の大小を大体示せるもの、

一〇、施肥増收、三要素區收量より無肥料區收量を減じたる殘數なり、之を更に三要素區の施肥量三貫にて除し成分一貫對收量として擧げたり、其大小は肥料効果の多少を表す。

一一、三要素施用割合、(ハ)に述べたる方法即ち天然供給養分を豫定收量より減じ、殘餘を吸收率にて加減

按配せる施肥分量の割合にして、此割合は豫定収量の大小により異なるも記載のものは三要素區収量よりも約二割増を豫定収量として施用割合を擧げたり、從て之を前記要肥率に比すれば幾分の相違あり蓋し要肥率は容量より求め施用割合は重量より求め然も豫定収量に差異あるが故なり、實際應用の場合には兩者を參照し大体此施用割合に據れば配合の良果を收め得ん、配合割合の詳細は附圖を參照すべし。

一二、應用試驗、は無機にて窒素を反當二貫及三貫施したるものと有機にて土性に應じ畧其中間を上下して施したるもの、三區を設けたり施肥量欄は其施肥中に含まるる三要素の奏効量を貫數にて表したるもの、在來區、元來在來區は比較の爲めに設けたるものなるが故に其地方に於ける中位の施肥量なるべき筈なるも、此試驗に於ては擔當者の在來法を採用せり、擔當者は其地方に於ける精農家なれば從て在來法の如きも殆ど改良法と選む處なき程度なる故寧ろ應用區の一と見るを至當とする程なり、されば之と應用區を經濟的に比較するも其收益は僅少なり。

一四、對無肥増収量、此欄は各區収量より無肥料收穫を減じたる殘數にて其施用肥料の爲めに増収したる量を示せるものなり、從て収量多くとも地力高く無肥料収量多き場合は此數は少くなるべし。

一五、肥代差引殘石量、肥料と穀價の關係を金圓にて比較すれば相場の変動により一々校正せざるべからざる故同一金圓にて購求し得べき石と肥料成分とを基礎とし對無肥増収量より施用肥料代に相當する穀量を減じて之を表せり其量の多少は肥料に對する純收入（此純收入は農業經營上の純收入とは異なる）を示す尺度なり。

穀と肥料の相場交換割合は次の標準に據れり。

窒素、磷酸、加里、各一貫匁合計價格に相する穀數量

大麥は五斗、小麥は三斗、玄米は一斗五升

從て

應用一區の肥料代對換穀量は 大麥は一石五斗、小麥は九斗、玄米は四斗五升

應用二區の肥料代對換穀量は 大麥は一石、小麥は六斗、玄米は三斗

一六、摘要欄、には絶對収量最大のものに在來法の収量を比較し肥料の配合の改良により如何程増収し得るかを示し、更に施用せる肥料代及無肥収量を各區より控除したる施肥による純増収を求め在來法に對する純益を調査記入せり但し、前述の如く此在來法は從來の方法よりも甚だしく改良せられたるものなれば眞の在來法に對する純増収は更に一層大なるべし。

一七、成績摘要、前述數項を參照し一反歩に施し有利なる肥料成分の分量を三要素に就て記載せるものなり。

一八、成績の全般に亘りて尙詳細に各部分と比較研究すれば種々なる事實を發見すべし例へば稈重に對する子實重の比、粒重と玄米容の比、無機肥は有機肥の效果の比等多々ありて參考となるもの尠からざるも紙面の増加を來たすが故に止むを得ず省察せり。

一九、以上成績は試験地近似の地方にては其儘、土性の異なる地方は原地調査、分析調査等を參照し夫々適當する様に變更し應用するを要す。

二〇、土性別又は地質別に對する三要素の配合割合、通俗的の施肥標準量の記載、ポット成績等に關しては後日の通俗出版により明なるべし。

勢多郡木瀬村

施肥標準栽培試験成績

(反當換算)

試驗地、 大字野中字田中

(田)

擔當者

清

水

及

衛

地質土性、

第四紀新層砂質壤土

試驗年數

大正六——同十年迄

部之驗試用應		別作物 試驗區	部之驗試礎基			別作物 試驗區
麥大〔田〕	稻水〔田〕		(麥白)大麥〔田〕	(愛改)水稲〔田〕	水稲〔田〕	
在來法	應用二	三	三無加磷	三無加磷	三無加磷	
應用一	應用一	二	無窒素	無窒素	無窒素	
應用二	應用二	一	無肥料	無肥料	無肥料	
重	重	重	重	重	重	
容	容	容	容	容	容	
子	子	子	子	子	子	
實	實	實	實	實	實	
量	量	量	量	量	量	
減	減	減	減	減	減	
收	收	收	收	收	收	
量	量	量	量	量	量	
別	別	別	別	別	別	
供	供	供	供	供	供	
給	給	給	給	給	給	
率	率	率	率	率	率	
肥	肥	肥	肥	肥	肥	
效	效	效	效	效	效	
肥	肥	肥	肥	肥	肥	
効	効	効	効	効	効	
要	要	要	要	要	要	
摘	摘	摘	摘	摘	摘	
要	要	要	要	要	要	
(及備考)	(及備考)	(及備考)	(及備考)	(及備考)	(及備考)	

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻... 窒素 2.0 — 2.5 酸 1.5 — 2.0 加里 1.5 — 2.0 麥... 窒素 2.0 — 3.0 酸 1.0 — 2.0 加里 0.5 — 1.5

注。意。窒素に比し磷酸及加里は價格低廉なる故割合を強めて施し窒素の効果を以て完全ならしむるは施肥經濟上採るべき手段なり、尙種々なる豫定收量に對する三要素の配合は附圖施肥標準量表を参照すべし

勢多郡木瀬村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試驗地、大字北井字近戸前 (田) 擔當者 齋藤元 八
地質土性、第四紀新層砂質壤土 試驗年數 大正六—同十年迄

部之驗試礎基		別作物 試驗區	部之驗試礎基			別作物 試驗區
(麥白)大麥〔田〕	(愛改)水稲〔田〕		(麥白)大麥〔田〕	(愛改)水稲〔田〕	水稲〔田〕	
三無加磷	三無加磷	三	三無加磷	三無加磷	三無加磷	
無窒素	無窒素	二	無窒素	無窒素	無窒素	
無肥料	無肥料	一	無肥料	無肥料	無肥料	
重	重	重	重	重	重	
容	容	容	容	容	容	
子	子	子	子	子	子	
實	實	實	實	實	實	
量	量	量	量	量	量	
減	減	減	減	減	減	
收	收	收	收	收	收	
量	量	量	量	量	量	
別	別	別	別	別	別	
供	供	供	供	供	供	
給	給	給	給	給	給	
率	率	率	率	率	率	
肥	肥	肥	肥	肥	肥	
效	效	效	效	效	效	
肥	肥	肥	肥	肥	肥	
効	効	効	効	効	効	
要	要	要	要	要	要	
摘	摘	摘	摘	摘	摘	
要	要	要	要	要	要	

注。意。窒素に對し磷酸、加里は價格低きが故に多施するが安全有効なり、各種豫定收量に對する施肥標準は附圖表に據り檢するを可とす

勢多郡下川淵村 施肥標準栽培試驗成績

試驗地、大字鶴小路字善光路 (田) 擔當者 三輪 嘉治 馬
地質土性、第四紀古層壤質砂土 (田) 試驗年數 大正六——同十年迄

別作物試驗區	重秤	粗量	子實量	歩合	肥料成分			摘
					天然供給率	天然要肥比	肥効	
水稲 [田]	無窒素	八五三	六九二	八〇	—	—	—	施肥増収は一石二斗、成分一貫對收量四斗にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一〇、磷酸〇、六加里〇、五位にて大過なかるべし
無磷酸	九三三	七二一	七六	—	—	—		
無窒素	一〇〇〇	七二一	八〇	—	—	—		
無磷酸	一〇〇〇	七二一	八〇	—	—	—		
三要素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	施肥増収は一石九斗、成分一貫對收量六斗五升にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一〇、磷酸〇、八加里〇、四位とし大過なかるべし
無窒素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	
無磷酸	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	
三要素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	
大麥 [田]	無窒素	三三〇	二二〇	六六	—	—	—	施肥増収は一石九斗、成分一貫對收量六斗五升にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一〇、磷酸〇、八加里〇、四位とし大過なかるべし
無磷酸	三三〇	二二〇	二二〇	六六	—	—	—	
無窒素	三三〇	二二〇	二二〇	六六	—	—	—	
三要素	三三〇	二二〇	二二〇	六六	—	—	—	
白麥 [田]	無窒素	二二〇	一五〇	六八	—	—	—	施肥増収は一石九斗、成分一貫對收量六斗五升にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一〇、磷酸〇、八加里〇、四位とし大過なかるべし
無磷酸	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	—	
無窒素	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	—	
三要素	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	—	

摘 要 (及備考)

部之驗	應用法	重秤	粗量	子實量	歩合	肥料成分	摘
大麥 [田]	應用一	三三〇	二二〇	二二〇	六六	—	收量は應用一區最大にて在來區に比し三斗二升増純増収最多は窒素二貫施用にして在來法に對する純收量は二斗一升、増肥の利甚少し
應用二	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	
應用三	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	
在來法	二二〇	一五〇	一五〇	六八	—	—	

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻 素 2.0 — 2.5 酸 1.0 — 1.5 加里 0.5 — 1.0

注。意。窒素に比し磷酸加里は増施するを安全とす、種々なる豫定收量に對する三要素の配合歩合は附圖標準示圖表を参照すべし。

勢多郡下川淵村 施肥標準栽培試驗成績

試驗地、大字鶴小路字善光路 (田) 擔當者 下川 淵 小學 校
地質土性、第四紀古層壤土 試驗年數 大正六——同十年迄

別作物試驗區	重秤	粗量	子實量	歩合	肥料成分			摘
					天然供給率	天然要肥比	肥効	
水稲 [田]	無窒素	八五三	六九二	八〇	—	—	—	施肥増収は九斗、成分一貫對收量三斗にて施肥効果少なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一〇、磷酸〇、六加里〇、六位にて大過なかるべし
無磷酸	九三三	七二一	七六	—	—	—		
無窒素	一〇〇〇	七二一	八〇	—	—	—		
無磷酸	一〇〇〇	七二一	八〇	—	—	—		
三要素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	施肥増収は九斗、成分一貫對收量三斗にて施肥効果少なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一〇、磷酸〇、六加里〇、六位にて大過なかるべし
無窒素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	
無磷酸	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	
三要素	二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇	—	—	—	

部之驗		
大麥 [田]	無肥料	二七〇、九〇
無窒素	二七〇、九〇	二七〇、九〇
無磷素	二七〇、九〇	二七〇、九〇
無加里	二七〇、九〇	二七〇、九〇
三要素	二七〇、九〇	二七〇、九〇
實收	〇、四〇、七	〇、七〇、八
中	〇、七〇、八	〇、八二、〇
大	〇、八二、〇	〇、九三、〇

備考 大麥生育は第三年目の生育降雨の爲めに不良なり

施肥増収は一石、八斗成分一貫對収量六斗にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一、〇、磷酸〇、八加里〇、六位とし大過なかるべし

部之驗	施用應	別
麥大 [田]	在來法	試驗區
應	用	施用區
應	用	室素
用	一	磷酸
一	二	加里
二	三	形態
三	四	子實
四	五	重量
五	六	容量
六	七	對無
七	八	肥料
八	九	代差
九	十	石
十	十一	摘要
十一	十二	(及備考)

以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻 窒素 2.5 — 3.0 磷酸 1.5 — 2.0 加里 1.0 — 1.5 麥 窒素 2.5 — 3.0 磷酸 1.5 — 2.0 加里 1.5 — 2.0

注 意、窒素に比し磷酸、加里を増施するを安全とす、水田に於ては有機肥の効大なり各豫定収量に對する施肥量は附圖標準施肥表を参照すべし

勢多郡下川淵村 施肥標準栽培試驗成績

試驗地、大字龜里字練引 (畑) 擔當者 羽 鳥 善 三 郎
 地質土性、第四紀古層砂質壤土 試驗年數 大正六——同十年迄

別	部之驗				別
作物	大麥 [畑]	陸稻 [畑]	陸稻 [畑]	陸稻 [畑]	作物
試驗區	三無里	無加磷素	無窒素	無肥料	試驗區
重	二一四	二一六	二二二	二二七	重
容	九三	九三	九三	九三	容
子實	八三	八三	八三	八三	子實
重量	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	重量
容量	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	容量
對無	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	對無
肥料	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	肥料
代差	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	代差
石	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	石
摘要	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	摘要
(及備考)	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	〇、七〇、五	(及備考)

施肥増収は二石、成分一貫對収量二斗八升にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一、〇、磷酸〇、六加里〇、四位とし大過なかるべし (四石豫定割合)

施肥増収は一石、成分一貫對収量三斗三升にて施肥効果少、三要素施用割合は實際上大体窒素一、〇、磷酸〇、五加里〇、四位にて大過なかるべし (豫定二石五斗に對する割合)

試驗地、大字勝澤字勝皆戸
地質土性、火山岩層砂質壤土

擔當者 芳賀 小學校
試驗年數 大正六——同十年迄

別作物	試驗區	重 量		子實量	步合	肥料成分		摘 要
		容 量	子實量			天然供給率	肥効	
水稲 [田]	無肥料	二〇八	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	施肥増収は四斗二升、成分一貫對收量一斗四升にて施肥効果少なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一〇、〇、六加里〇、六位にて大過なかるべし
	無窒素	二〇七	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無磷素	二〇四	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無加里	二〇三	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
水稲 [田]	無肥料	二〇八	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	施肥増収は三石、成分一貫對收量一石にて施肥効果大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一〇、〇、八加里〇、三位とし大過なかるべし
	無窒素	二〇七	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無磷素	二〇四	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無加里	二〇三	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
大麥 [田]	無肥料	—	—	—	—	—	—	本試験地は無肥料及無窒素區の地味佳良なる爲め成績正確を欠けり
	無窒素	—	—	—	—	—	—	
	無磷素	—	—	—	—	—	—	
	無加里	—	—	—	—	—	—	
水稲 [田]	無肥料	—	—	—	—	—	—	本試験地は無肥料區の地味特に佳良なりし爲め成績正確を欠けり増収の効極めて少し
	無窒素	—	—	—	—	—	—	
	無磷素	—	—	—	—	—	—	
	無加里	—	—	—	—	—	—	

摘 要 (及備考)

部 之 驗	應 用 法	子 實 量	步 合	肥料成分	摘 要
大麥 [田]	應用一	二〇八	九二	—	收量は應用一區最大にて在來區に比し一石四斗増純増収最多は窒素三貫施用にして在來法に對する純收量は六斗二升、増肥の利多し
	應用二	二〇七	九二	—	
	應用三	二〇四	九二	—	
	在來法	二〇三	九二	—	

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)
 稻……窒素 1.5 — 2.0 酸 磷 1.0 — 1.5 麥……窒素 2.5 — 3.0 酸 磷 1.8 — 2.5 里 加 0.5 — 1.0
 注。意、本試験地の成績は標準として正確と稱するを得ず概して増肥に利あらず、磷酸、加里、を多施するを安全とす

勢多郡芳賀村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試驗地、大字嶺字沼ノ下 (畑) 擔當者 池 田 傳 象
 地質土性、火山岩腐植質壤質砂土 試驗年數 大正六——同十年迄

別作物	試驗區	重 量		子實量	步合	肥料成分		摘 要
		容 量	子實量			天然供給率	肥効	
水稲 [田]	無肥料	二〇八	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	施肥増収は一石七斗、成分一貫對收量六斗にて施肥効果大なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一〇、〇、五加里、二位にて大過なかるべし
	無窒素	二〇七	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無磷素	二〇四	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
	無加里	二〇三	九二	一〇〇	一〇〇	—	—	
水稲 [田]	無肥料	—	—	—	—	—	—	本試験地は無肥料及無窒素區の地味佳良なる爲め成績正確を欠けり
	無窒素	—	—	—	—	—	—	
	無磷素	—	—	—	—	—	—	
	無加里	—	—	—	—	—	—	

備考 冬作の無磷酸收量過少の爲め夏作は磷酸が必要ならざる如き外觀を呈せり

部之験	(麥白)大麥[畑]	無磷酸 無窒素 無肥料	三 二 一
別作物試驗區		三 二 一	三 二 一
室素磷酸加里	一 一 一	三 二 一	三 二 一
形態	有 有 無	有 有 無	有 有 無
子實量	一 一 一	三 二 一	三 二 一
重量	一 一 一	三 二 一	三 二 一
容量	一 一 一	三 二 一	三 二 一
對肥代差	一 一 一	三 二 一	三 二 一
引殘石	一 一 一	三 二 一	三 二 一
肥代差	一 一 一	三 二 一	三 二 一

施肥増収は二石五斗、成分一貫對收量八斗五升にて施肥効果大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一、〇、磷酸一、〇、加里〇、三位とし大過なかるべし

部之験	麥大[畑]	稻陸[畑]
別作物試驗區	三 二 一	三 二 一
室素磷酸加里	一 一 一	三 二 一
形態	有 有 無	有 有 無
子實量	一 一 一	三 二 一
重量	一 一 一	三 二 一
容量	一 一 一	三 二 一
對肥代差	一 一 一	三 二 一
引殘石	一 一 一	三 二 一
肥代差	一 一 一	三 二 一

收量は應用一區最大にて在來區に比し五斗多し、純増收最多く窒素三、三、四、磷酸一、一、加里〇、四位施用にして在來區に對する純收量は三斗四升増肥の利稍多し

成績摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻……窒素 3.0 — 2.5 磷酸 1.5 — 1.0 加里 0.5 — 1.0 麥……窒素 2.5 — 3.0 磷酸 2.5 — 3.0 加里 0.7 — 1.0

注意、冬作に於ては磷酸の效果と有機肥の效果大なり、蓋し此種の土性にては概ね此傾向あり、磷酸は多施するを安全有効とす

勢多郡横野村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試驗地、大字北橋分字小室 (田) 擔當者 永井浪平

地質土性、火山岩層壤土 試驗年數 大正六——同十年迄

別作物試驗區	無磷酸 無窒素 無肥料	(富國)水稲[田]	無磷酸 無窒素 無肥料	(麥白)大麥[田]	無磷酸 無窒素 無肥料
室素磷酸加里	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
形態	有 有 無	有 有 無	有 有 無	有 有 無	有 有 無
子實量	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
重量	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
容量	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
對肥代差	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
引殘石	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一
肥代差	一 一 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一	三 二 一

施肥増収は一石一斗、成分一貫對收量三斗七升にて施肥効果小なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一、〇、磷酸〇、五加里〇、五位とし大過なかるべし

施肥増収は二石、成分一貫對收量六斗七升にて施肥効果大なり、三要素施用割合は實際上大体に於て窒素一、〇、磷酸〇、九加里〇、五位とし大過なかるべし

部之驗	試驗區	應	用	法	在來	應	用	應	用
麥大〔田〕	一、二、三	無	無	無	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
在來法	一、二、三	無	無	無	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
應	用	一	二	三	一	二	三	一	二
應	用	二	三	一	二	三	一	二	三
應	用	三	一	二	三	一	二	三	一

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻 素 2.5 — 3.0 磷 1.2 — 1.6 加 0.5 — 1.0 麥 素 2.0 — 3.0 磷 1.8 — 2.8 里 0.5 — 1.0

注、意、本試驗地は從來堆肥を過用せし所なる爲め其影響により無肥收量多く從て天然供給分量となれる計算なるが故少肥にて多收し得らるゝが如き結果を呈するは此地方一帶皆斯傾向あるにあらず

勢多郡横野村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試驗地、大字宮田字中島 (田) 擔當者 星野萬平
地質土性、第四紀新層砂質壤土 試驗年數 大正六—同十年迄

別作物	試驗區	重	容	子實量	歩合	肥料成分	摘
水稲〔田〕	無窒素 無磷素 無肥料	二九四	二四四	一〇九	三七	窒素二、三〇、〇 磷素〇、八五、〇 加里二、〇〇、六	施肥増収は一石五斗、成分一貫對收量四斗にて施肥効果稍大なり、三要素施用割合は實際上大体窒素一、〇、磷素〇、五加里〇、四位にて大過かるべし
(愛改) 水稲〔田〕	無窒素 無磷素 無肥料	二九四	二四四	一〇九	三七	窒素二、三〇、〇 磷素〇、八五、〇 加里二、〇〇、六	
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					
無窒素	無磷素	無肥料					

部之驗	試驗區	應	用	法	在來	應	用	應	用
麥大〔田〕	一、二、三	無	無	無	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
在來法	一、二、三	無	無	無	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
應	用	一	二	三	一	二	三	一	二
應	用	二	三	一	二	三	一	二	三
應	用	三	一	二	三	一	二	三	一

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻 素 2.0 — 2.5 磷 1.0 — 1.5 加 0.5 — 1.0 麥 素 2.0 — 2.5 磷 1.7 — 2.3 里 0.7 — 1.0

注、意、兩作を通し多量に施肥するに純益反て少し其用量に注意すべし、豫定收量に對する施肥標準量は附圖表を参照すべし

勢多郡横野村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試驗地、大字溝呂木字宮前
地質土性、火山岩層砂質壤土

擔當者 狩野 一平
試驗年數 大正六—同十年迄

一九〇

部之驗試用應		別作物 試驗區	部之驗試礎基		別作物 試驗區
麥大〔畑〕	稻陸〔畑〕		〔雪夜〕陸〔畑〕	〔雪夜〕陸〔畑〕	
應用三	應用三	試驗區	無窒肥 無磷素 無窒素	無窒肥 無磷素 無窒素	試驗區
二〇	二〇	重	二〇	二〇	重
二〇	二〇	粗	二〇	二〇	粗
二〇	二〇	容	二〇	二〇	容
二〇	二〇	子	二〇	二〇	子
二〇	二〇	實	二〇	二〇	實
二〇	二〇	量	二〇	二〇	量
二〇	二〇	收	二〇	二〇	收
二〇	二〇	量	二〇	二〇	量
二〇	二〇	減	二〇	二〇	減
二〇	二〇	收	二〇	二〇	收
二〇	二〇	步	二〇	二〇	步
二〇	二〇	合	二〇	二〇	合
二〇	二〇	別	二〇	二〇	別
二〇	二〇	肥	二〇	二〇	肥
二〇	二〇	料	二〇	二〇	料
二〇	二〇	成	二〇	二〇	成
二〇	二〇	分	二〇	二〇	分
二〇	二〇	摘	二〇	二〇	摘
二〇	二〇	要	二〇	二〇	要
二〇	二〇	(及備考)	二〇	二〇	(及備考)

成蹟摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し(貫單位)
 稻...窒素 2.0 — 3.0 酸磷 0.5 — 1.5 加里 0.3 — 1.0 麥...窒素 2.5 — 3.0 酸磷 2.5 — 3.0 加里 1.0 — 1.3
 注。意、麥に於ては特に磷酸の要求量大なり、陸稻に於て磷酸の要求が特に少く見ゆるは大麥作の反動にて殘肥の効大なるによる

勢多郡黒保根村 施肥標準栽培試験成績

試驗地、大字黒保根字神梅 (畑)
地質土性、小佛古成層礫埴土
擔當者 鍋木 定次郎
試驗年數 大正六—同十年迄

部之驗試礎基		別作物 試驗區	部之驗試礎基		別作物 試驗區
小麥〔畑〕	陸稻〔畑〕		〔雪夜〕陸〔畑〕	〔雪夜〕陸〔畑〕	
無窒肥 無磷素 無窒素	無窒肥 無磷素 無窒素	試驗區	無窒肥 無磷素 無窒素	無窒肥 無磷素 無窒素	試驗區
二〇	二〇	重	二〇	二〇	重
二〇	二〇	粗	二〇	二〇	粗
二〇	二〇	容	二〇	二〇	容
二〇	二〇	子	二〇	二〇	子
二〇	二〇	實	二〇	二〇	實
二〇	二〇	量	二〇	二〇	量
二〇	二〇	收	二〇	二〇	收
二〇	二〇	量	二〇	二〇	量
二〇	二〇	減	二〇	二〇	減
二〇	二〇	收	二〇	二〇	收
二〇	二〇	步	二〇	二〇	步
二〇	二〇	合	二〇	二〇	合
二〇	二〇	別	二〇	二〇	別
二〇	二〇	肥	二〇	二〇	肥
二〇	二〇	料	二〇	二〇	料
二〇	二〇	成	二〇	二〇	成
二〇	二〇	分	二〇	二〇	分
二〇	二〇	摘	二〇	二〇	摘
二〇	二〇	要	二〇	二〇	要
二〇	二〇	(反當換算)	二〇	二〇	(反當換算)

施肥増収は五斗、成分一貫對收量一斗七升にて施肥効果少 三要素施用割合は實際上大體窒素一〇、磷酸〇、六加里〇、三位にて大過なかるべし
 施肥増収は二石二斗、成分一貫對收量七斗三升にて施肥効果大なり、三要素施用割合は實際上大體に於て窒素一〇、磷酸一、五加里一、〇位とし大過なかるべし

一九一

備考 畑小麦の成績中其無窒素區の増收は中途有機物を加用せるが爲め正確ならず

部之験試用應	別作物試験區	施肥量	形態	子實量	重量	容量	對無引殘石	摘要
麥小〔畑〕	在來法	二、〇	有機	八、一	六、二	一、八〇	〇、五九	收量は應用一區最大にて在來區に比し六斗六升増純増收最多は窒素三貫施用區にして在來法區に對する純收量は七斗七升、増肥の利多し
	應用二	二、〇	有機	八、一	六、二	一、八〇	〇、五九	
	應用三	二、〇	有機	八、一	六、二	一、八〇	〇、五九	

成績摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻……窒素 3.0 — 2.5 酸磷 1.0 — 1.5 里加 0.4 — 1.0 麥……窒素 2.5 — 3.0 酸磷 3.5 — 4.0 里加 2.5 — 3.0

注、陸稻の應用試験は不備の爲め掲げず、要するに本土質に於ける畑作は特に著しきは磷酸、加里の要求量極めて過大なるにあり
本試験成績は中途肥料の施用に誤あり又陸稻播種期遅延等にて成績完全にあらず

群馬郡古卷村 施肥標準栽培試験成績 (反當換算)

試験地、大字八木原字笠付 (田) 擔當者 儘 田 平 馬
地質土性、第四紀古層壤土 試驗年數 大正六—同十年迄

別作物試験區	肥料成分	摘要
重 容 重量 容量 收量 減收	天然 供給 率 要 肥 効	

部之験試用應	別作物試験區	施肥量	形態	子實量	重量	容量	對無引殘石	摘要
麥大〔田〕	在來法	一、二	有機	七、四	二、七〇	一、四〇	〇、二四	收量は應用一區最大にて在來區に比し四斗五升増純増收最多は窒素二貫施用區にして在來法區に對する純收量は三斗六升、増肥の利多し
	應用二	二、〇	有機	八、一	二、八〇	一、六二	〇、三九	
	應用三	二、〇	有機	八、一	二、八〇	一、六二	〇、三九	

成績摘要、以上を綜合し施肥成分反當量標準を算定指示すれば大体次の如し (貫單位)

稻……窒素 2.0 — 2.7 酸磷 0.8 — 1.3 里加 0.5 — 0.8 麥……窒素 2.0 — 2.5 酸磷 1.8 — 2.2 里加 0.7 — 1.0